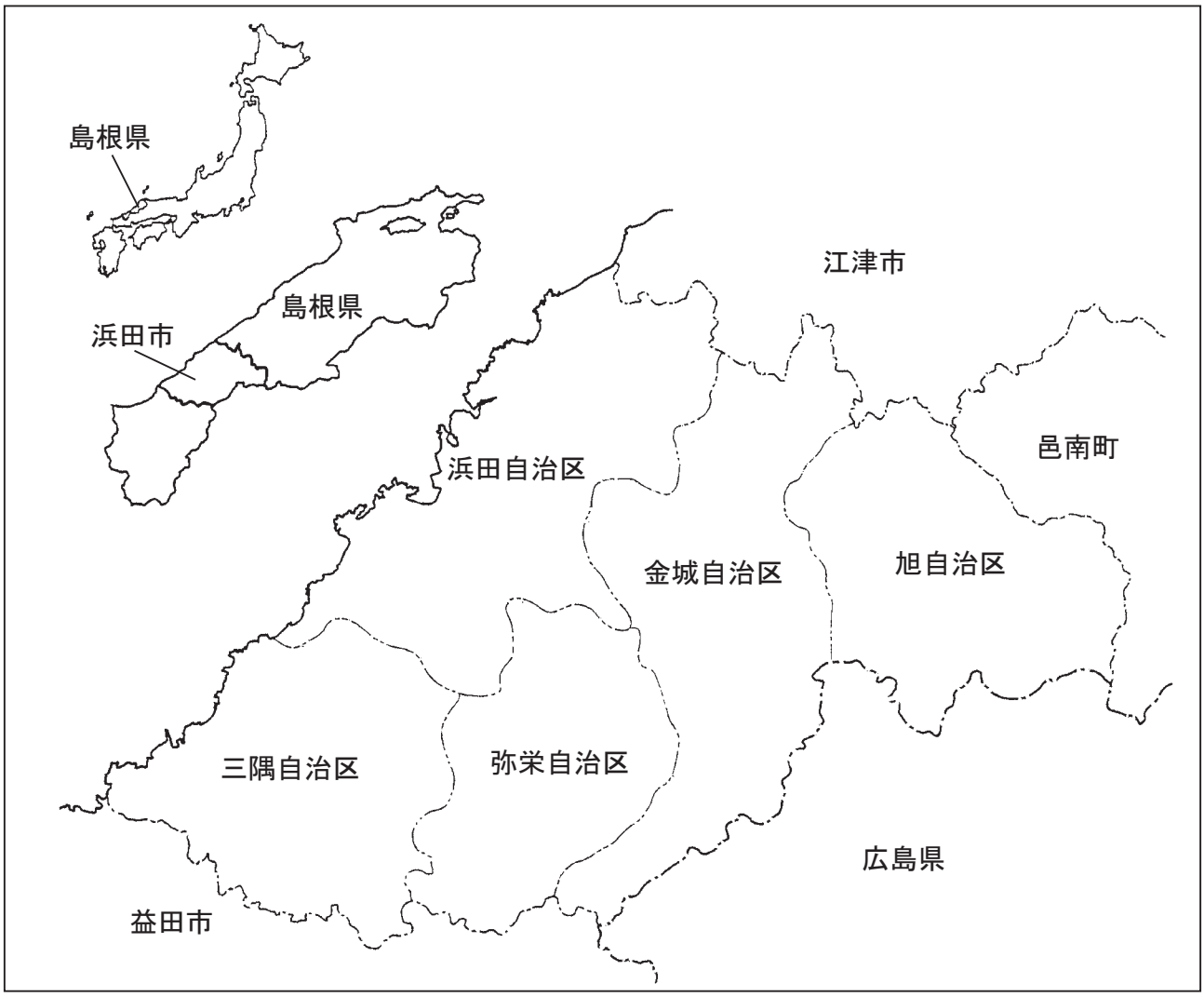
島根県浜田市遺跡地図Ⅰ（浜田自治区）
仕切遺跡

平成 19 年度 市内遺跡発掘調査報告書



2009 年 3 月

島根県　浜田市教育委員会

序

浜田市教育委員会では市内の遺跡を確認するため、平成11年度から国庫補助事業を受けて市内遺跡の発掘調査を実施しています。平成18年度からは市町村合併に伴い、旧那賀郡（金城町･旭町･弥栄村･三隅町）も含めた新浜田市を対象として事業を実施しています。

本書は浜田自治区の遺跡位置を示した地図をまとめており、文化財保護のための基礎資料です。学校教育や生涯学習、開発事業との調整など広く活用され、文化財保護思想の普及、地域史研究への一助となることを願っております。

おわりに、本書を刊行するにあたりご協力をいただきました地元の皆様、島根県教育委員会をはじめとした関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成　21年　3月

浜田市教育委員会

教育長　山　田　洋　夫

例　　言

1．本書は浜田市教育委員会が平成19年度に国庫補助を受けて実施した市内遺跡発掘調査事業の報告書である。事業は遺跡分布調査と台帳整理、確認調査と関連遺物の整理作業を実施した。

2．調査は以下の組織で行った。

調査主体　浜田市教育委員会教育長　山田洋夫

調査指導　島根県教育委員会　文化財課･阿部志朗（浜田水産高校教諭･元島根県歴史の道調査委員）

担 当 者　榊原博英（浜田市教育委員会 文化振興課 文化財係 主任主事）

事 務 局　浜田市教育委員会 文化振興課 文化財係

文化振興課長 山根 稔・文化財係長　原 裕司・主任主事　瀧山恵子・主事　宮脇　聖

3．調査にあたり協力および従事していただいた方々は次のとおりである。

調査協力　株式会社 協和、島根県埋蔵文化財調査センター

調査参加　岩本秀雄、佐々木五郎、佐々木定実、坪倉ひとみ、中田洋子

中田貴子、原田勝義、半場利定、平野夕子、吉賀久雄、吉田安男

4．出土遺物、実測図及び写真、台帳類の記録は浜田市教育委員会に保管してある。

5．本書の執筆編集は榊原が行った。

本　文　目　次

第１章　経緯と経過…… 2

第２章　浜田自治区遺跡地図…… 2

（遺跡分布図・遺跡一覧・指定文化財一覧・参考文献）

第３章　埋蔵文化財の事務手続きフロー…… 77

第４章　仕切遺跡の確認調査…… 80

第１節　調査の概要…… 80

第２節　総　括…… 85

第１章　経緯と経過

浜田市教育委員会では国庫補助事業を受けて市内遺跡の試堀確認調査を平成 11 年度より実施している。これまで平成 13 年度に国府地区、平成 17 年度に石見国分寺跡・同尼寺跡、平成 18 年度に周布地区、平成 19 年度に周布古墳・蔵地宅後古墳・金田１号墳の調査報告書を刊行した。

平成 14 年度よりこれまでの国府地区（石見国分寺跡など）の調査に加え、周布地区の試掘確認調査（周布古墳など）を実施していたが、平成 17 年（2005 年）10 月１日の市町村合併により、那賀郡（金城町・旭町・弥栄村・三隅町）を含めた新浜田市の範囲を対象とする事業となった。

本報告書に収録した調査内容は、平成 19 年度に実施した仕切遺跡確認調査と市内分布調査・台帳整理である。

第２章　浜田自治区遺跡地図

島根県教育委員会 2002『島根県遺跡地図Ⅱ（石見編）』に基づき、Ｌ１から一連番号を付した。指定文化財には別番号（史跡：国史、県史、市史・天然記念物：国天、県天、市天・登録文化財：国登）を付した。このため、埋蔵文化財と史跡の番号は二重になっており、史跡指定範囲（一点鎖線）と埋蔵文化財の範囲は異なっている。

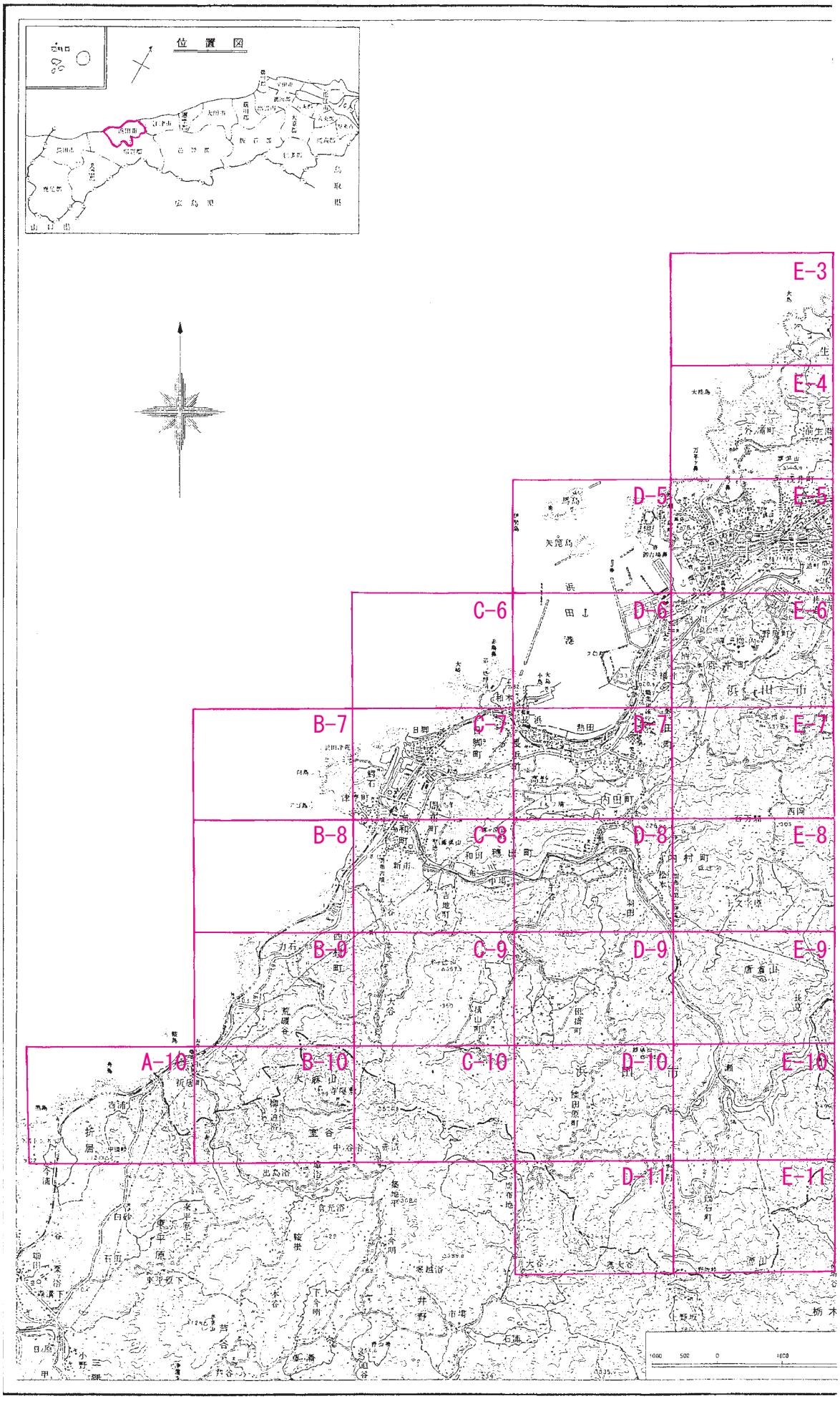
遺跡は種別によって下記のとおり分け、赤色の記号であらわした。種類が複数になるものは主なもので代表させている。遺跡の範囲が明確なものは塗りつぶし、不明確なものは白抜きで示した。

街道跡は島根県歴史の道調査報告書とその後の調査委員の補足を反映したものである。およそ江戸時代後期から近代にかけてのものである。

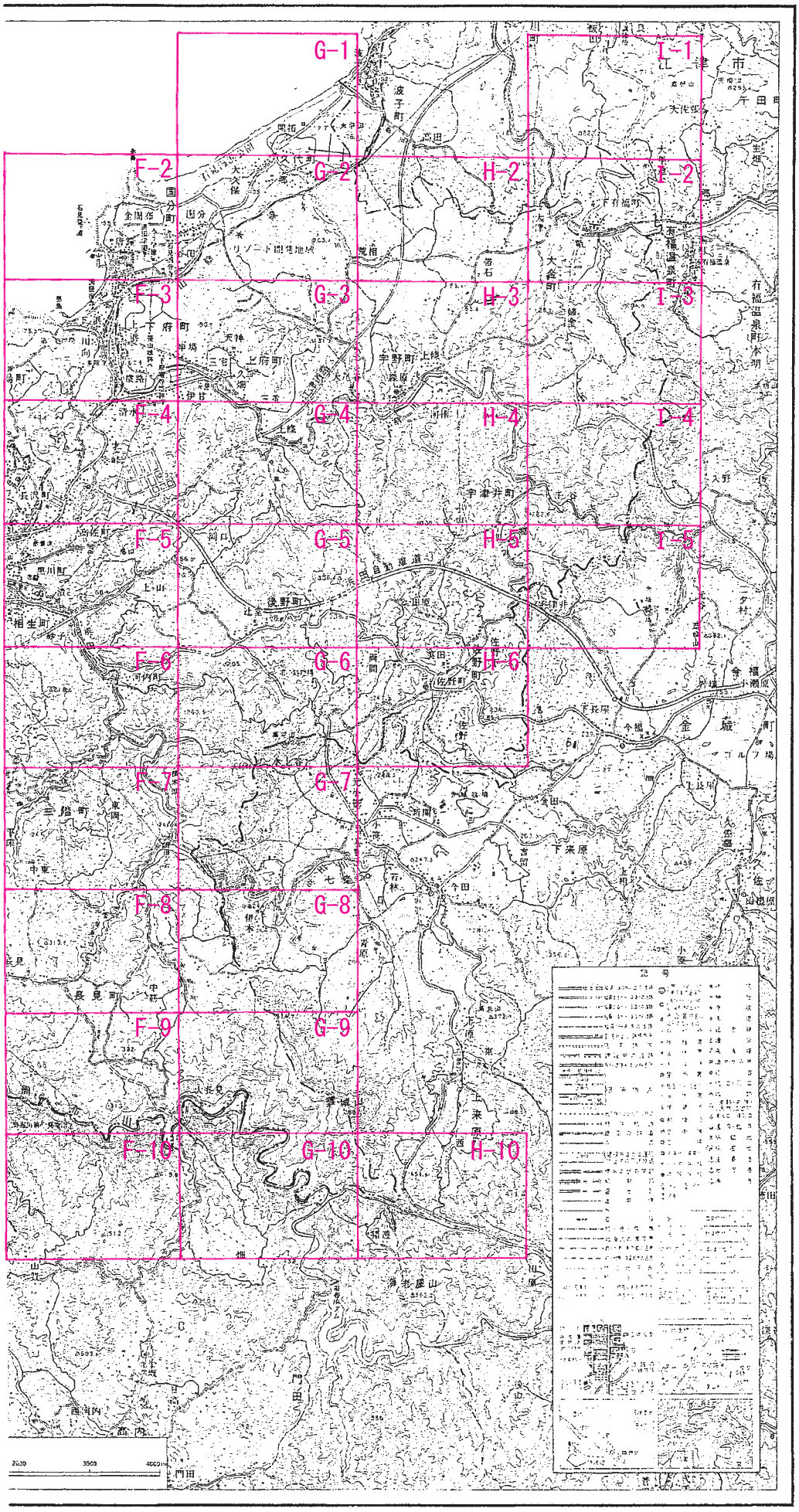
●	遺跡	○	遺跡（不明確）
－	遺跡範囲	･･	遺跡範囲（不明確）
◓	古墳・墳墓	◠	古墳・墳墓（不明確）
⚱	古墓・石碑など石造物	⚱	古墓・石碑など石造物（不明確）
▲	窯業関係遺跡	△	窯業関係遺跡（不明確）
▼	製鉄関係遺跡	▽	製鉄関係遺跡（不明確）
卍	寺院跡	⦿	その他の遺跡
■	調査実施地点・遺跡確認	□	調査実施地点・遺跡なし
･―･―･－	指定範囲（史跡・登録文化財）		
♧	天然記念物（樹木）	★	天然記念物（樹木以外）

地図上に示した遺跡は、現段階で確認できたものを掲載しています。図示されていない地点にも遺跡が存在する可能性があるため、現地確認などの予備調査（分布調査・試掘調査など）が必要になります。開発行為を計画する場合は浜田市教育委員会に照会していただきたい。

掲載した地図（1/8,000・1/15,000）は、浜田市で保管している 1/50,000（平成 11 年）・1/10,000（平成 12 年測図）・1/2,500（平成６年 12 月測図）を使用している。平成 17 年の市町村合併以前のものである。

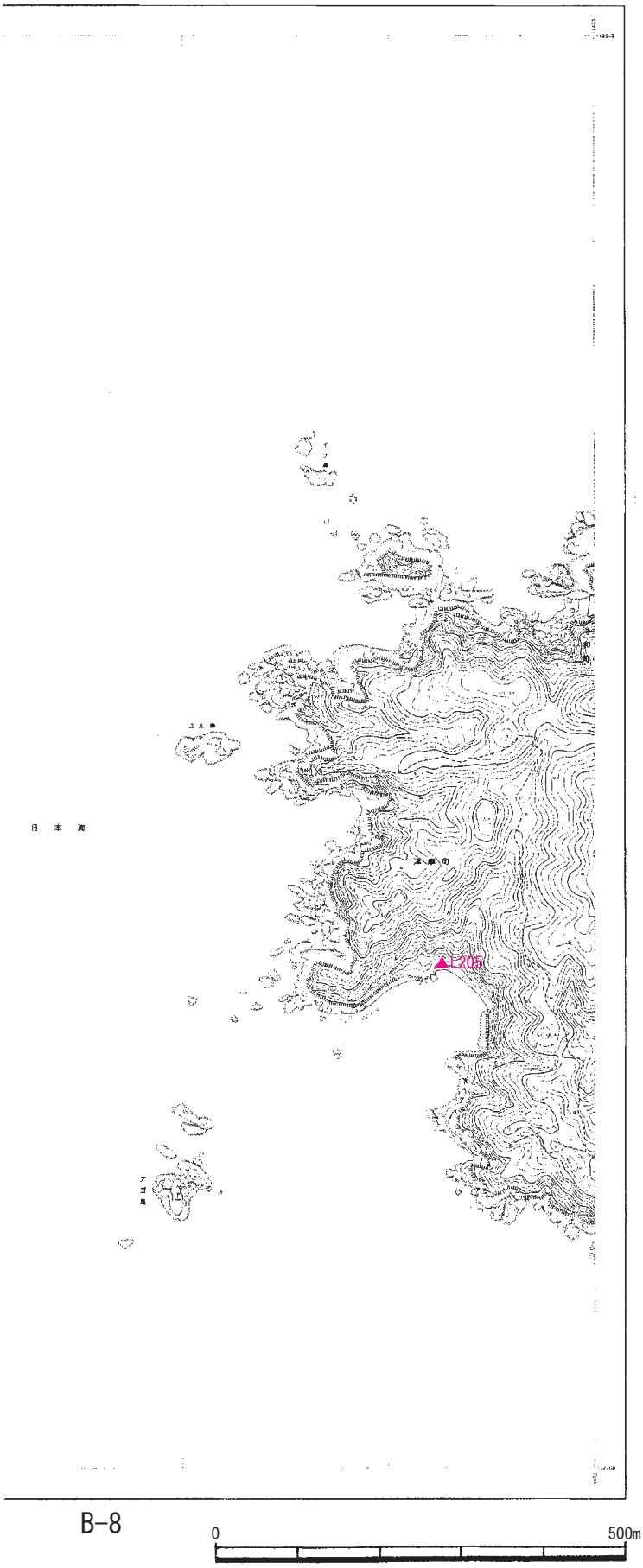


史跡・埋蔵文化財包蔵地地図配分図（平成 11 年作成・市町村合併以前）



史跡・埋蔵文化財包蔵地地図配分図（平成 11 年作成・市町村合併以前）

B-7



C-7

B-8

0 500m

L205 羽根尾窯跡

0 500m

L230 山陰道

B-9

B-8

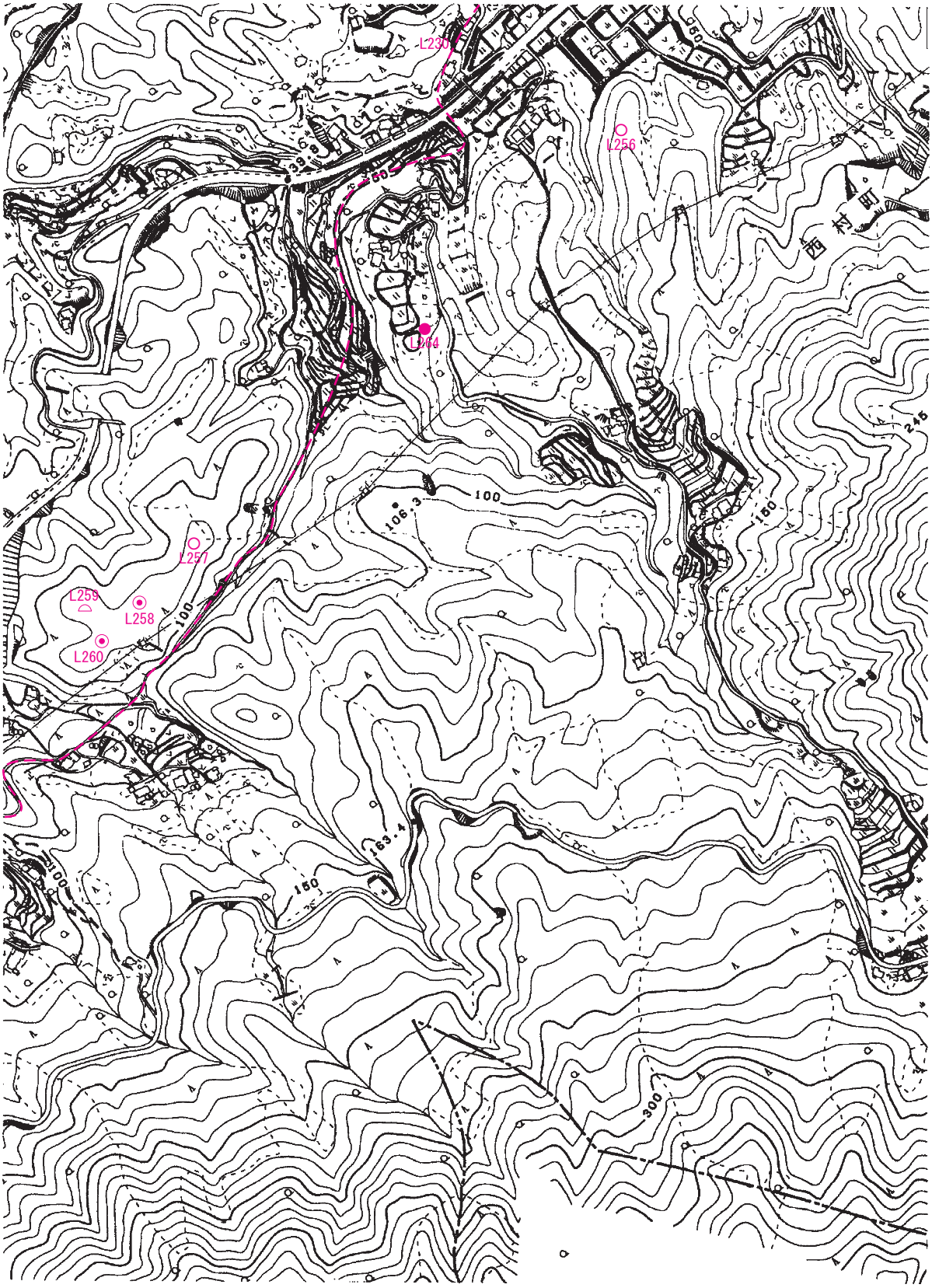
B-10

0 500m

L97 西村鈩跡　L230 山陰道

B-8

B-9



C-9

B-10

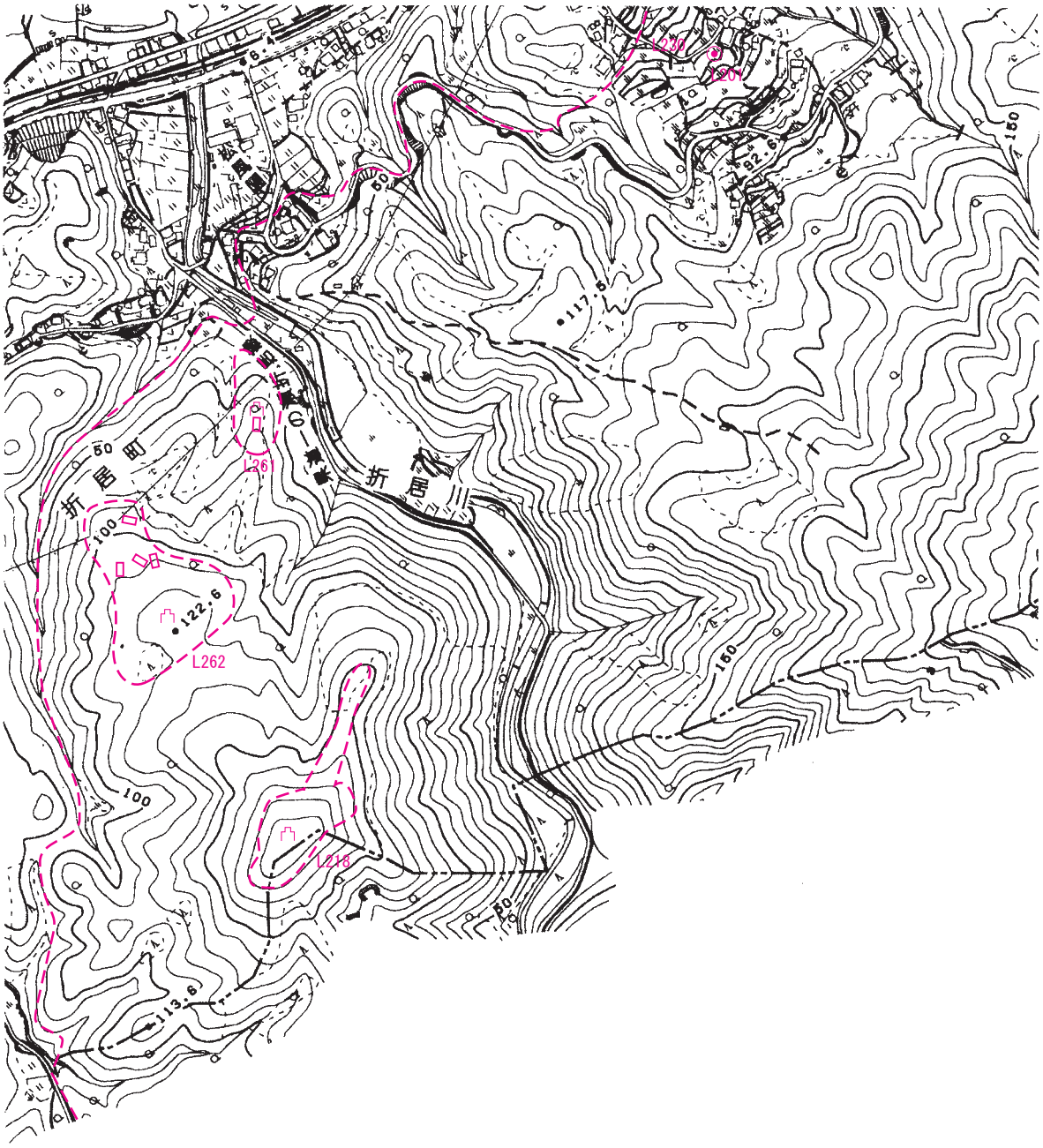
0 500m

L230 山陰道　L256 寺ヶ嶧遺跡　L257 提ヶ嶧遺跡　L258 新井Ⅰ遺跡　L259 新井Ⅱ遺跡　L260 平岩遺跡
L264 力石遺跡

B-10

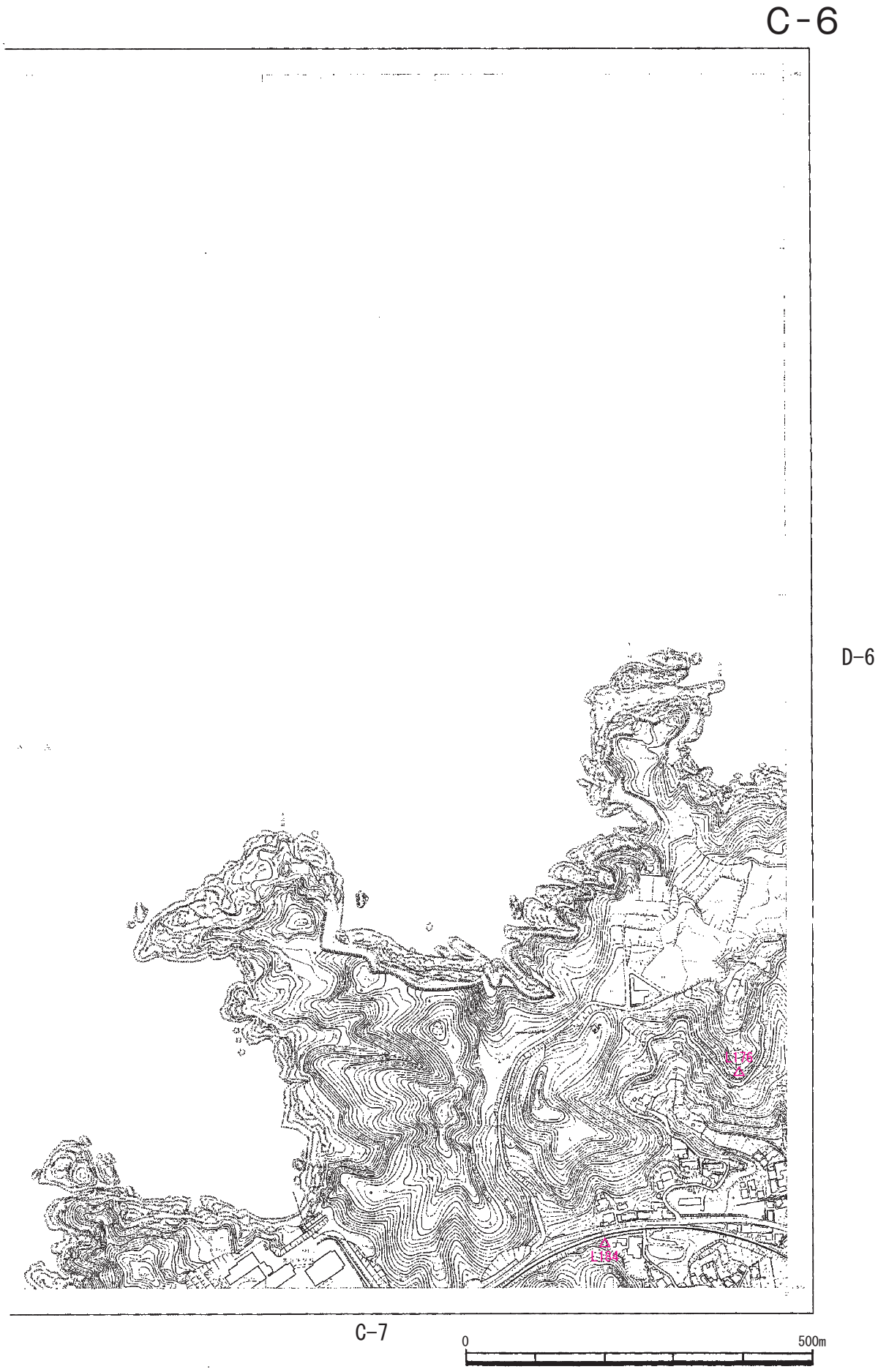
B-9

A-10

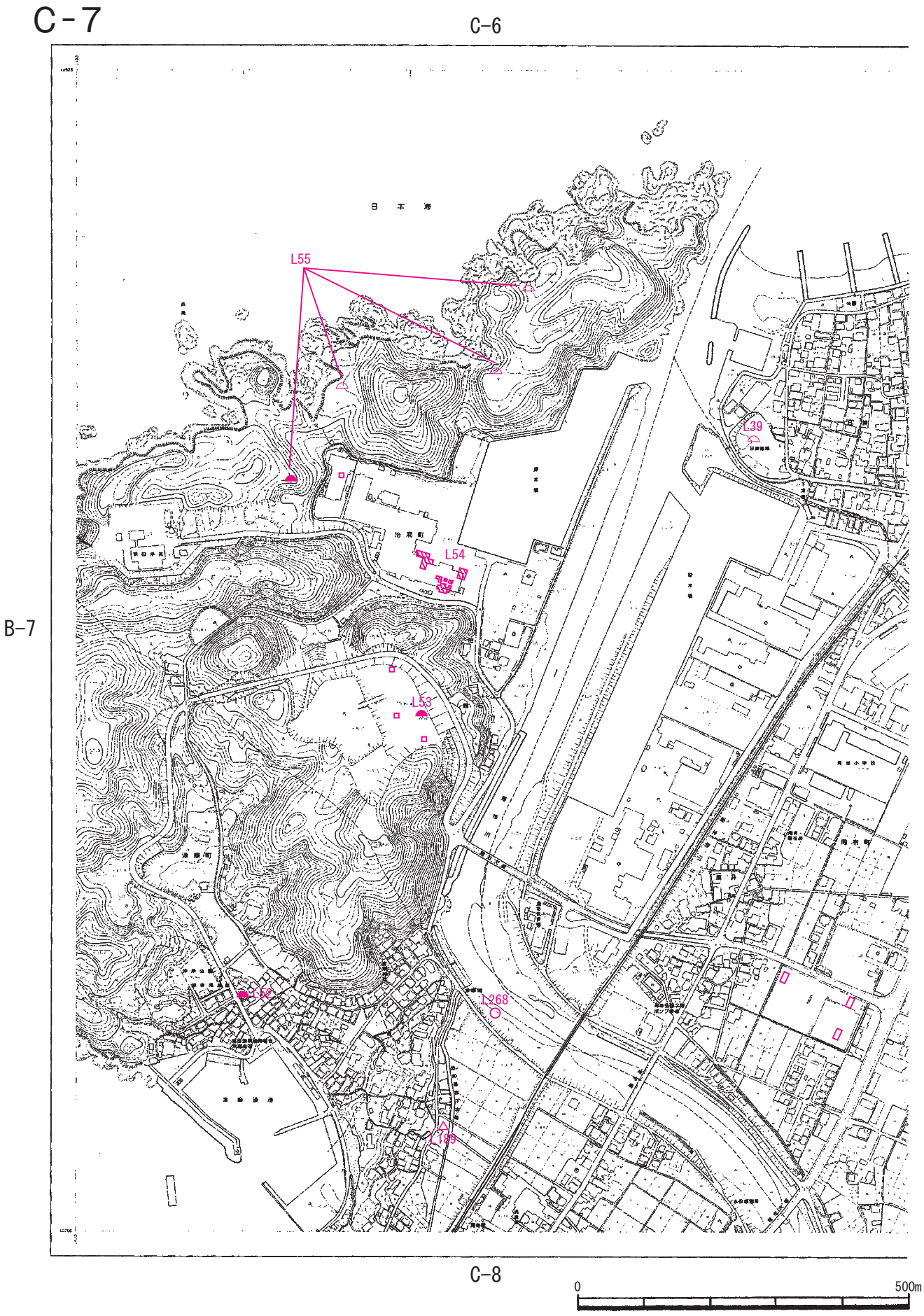


0 500m

L201 原経塚　L218 折居城跡　L230 山陰道　L261 城ヶ浴遺跡　L262 カモト遺跡



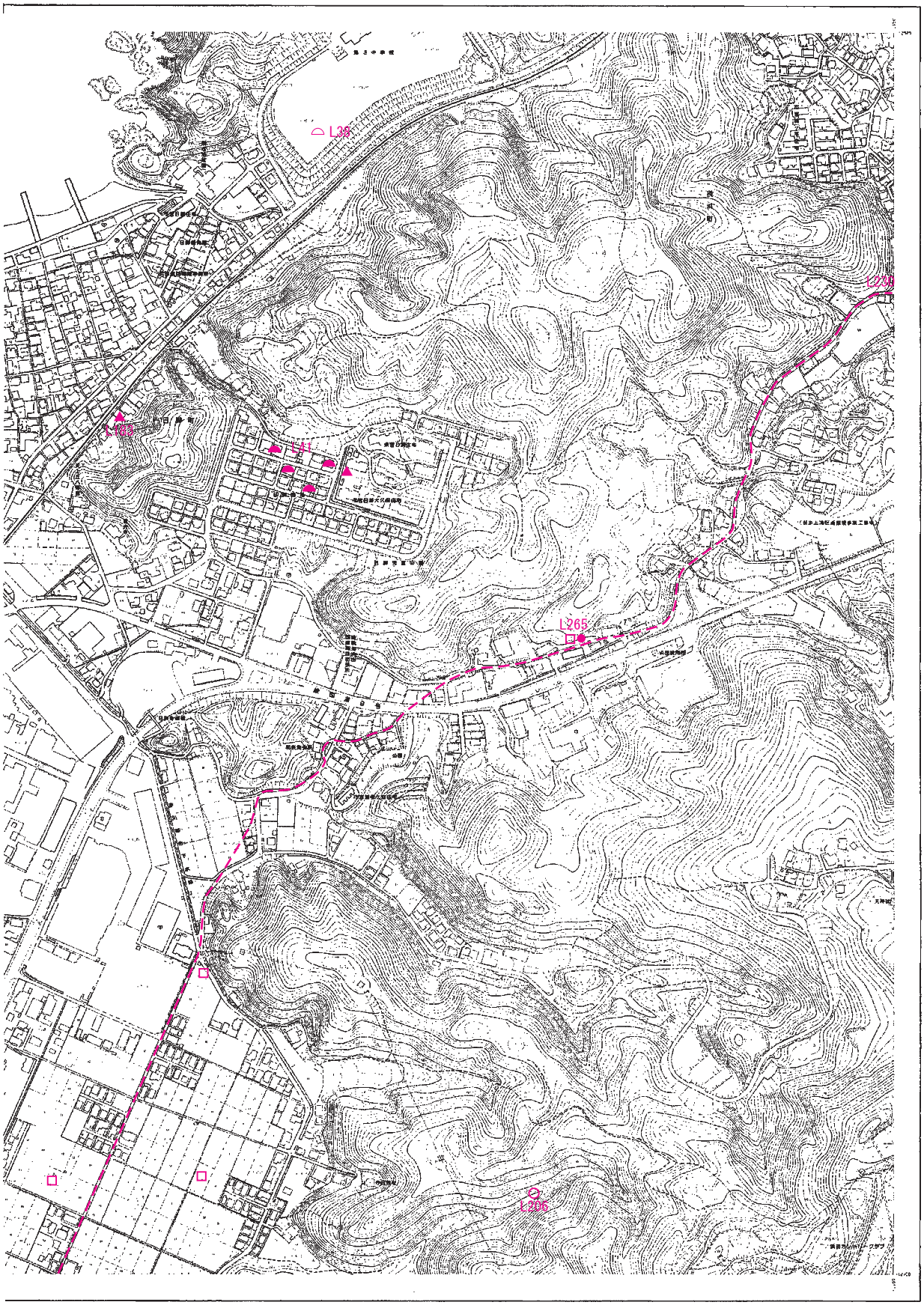
L176 ほうどう寺窯跡　L184 大田窯跡



L39 日脚下浦遺跡　L52 蔵地宅後古墳　L53 森ヶ曽根古墳　L54 鰐石遺跡
L55 鰐石古墳群（－1 鰐石 1 号墳　－2 鰐石 2 号墳　－3 鰐石 3 号墳　－4 鰐石 4 号墳）
L189 大田窯跡　L268 周布川河原遺跡

C-6

C-7

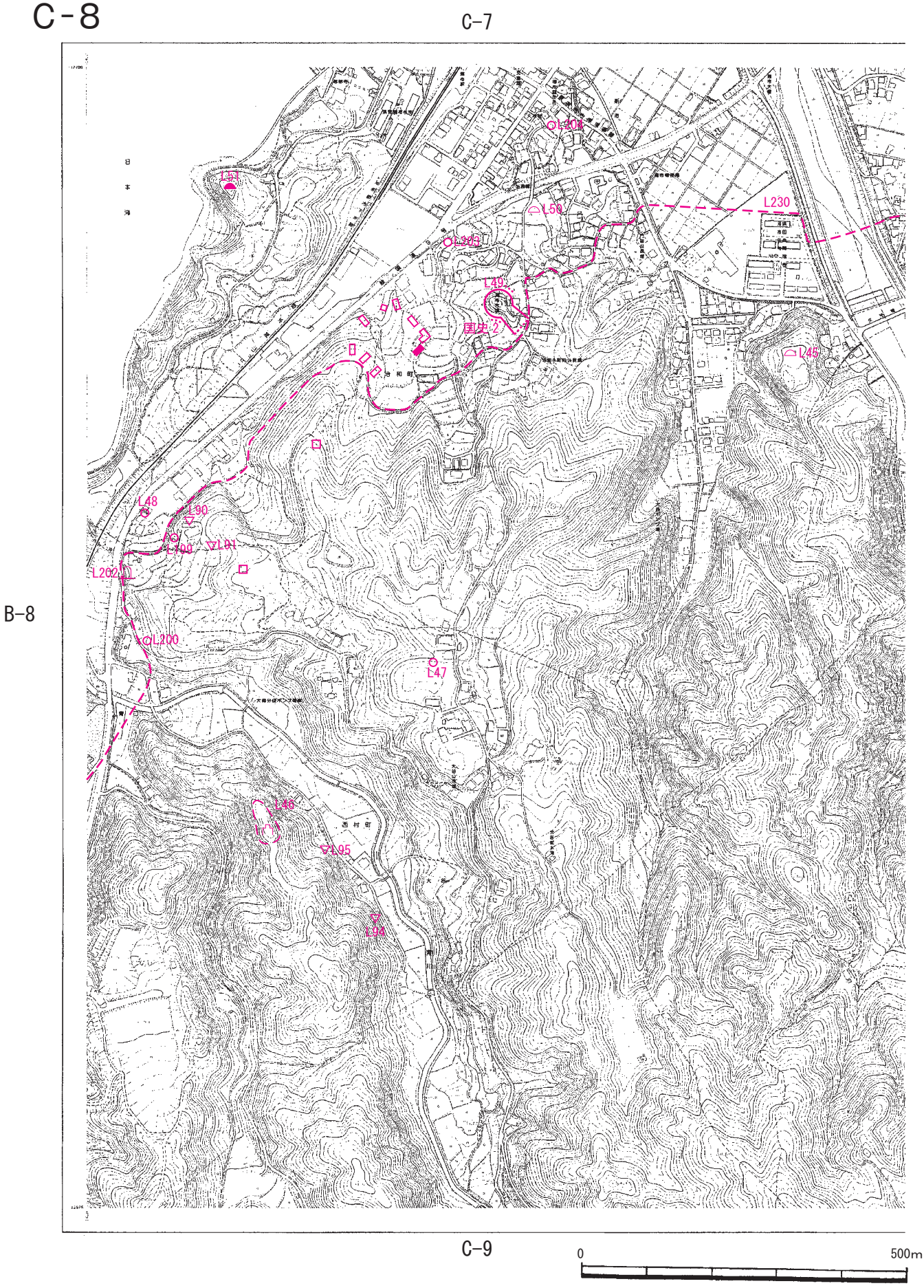


D-7

C-8

0 500m

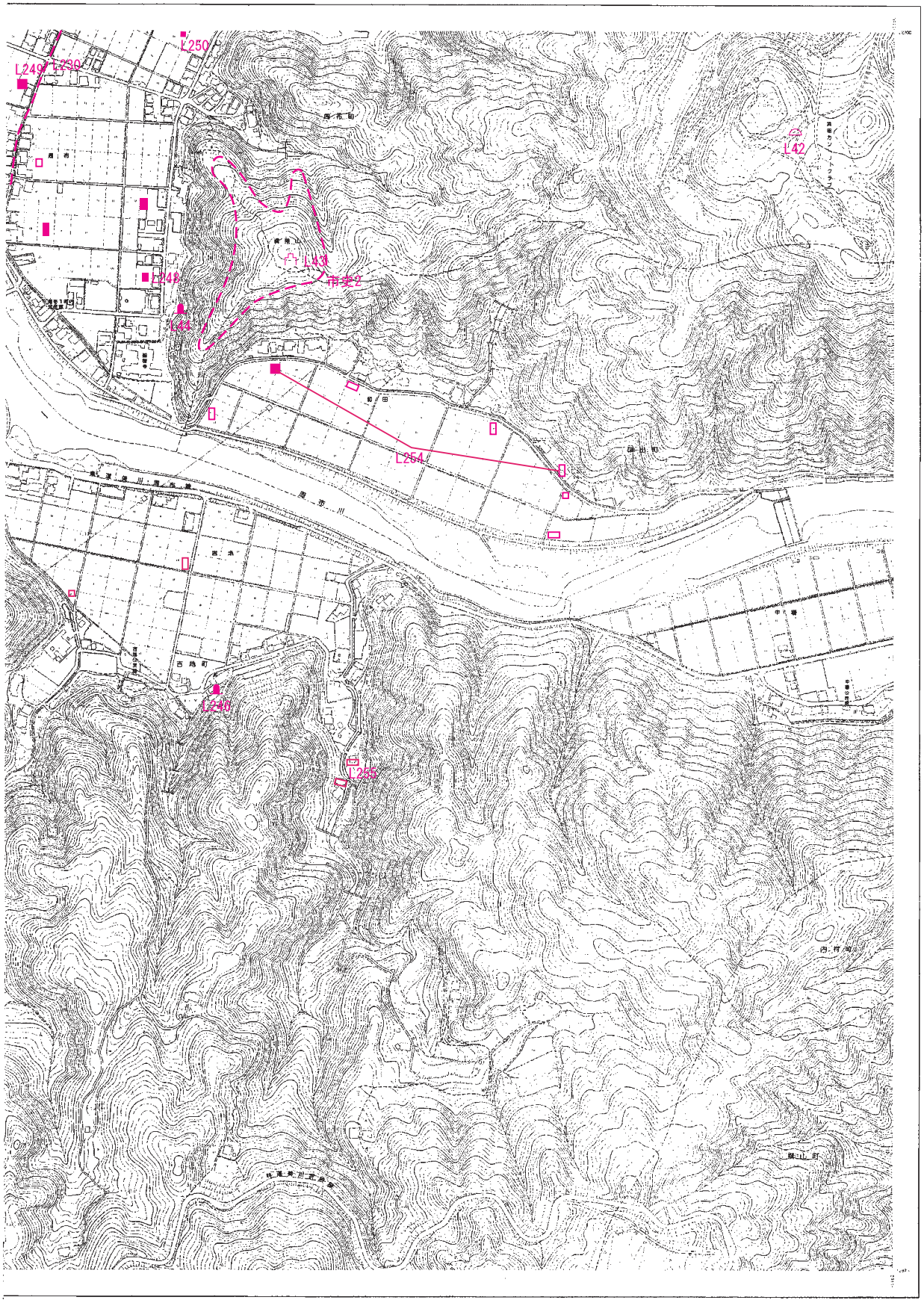
L38 鈴居古墳　L41 日脚遺跡　L183 柿谷窯跡　L206 高野山下遺跡　L230 山陰道
L265 日脚東遺跡



L45 沃田寺古墳　L46 青ノ城跡　L47 坂辻遺跡　L48 木引地遺跡　L49 周布古墳（国史 2）
L50 めんぐろ古墳　L51 小西ヶ丘古墳　L90 青野鍛冶屋跡　L91 青野鈩跡　L94 大谷鍛冶屋跡№3
L95 大谷鍛冶屋跡№4　L199 坂辻西遺跡　L200 青口遺跡　L202 青口古墓　L203 三宅辻遺跡
L204 浴田遺跡　L230 山陰道

C-7

C-8



D-8

C-9

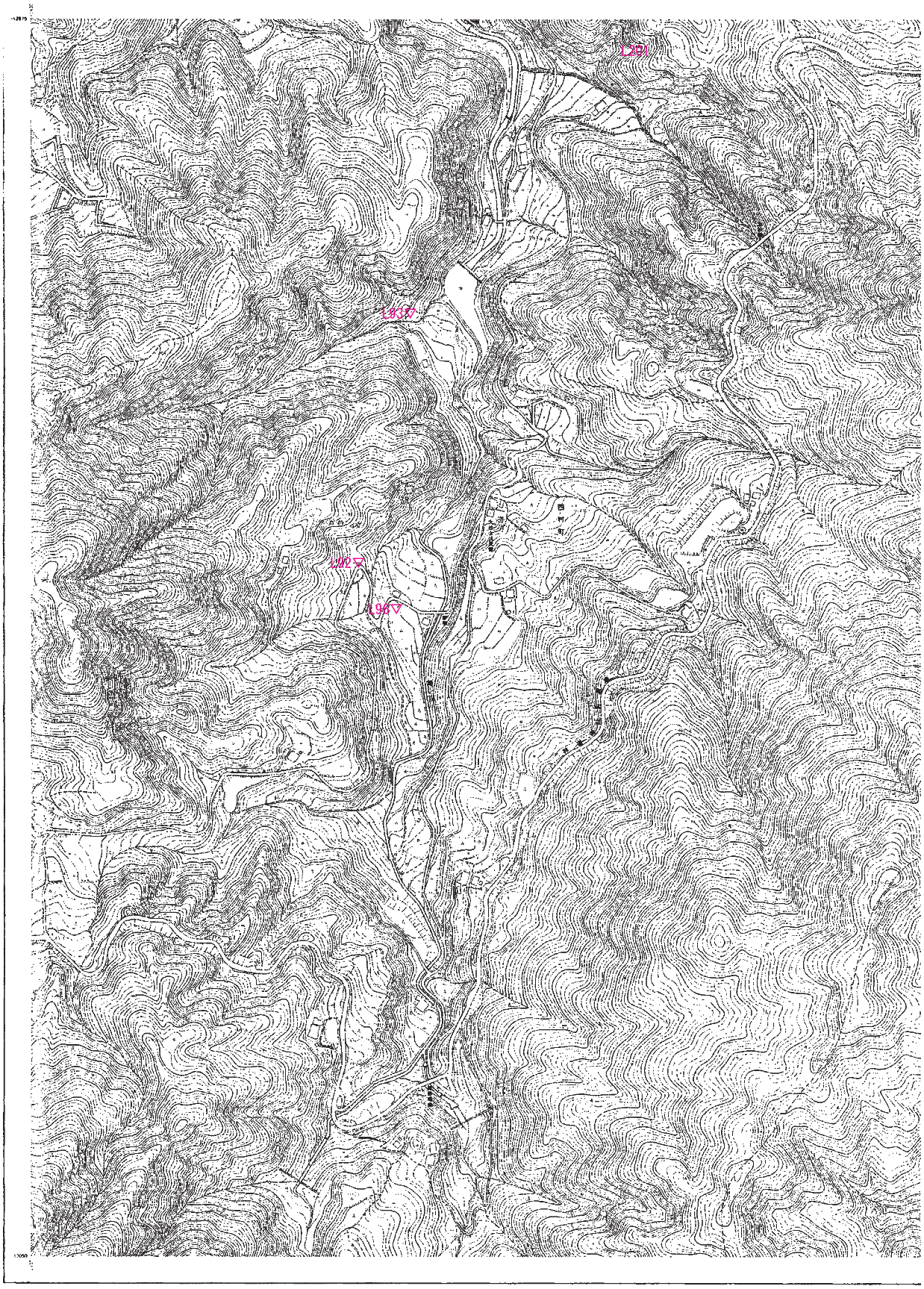
0 500m

L42 塚原山古墳群　L43 鳶巣城跡（市史2）　L44 伝周布氏の墓　L230 山陰道
L246 吉地古墓　L248 寺本遺跡　L249 市屋敷遺跡　L250 ツナメ遺跡　L254 川原遺跡　L255 宮サコ遺跡

C-9

C-8

B-9

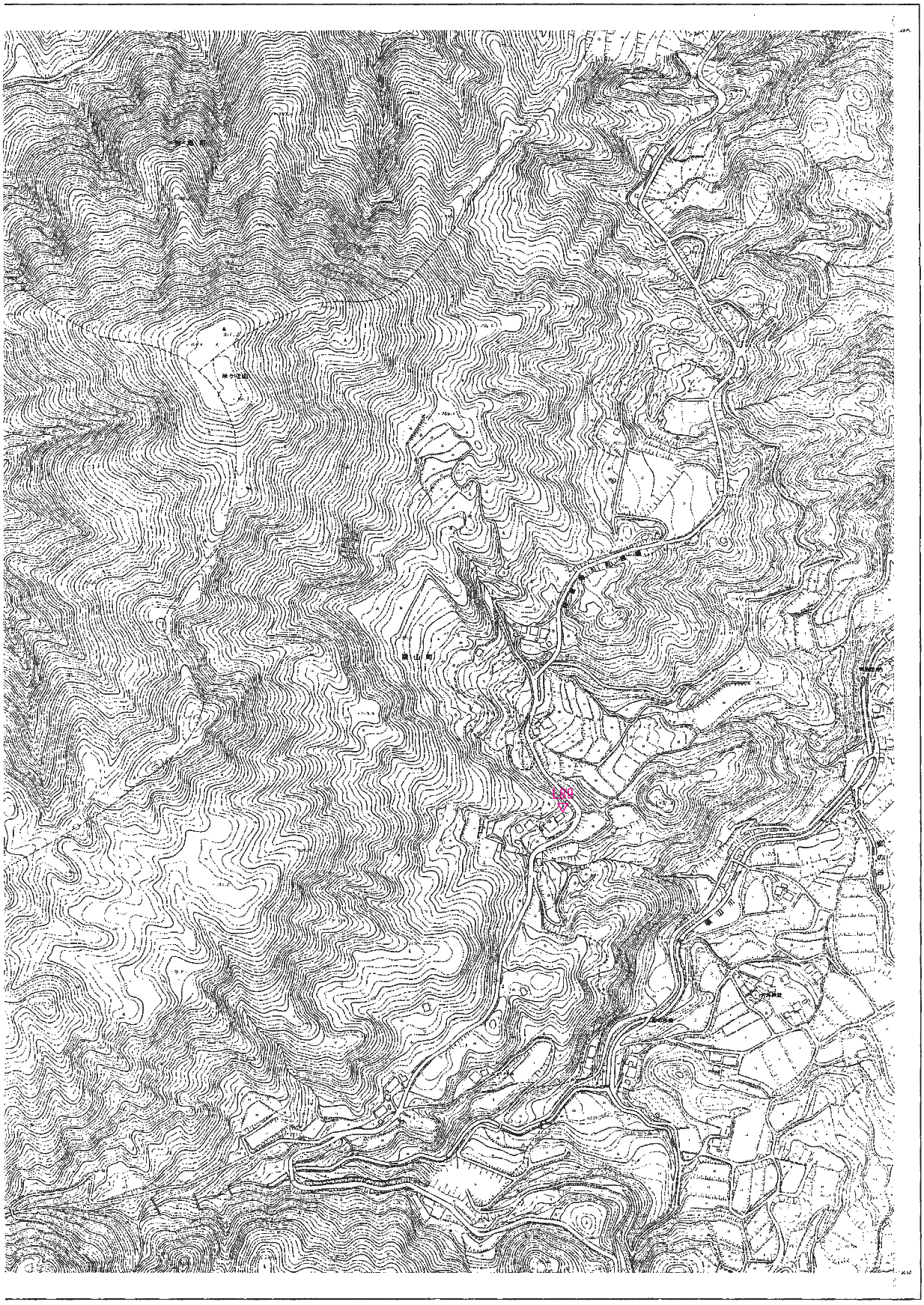


0 500m

L92 大谷鍛冶屋跡No.1　L93 大谷鍛冶屋跡No.2　L96 大谷鈩跡

C-8

C-9



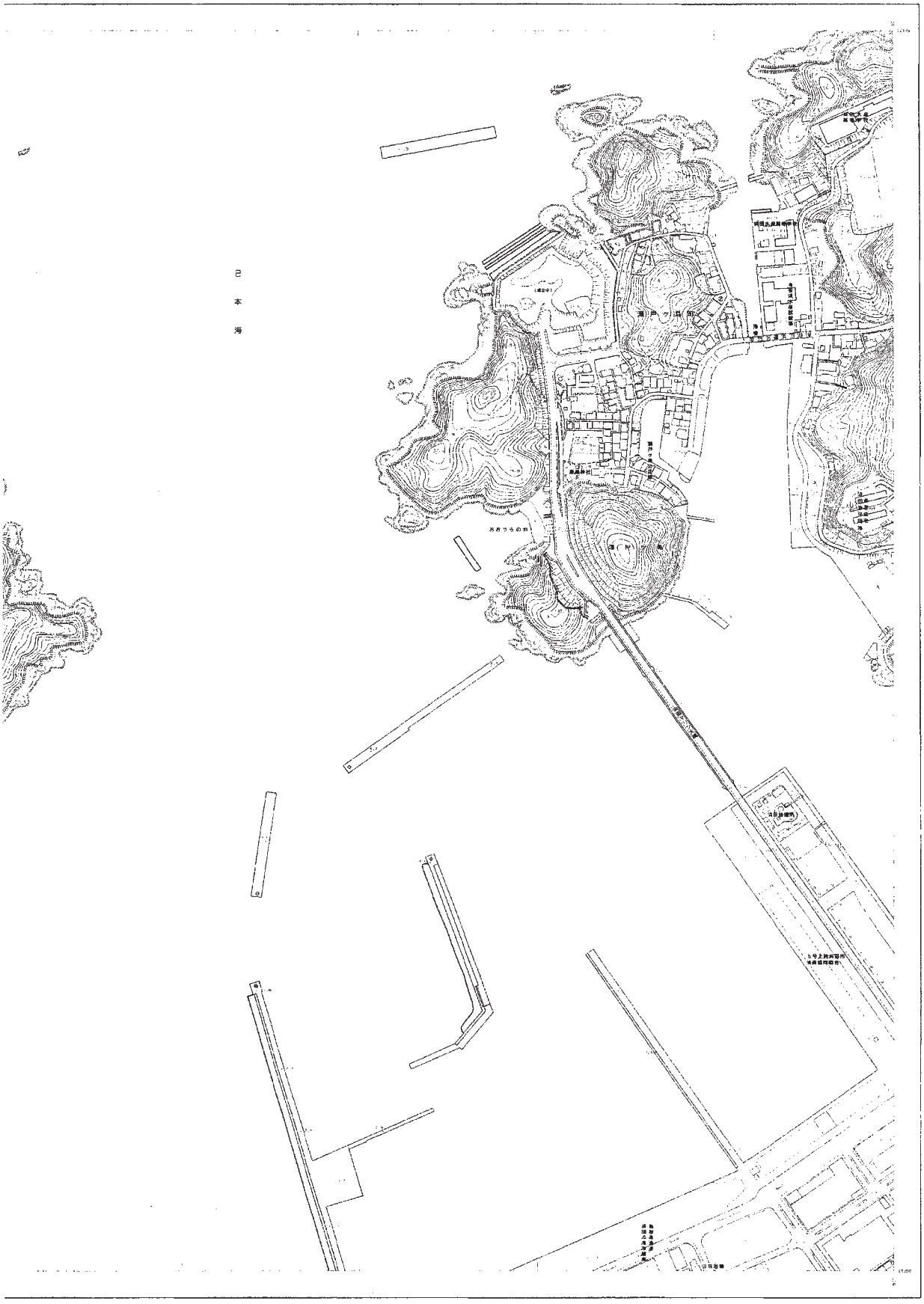
D-9

C-10

0 500m

L89 横山鈩跡

D-5



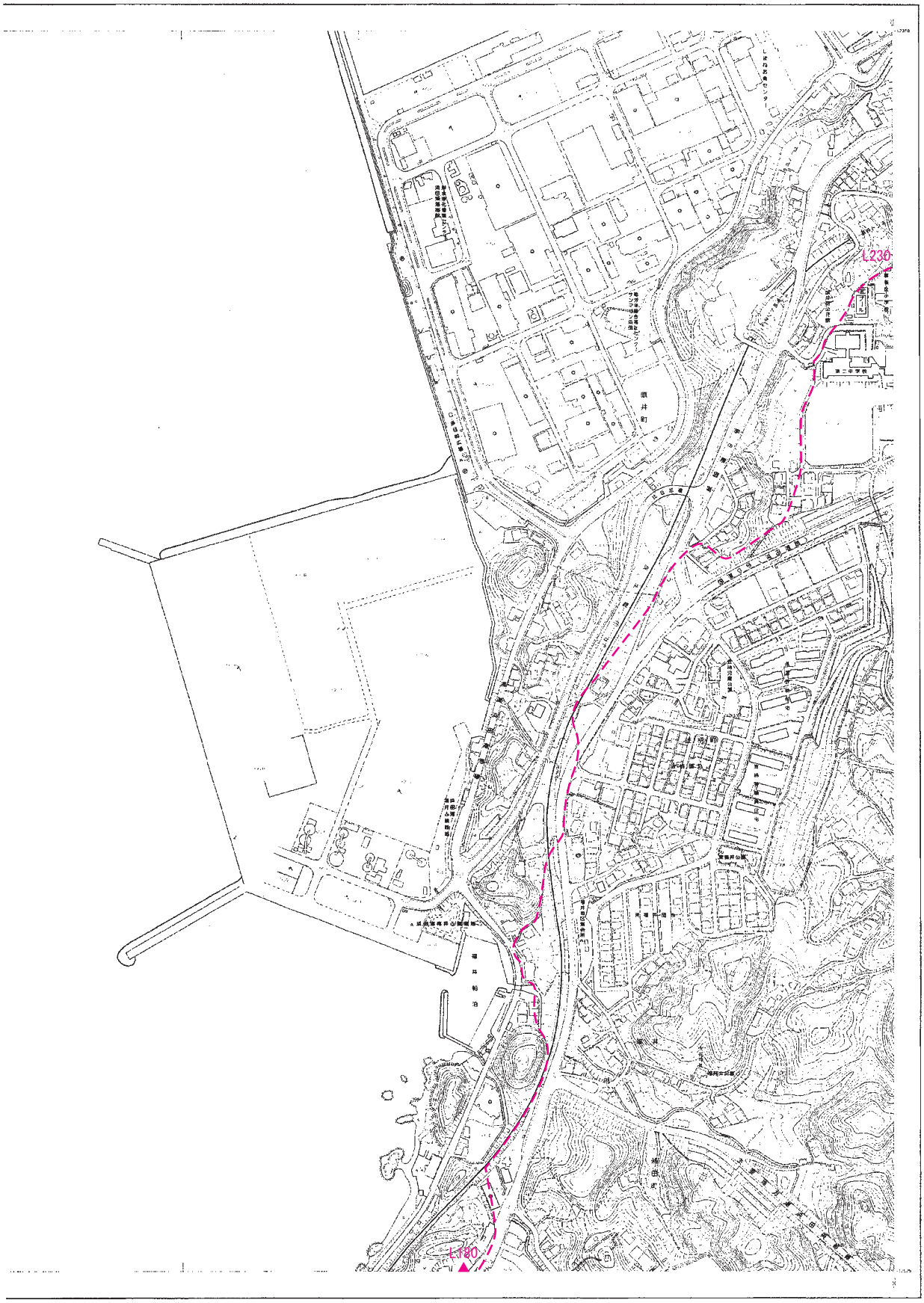
E-5

D-6

0 500m

D-5

D-6

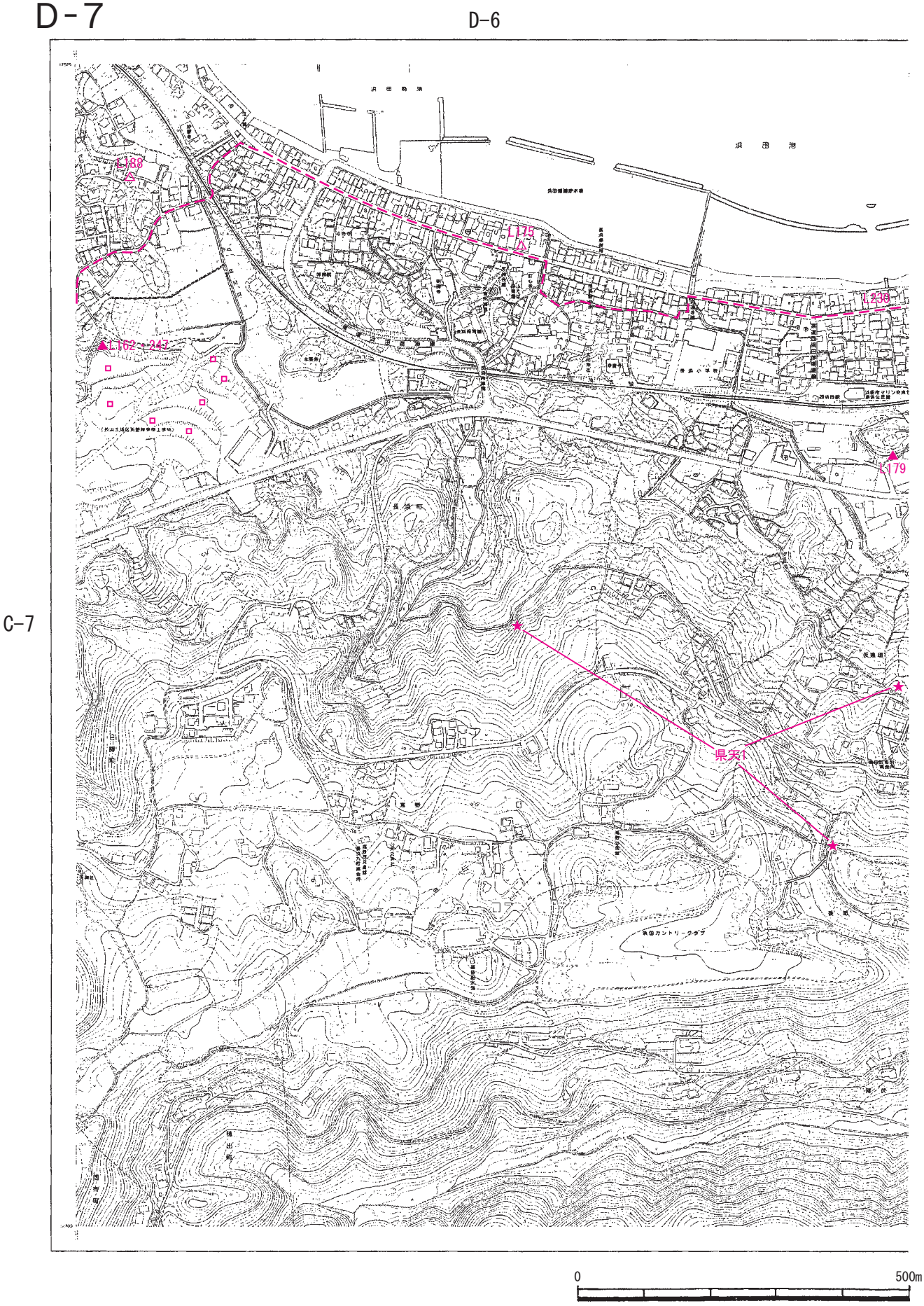


E-6

D-7

0 500m

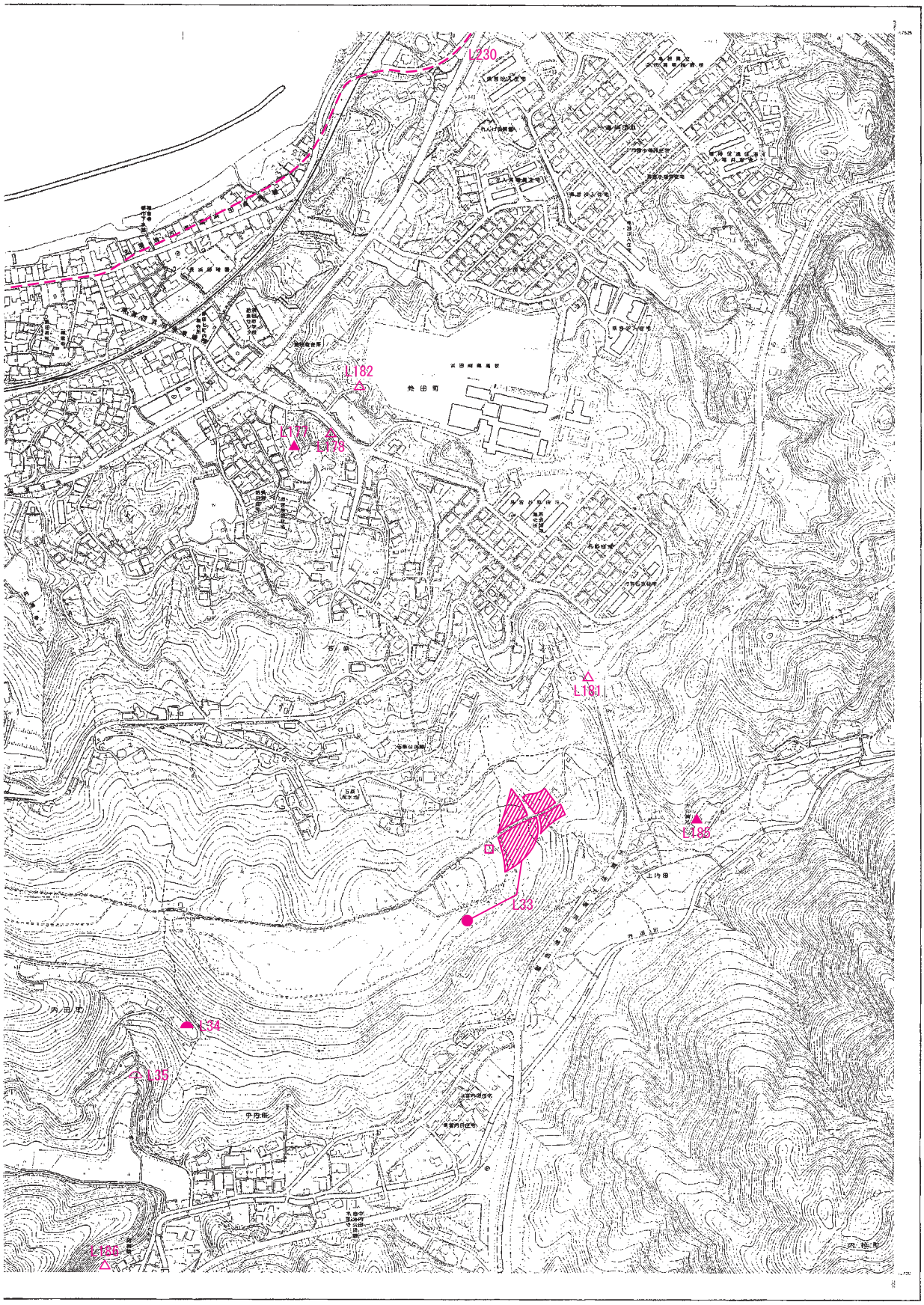
L180 村田窯跡　L230 山陰道



L162・247 渡辺窯跡　L175 永見窯跡　L179 室田窯跡　L188 佐々木窯跡　L230 山陰道
県天1 黄長石霞石玄武岩

D-6

D-7

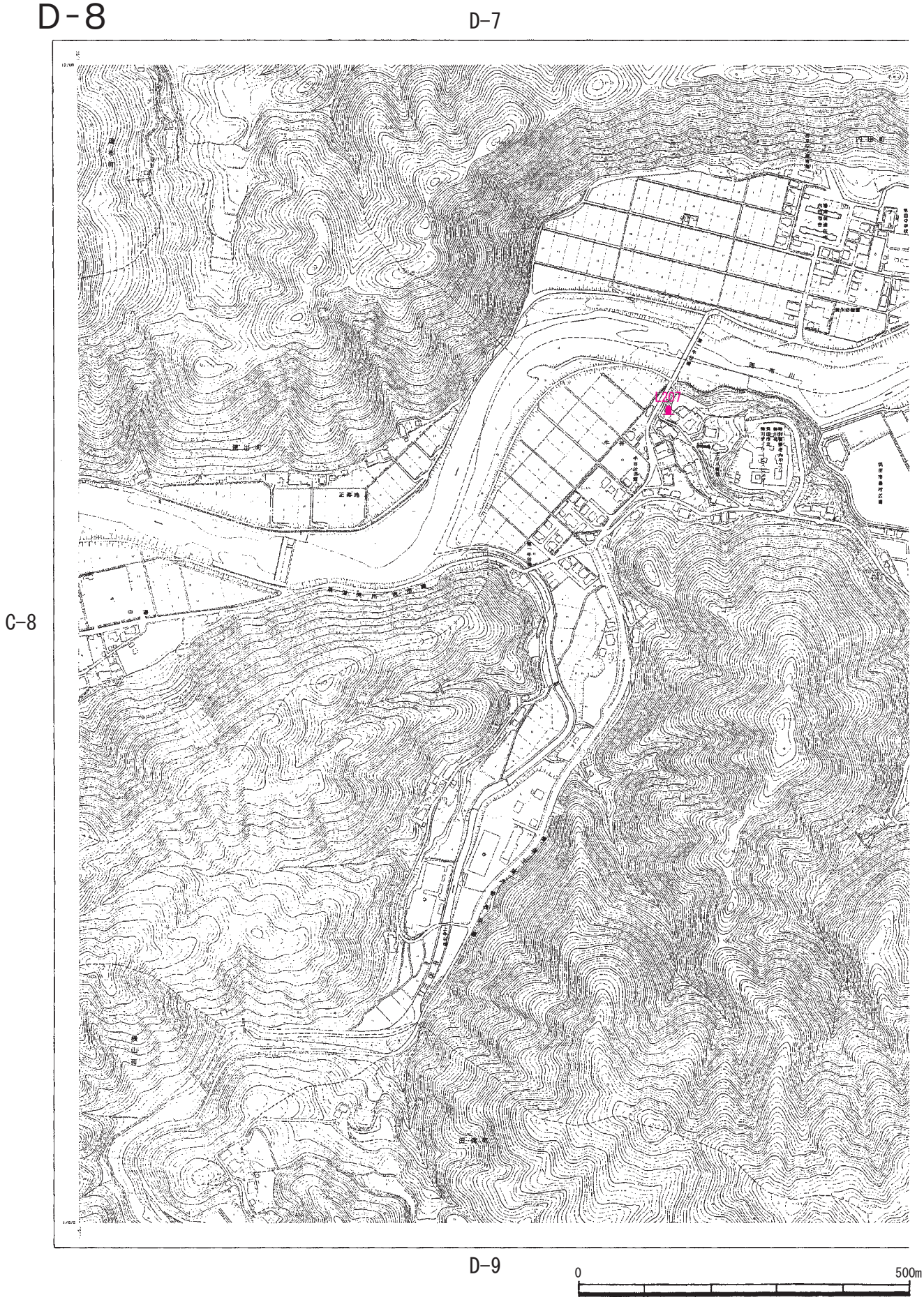


E-7

D-8

0 500m

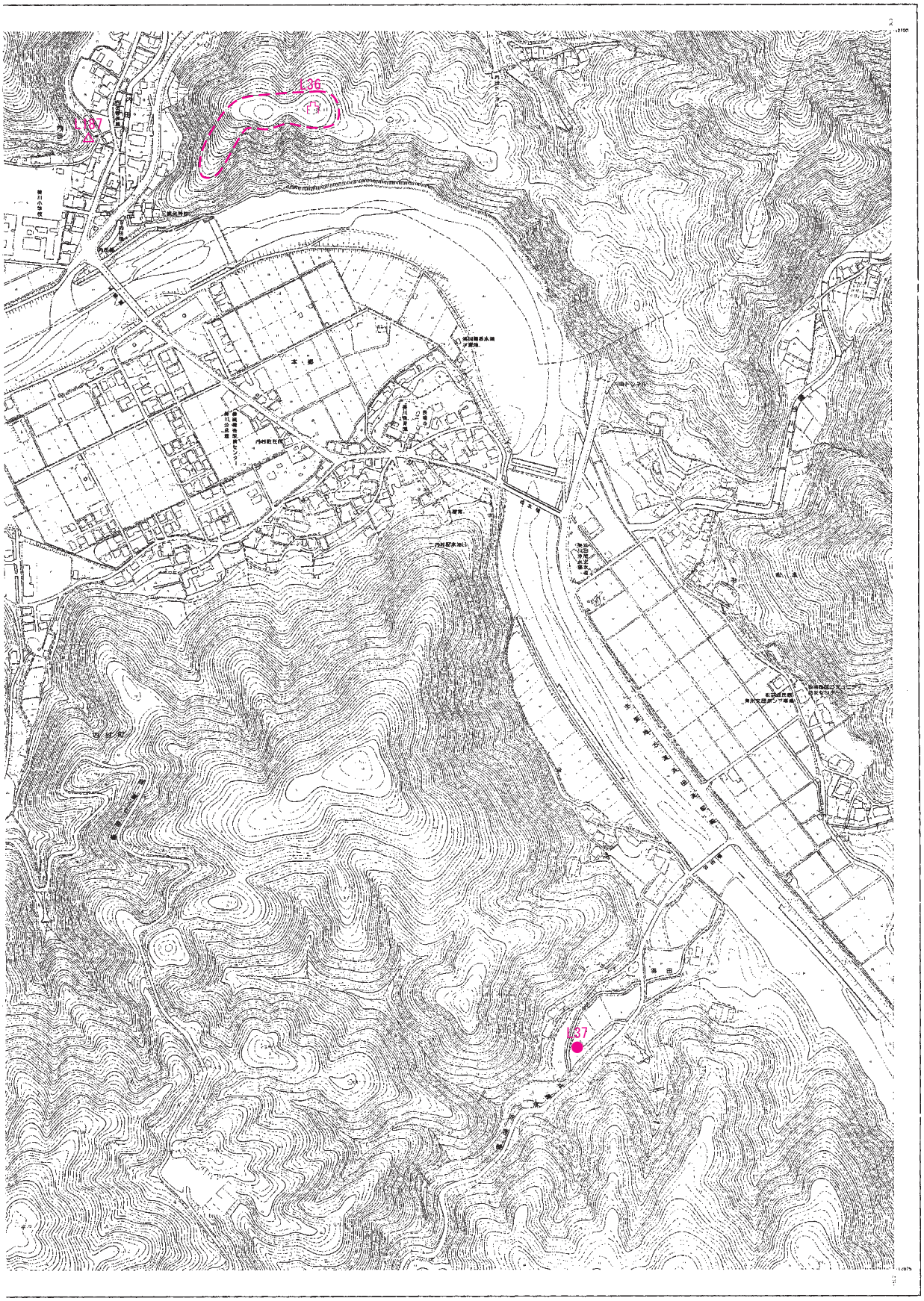
L33 道休畑遺跡　L34 後面古墳　L35 上内田古墳　L177 森脇窯跡　L178 森脇分家窯跡
L181 今浦窯跡　L182 小泉窯跡　L185 平野窯跡　L186 岸本窯跡　L230 山陰道



L207 王子山古墓

D-7

D-8



E-8

D-9

0 500m

L36 要害山城跡　L37 羽田遺跡　L187 内田窯跡

D-9

D-8

C-9

D-10

0 500m

L88 田橋鍛冶屋跡

D-9

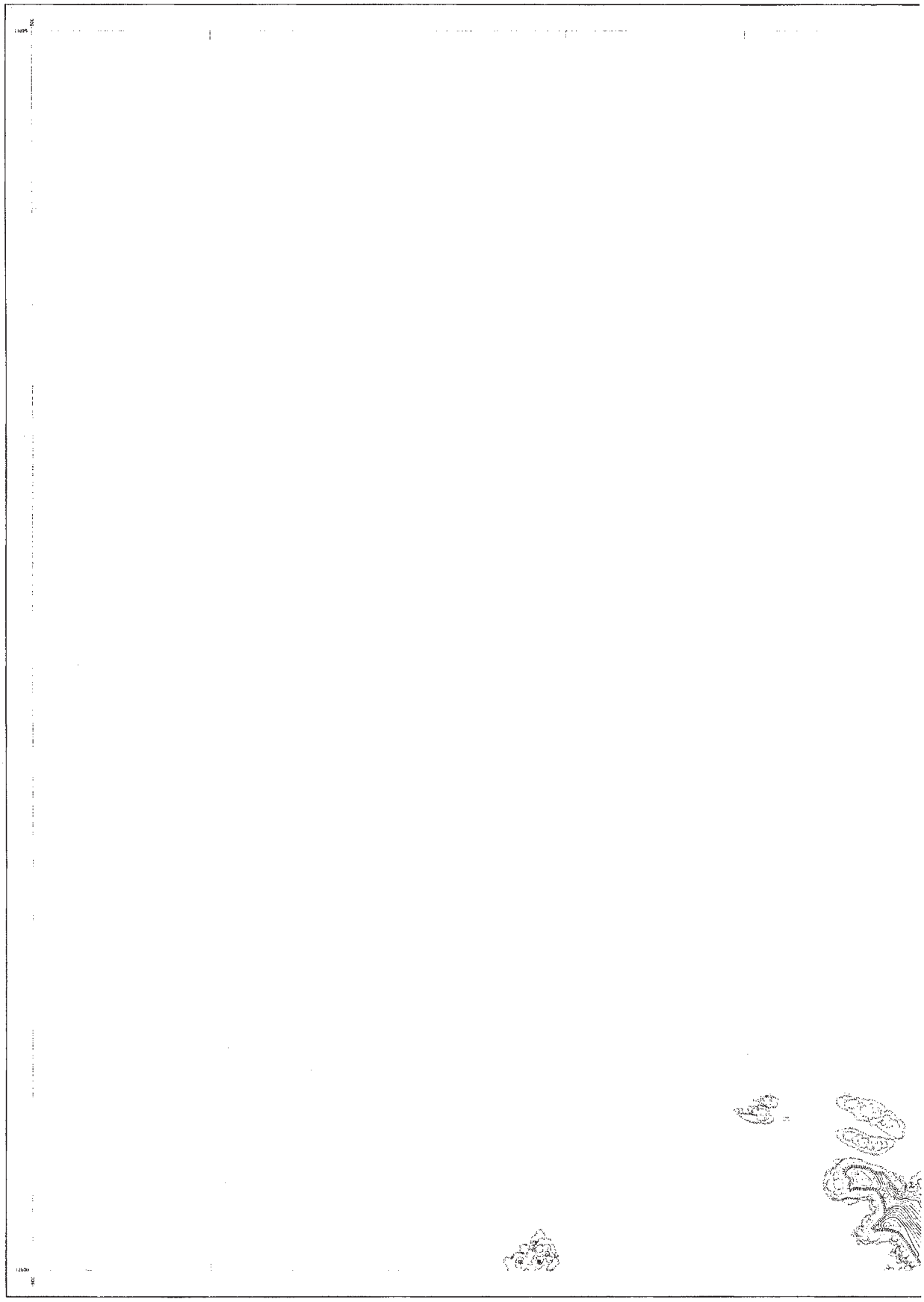
D-10

D-11

0 500m

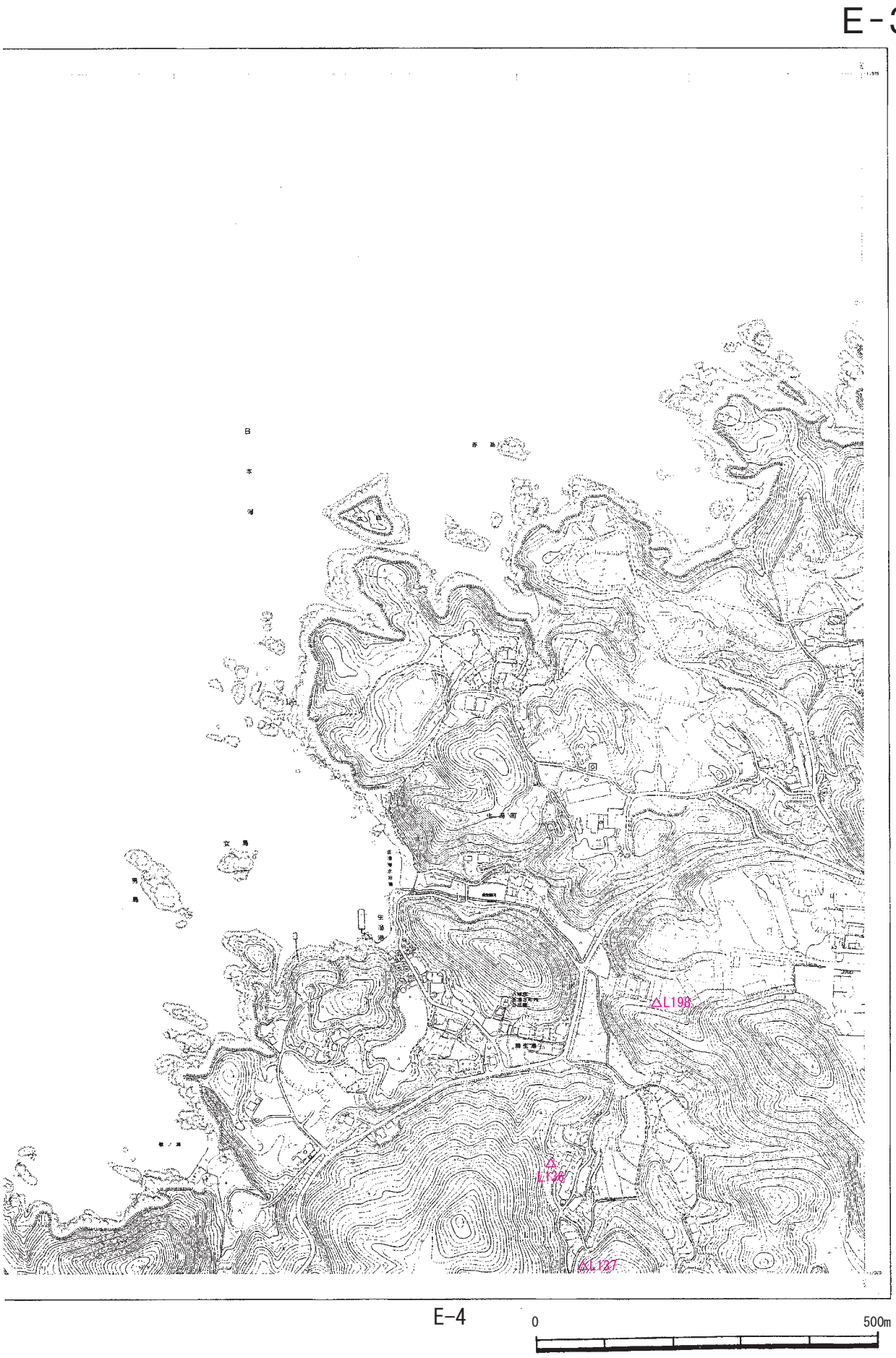
L87 櫟田原鍛冶屋跡

E-3



E-4

0 500m



L136 佐々木窯跡　L137 高宗窯跡　L198 生湯窯跡

E-4

E-3

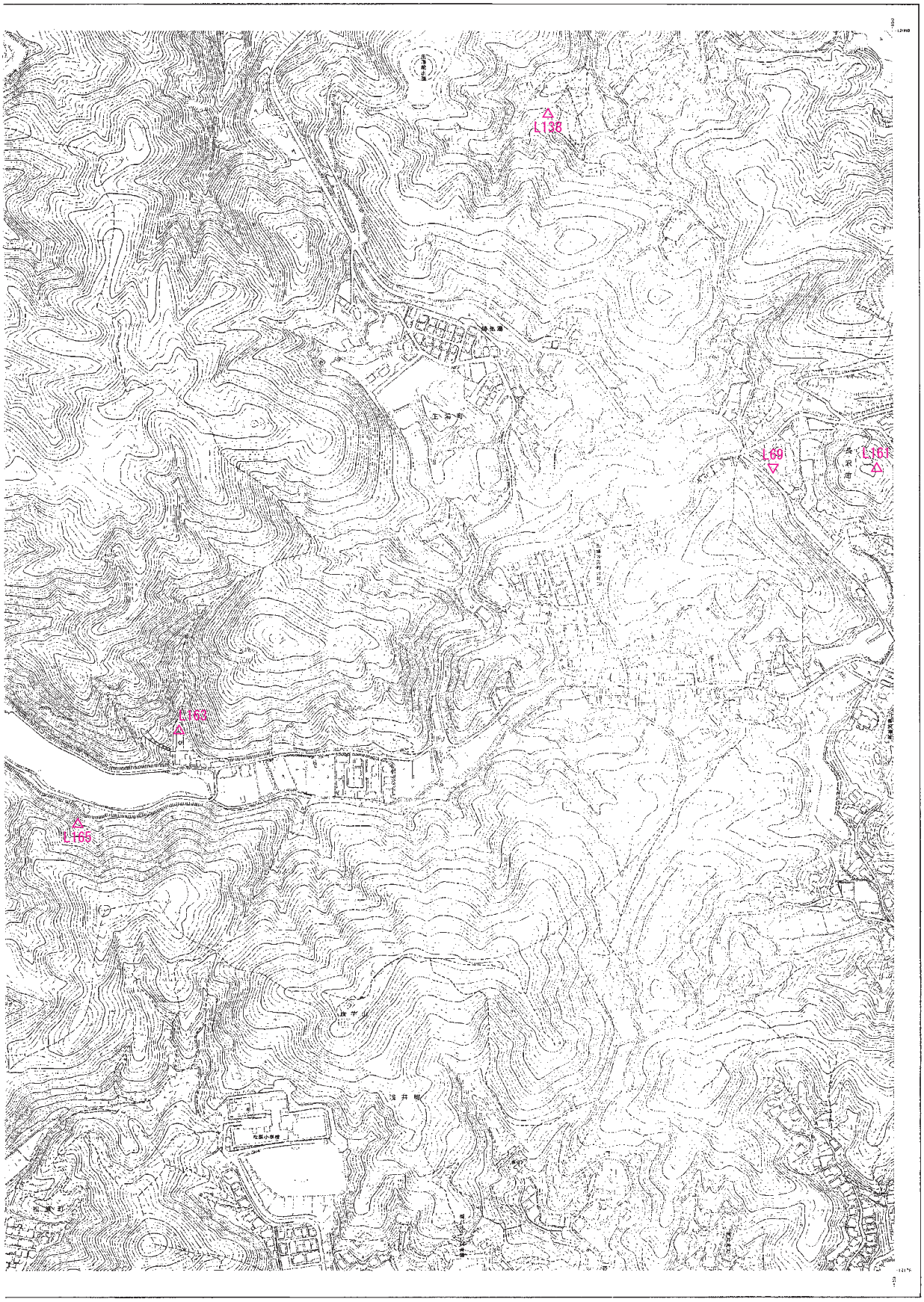
E-5

0 500m

L26 日和山方位石（市史 4） L164 内藤窯跡 L166 西山窯跡 L235 動木窯跡

E-3

E-4

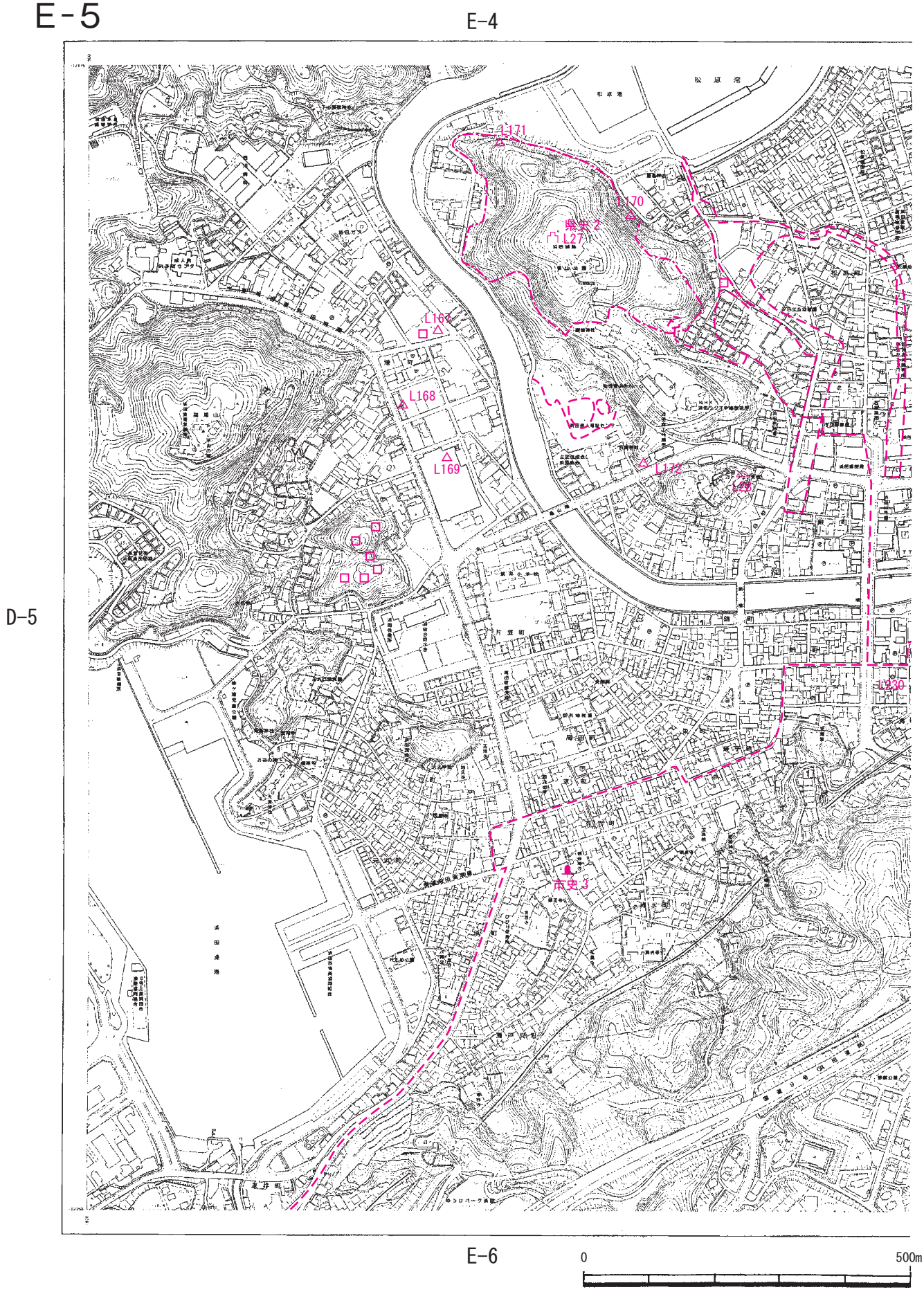


F-4

E-5

0 500m

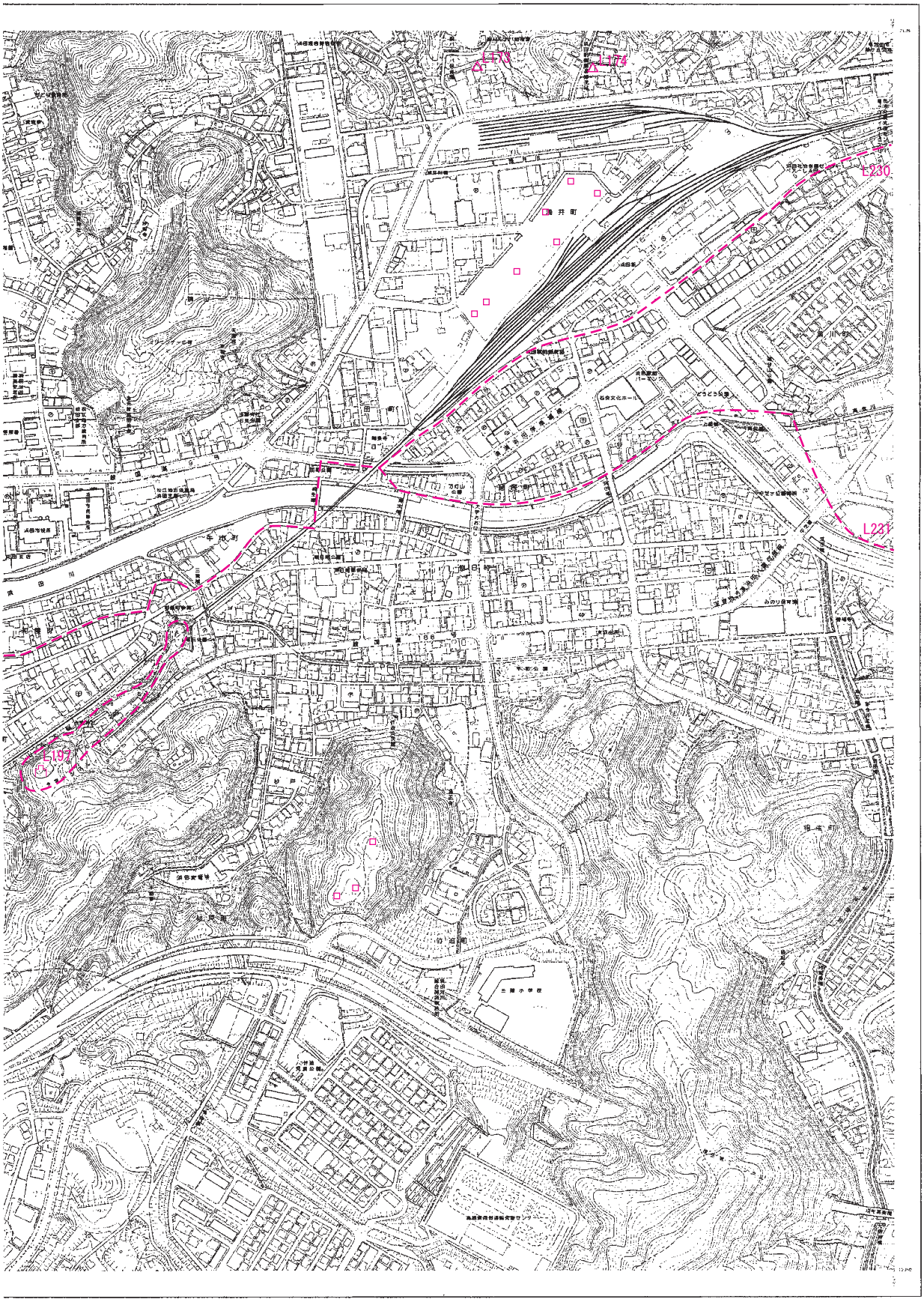
L69 長沢鈩跡　L138 亀谷窯跡　L161 大元窯跡　L163 皿山窯跡　L165 矢島窯跡



L27 浜田城跡（県史 2）　L28 夕日ヶ丘古墳　L167 某窯跡　L168 三沢窯跡　L169 某窯跡
L170 淡島窯跡　L171 お庭焼跡　L172 白川窯跡　L230 山陰道
市史3 東海篠先生之墓

E-4

E-5

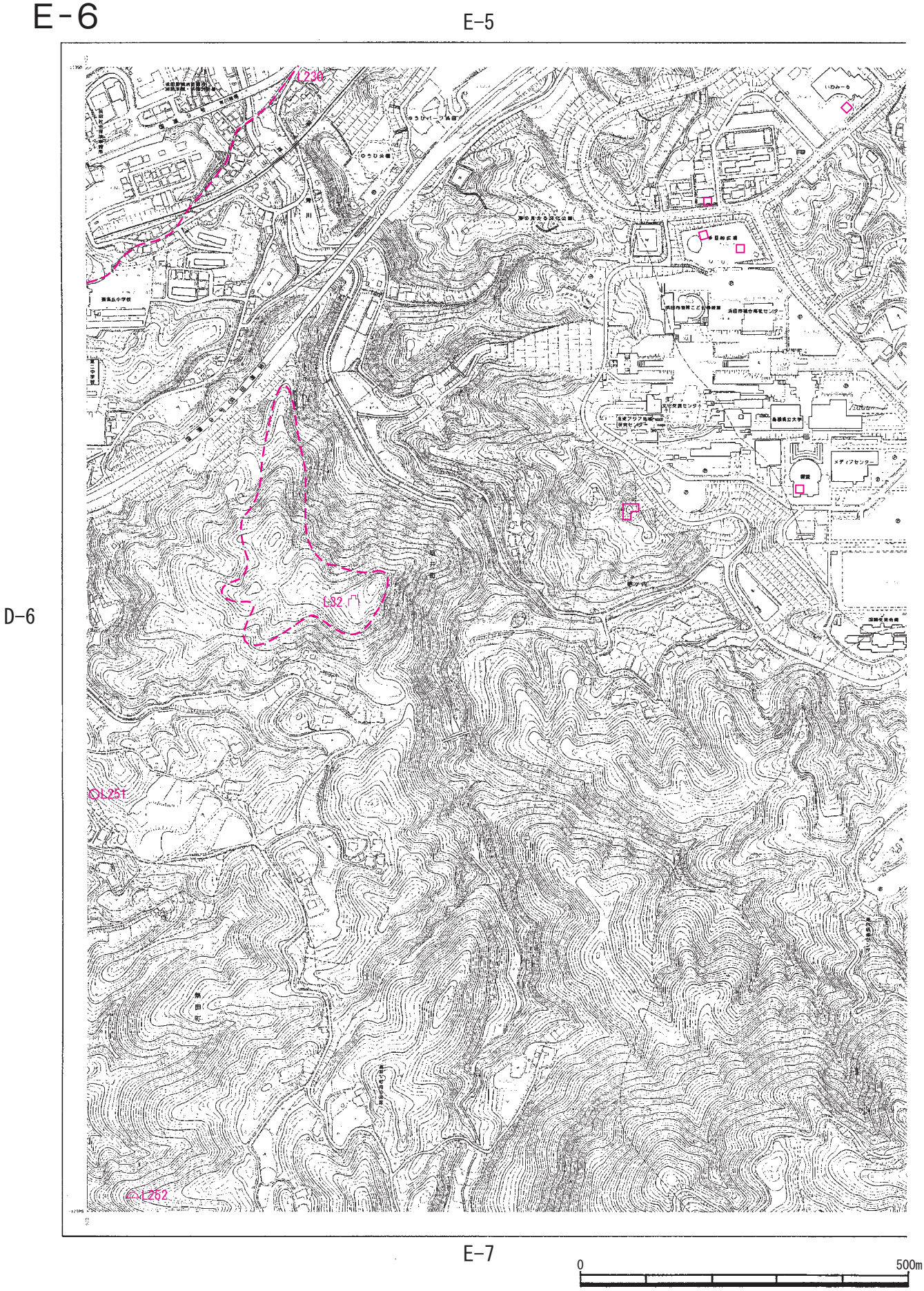


F-5

E-6

0 500m

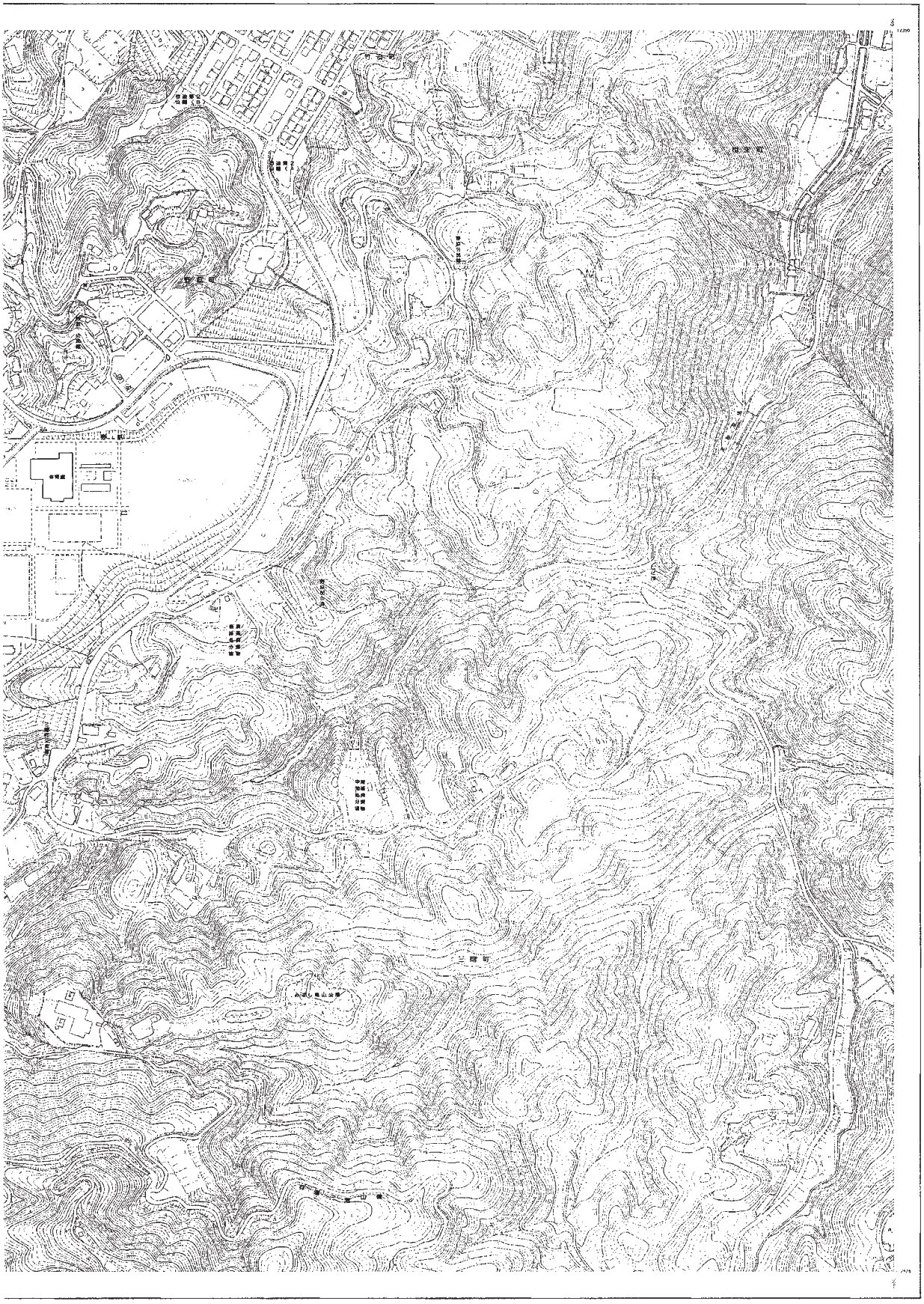
L173 富島窯跡　L174 森脇窯跡　L197 三重山城跡　L230 山陰道　L231 浜田広島街道



L32 小石見城跡　L230 山陰道　L251 片良ヶ平遺跡　L252 神田平遺跡

E-5

E-6

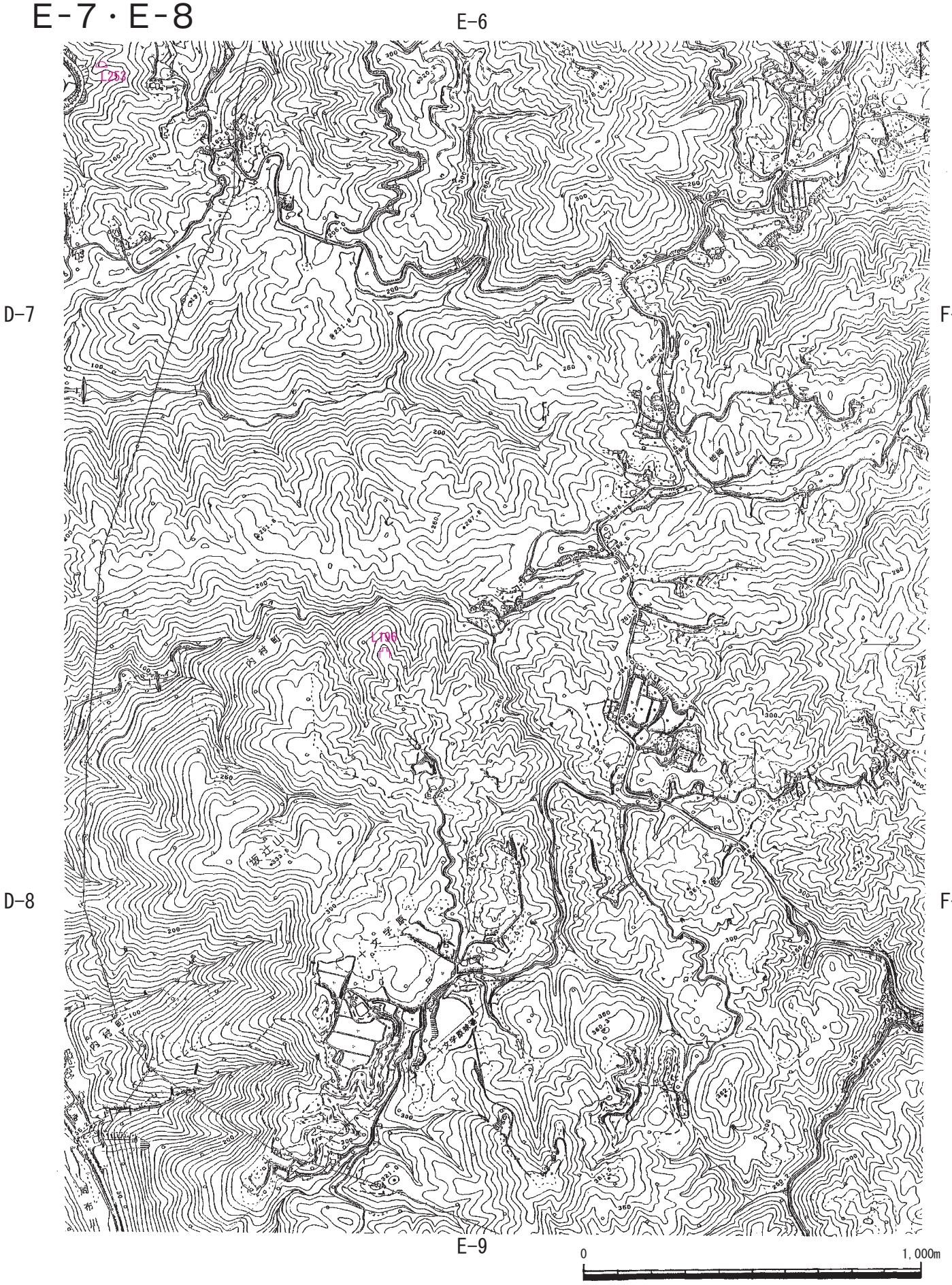


F-6

E-7

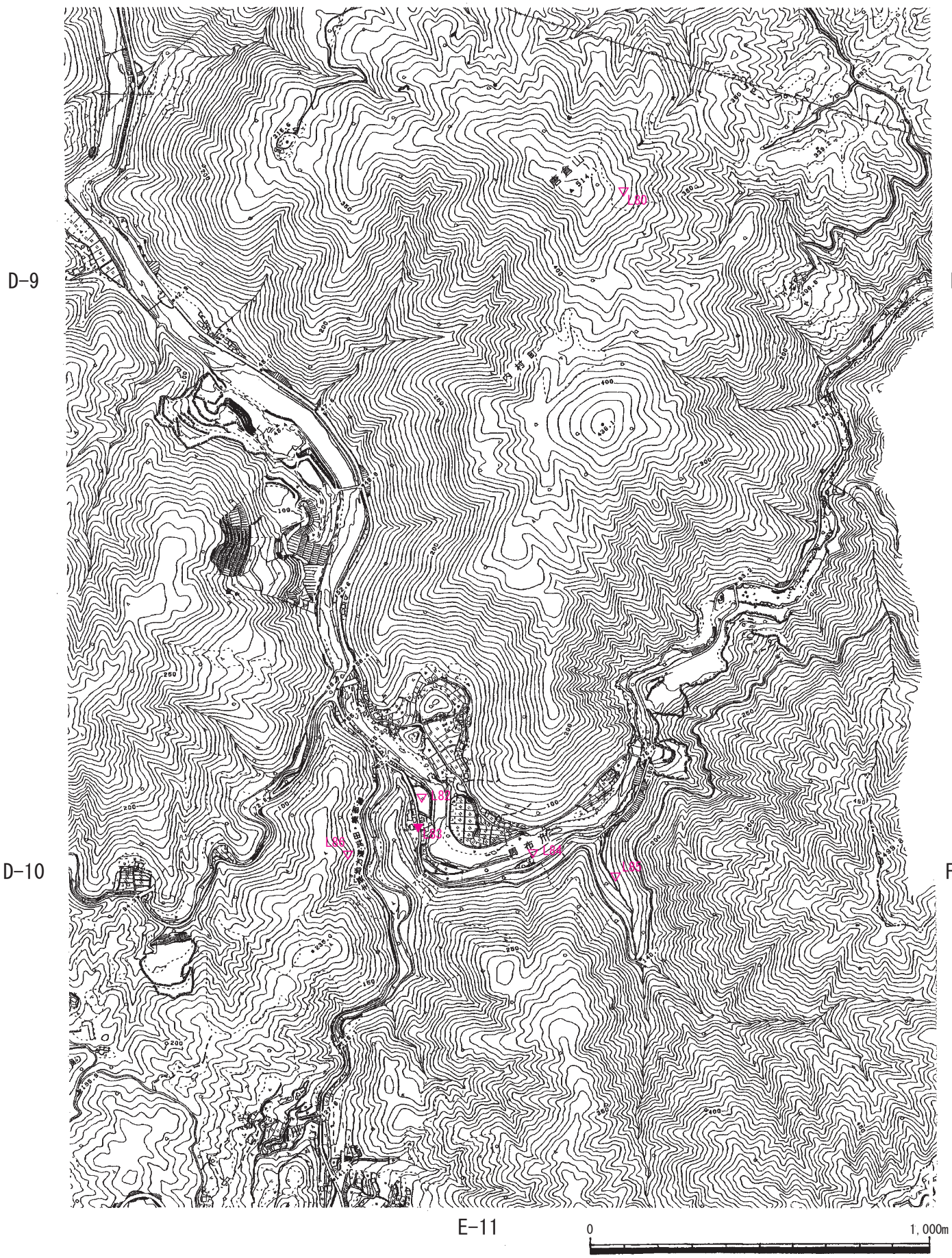
0 500m

E-7・E-8



L196 古城跡　L253 松ヶ谷遺跡

E-9・E-10



L80 唐金山鈩跡　L82 一の瀬鈩跡No.1　L83 一の瀬鈩跡No.2　L84 一の瀬鈩跡No.3
L85 一の瀬鈩跡No.4　L86 鍋石鍛冶屋跡

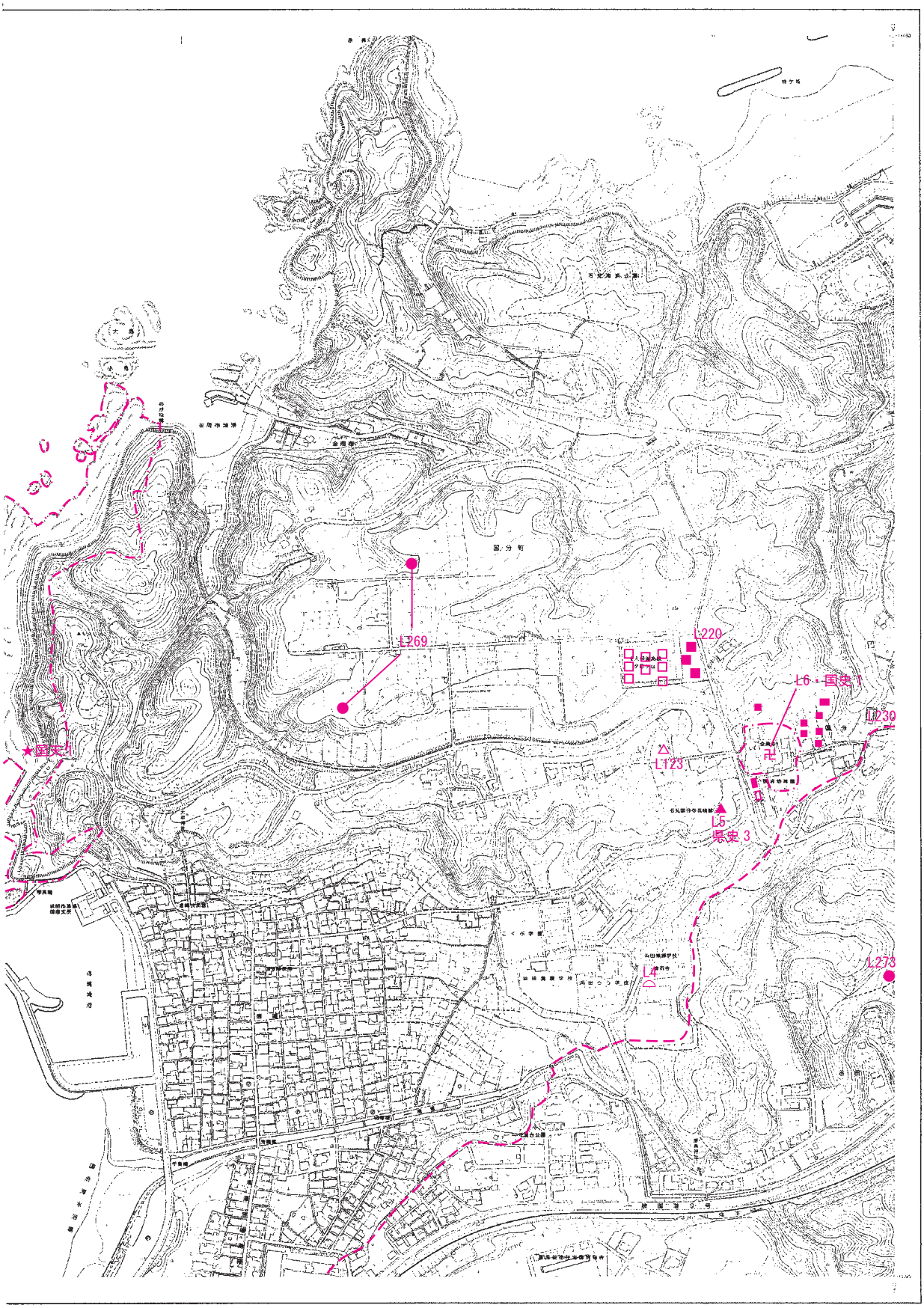
F-2

F-3

0 500m

国天1 石見畳ヶ浦

F-2



G-2

F-3

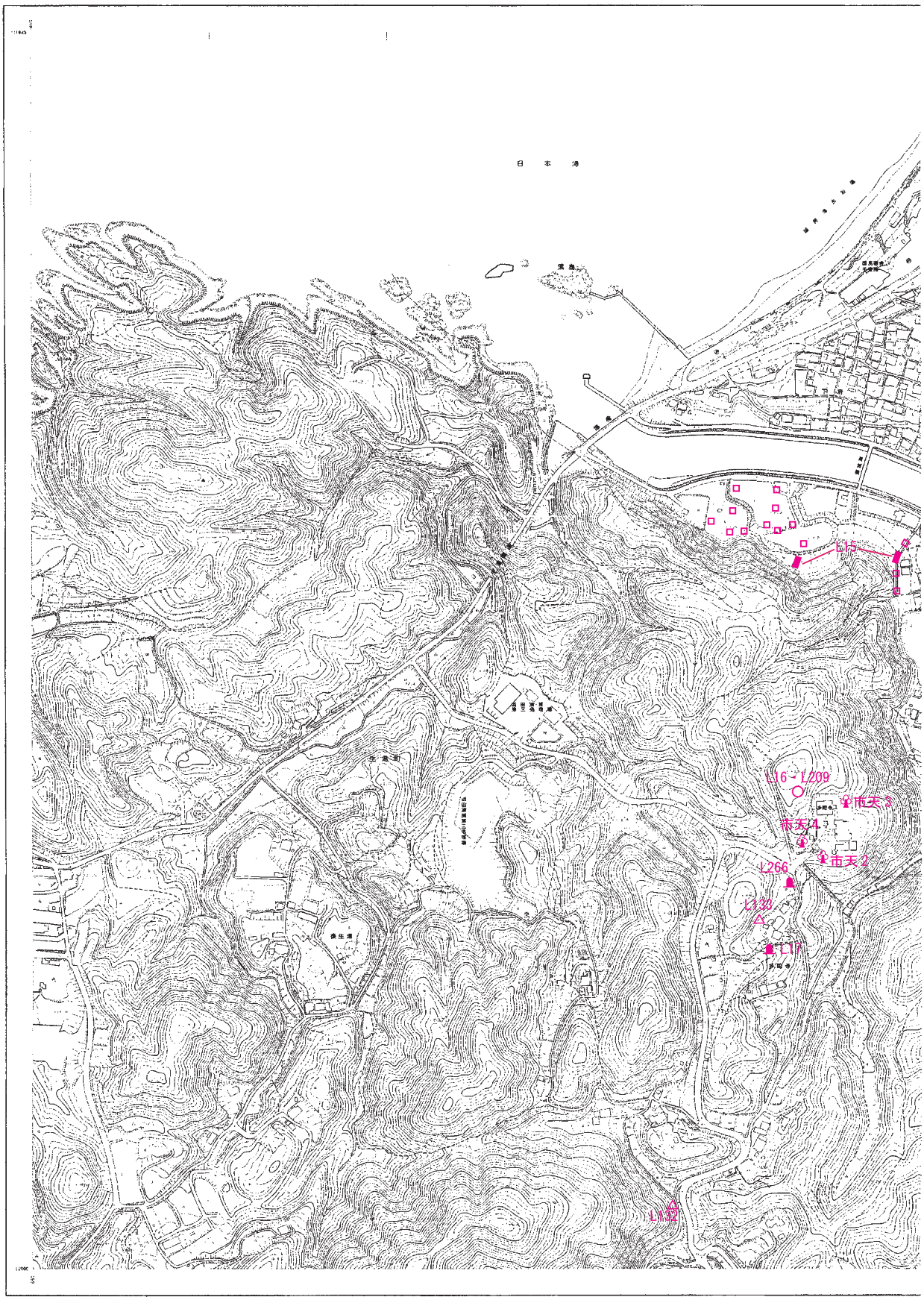
0 500m

L4 浜田ろう学校敷地古墳　L5 石見国分寺瓦窯跡（県史 3）　L6 石見国分寺（国史 1）
L123 前中屋窯跡　L220 前場紙漉遺跡　L230 山陰道　L269 金周布遺跡　L273 谷田遺跡
国天1 石見畳ヶ浦

F-3

F-2

E-3



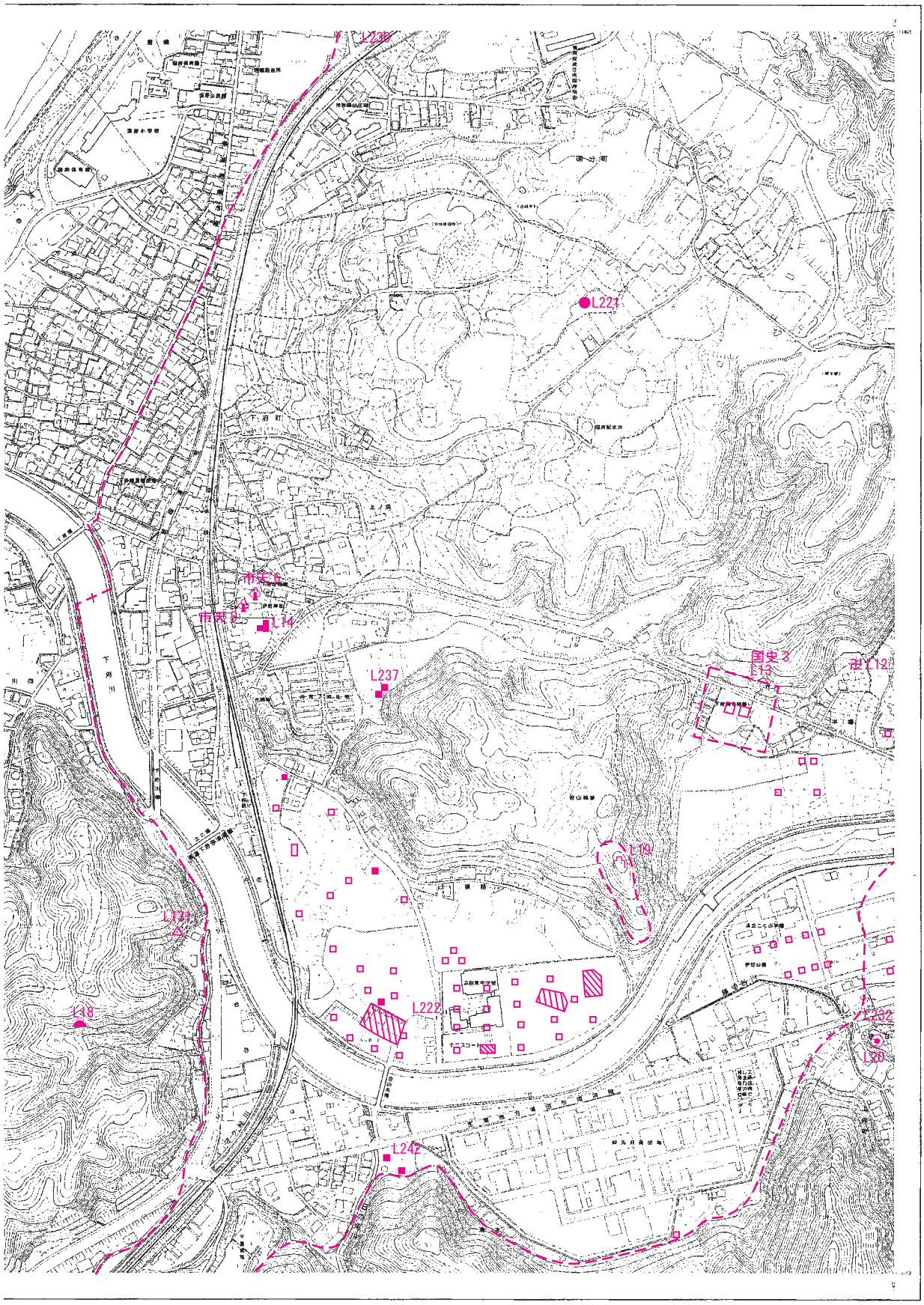
F-4

0 500m

L15 川向遺跡　L16 多陀寺経塚跡　L17 生湯五輪塔　L132 西山窯跡　L133 塩田窯跡
L209 多陀寺遺跡　L266 多陀寺古墓群
市天2 多陀寺のクスノキ　市天3 多陀寺のヒノキ
市天4 多陀寺のシイ・タブ林

F-2

F-3



G-3

F-4

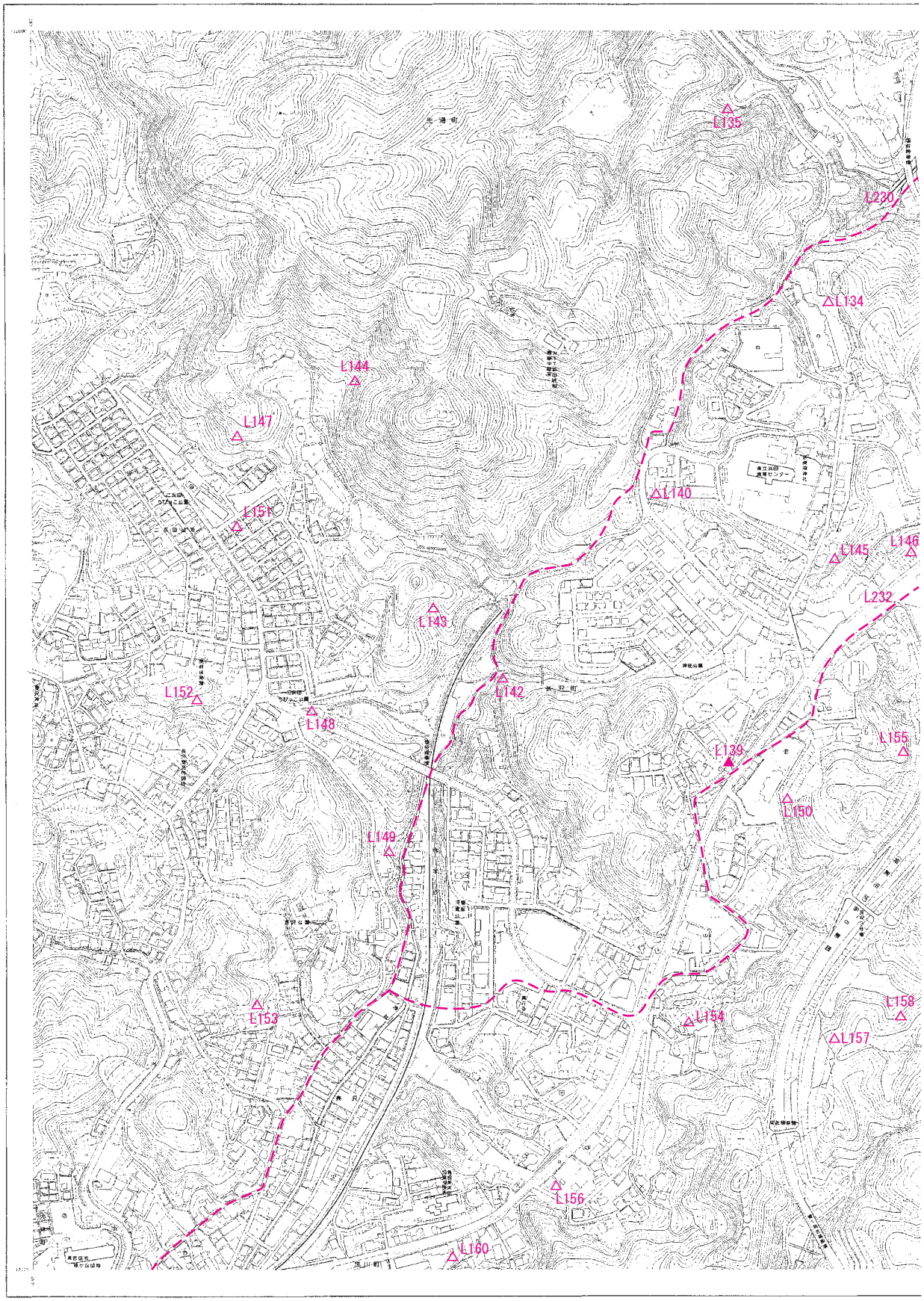
0 500m

L12 泰林寺跡　L13 下府廃寺跡（国史 3）　L14 伊甘神社脇遺跡　L18 中ノ古墳　L19 笹山城跡
L20 伊甘経塚　L131 中村窯跡　L221 大平遺跡　L222 横路遺跡　L230 山陰道　L232 浜田三次往還
L237 千足遺跡　L242 枚ヶ平遺跡
市天5 伊甘神社のイチョウ　市天6 伊甘神社のムクノキ

F-4

F-3

E-4



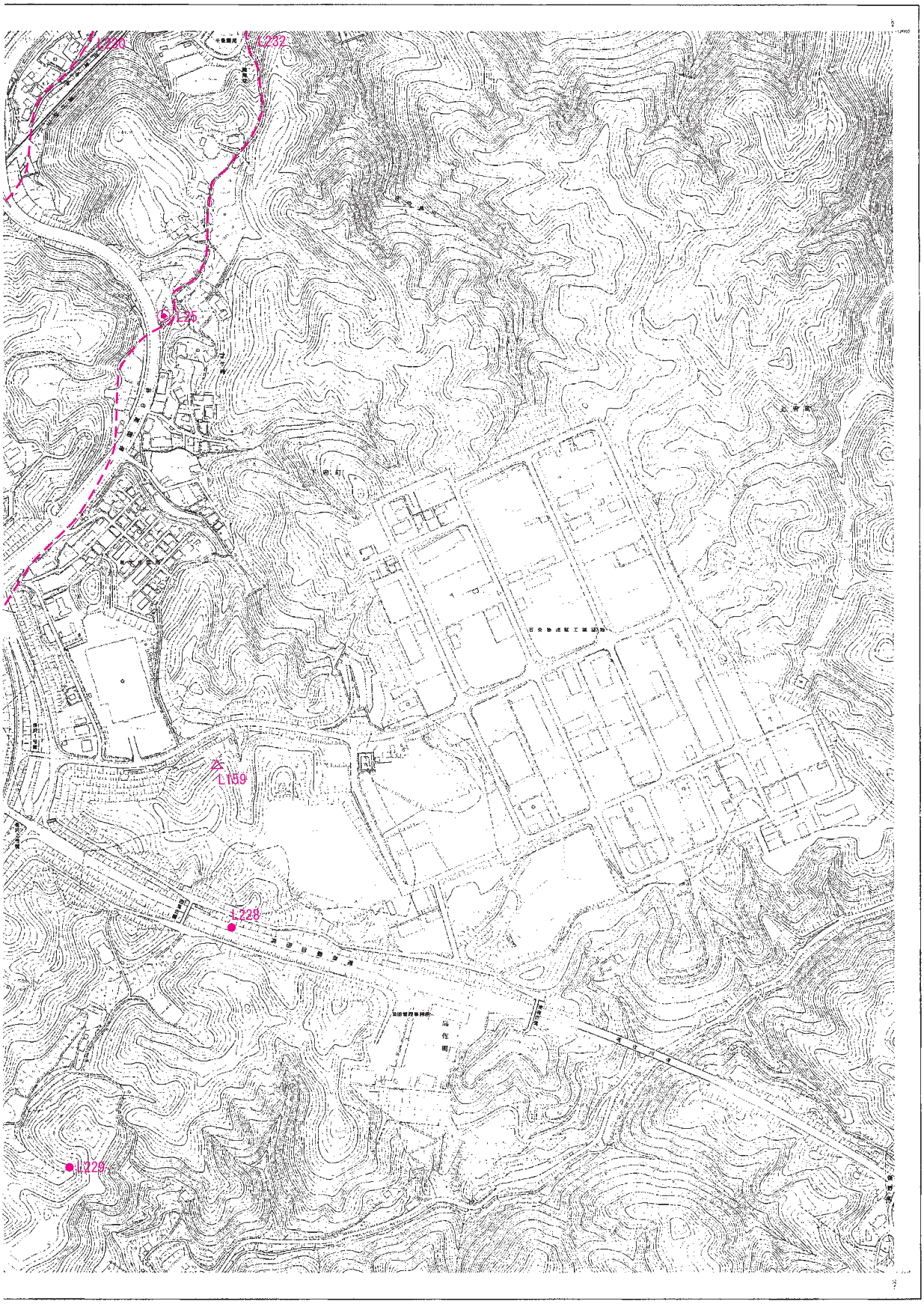
F-5

0 500m

L134 河野窯跡　L135 川上窯跡　L139 山口窯跡　L140 東山窯跡　L142 大吉屋窯跡　L143 吹ヶ迫窯跡
L144 はぜ山窯跡　L145 川神窯跡　L146 川神窯跡　L147 螺山窯跡　L148 吉本窯跡　L149 タタラ屋窯跡
L150 原田窯跡　L151 野海窯跡　L152 尾崎窯跡　L153 森田窯跡　L154 平野窯跡　L155 峠窯跡
L156 山本窯跡　L157 木坂窯跡　L158 富士窯跡　L160 大元窯跡　L230 山陰道　L232 浜田三次往還

F-3

F-4

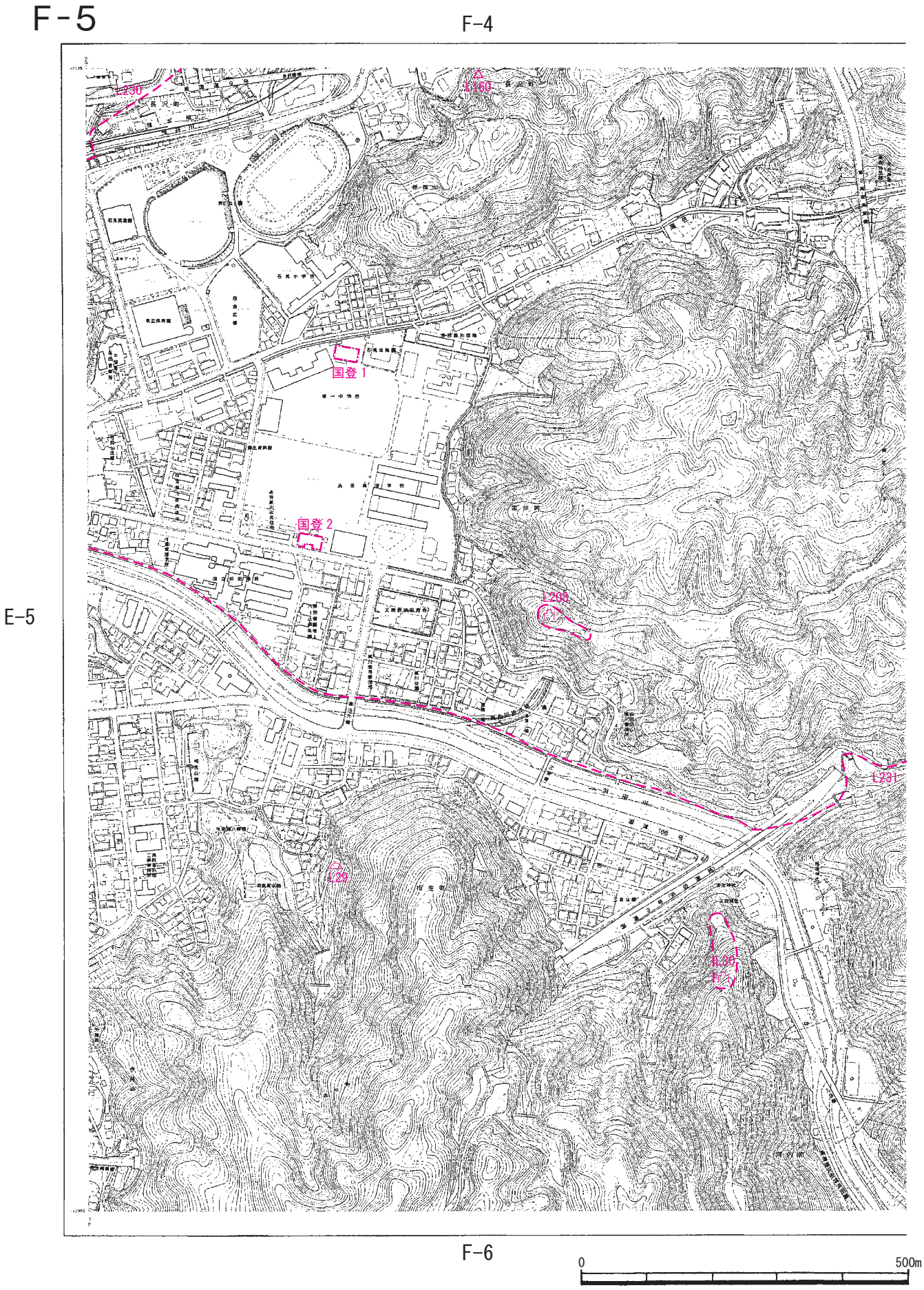


G-4

F-5

0 500m

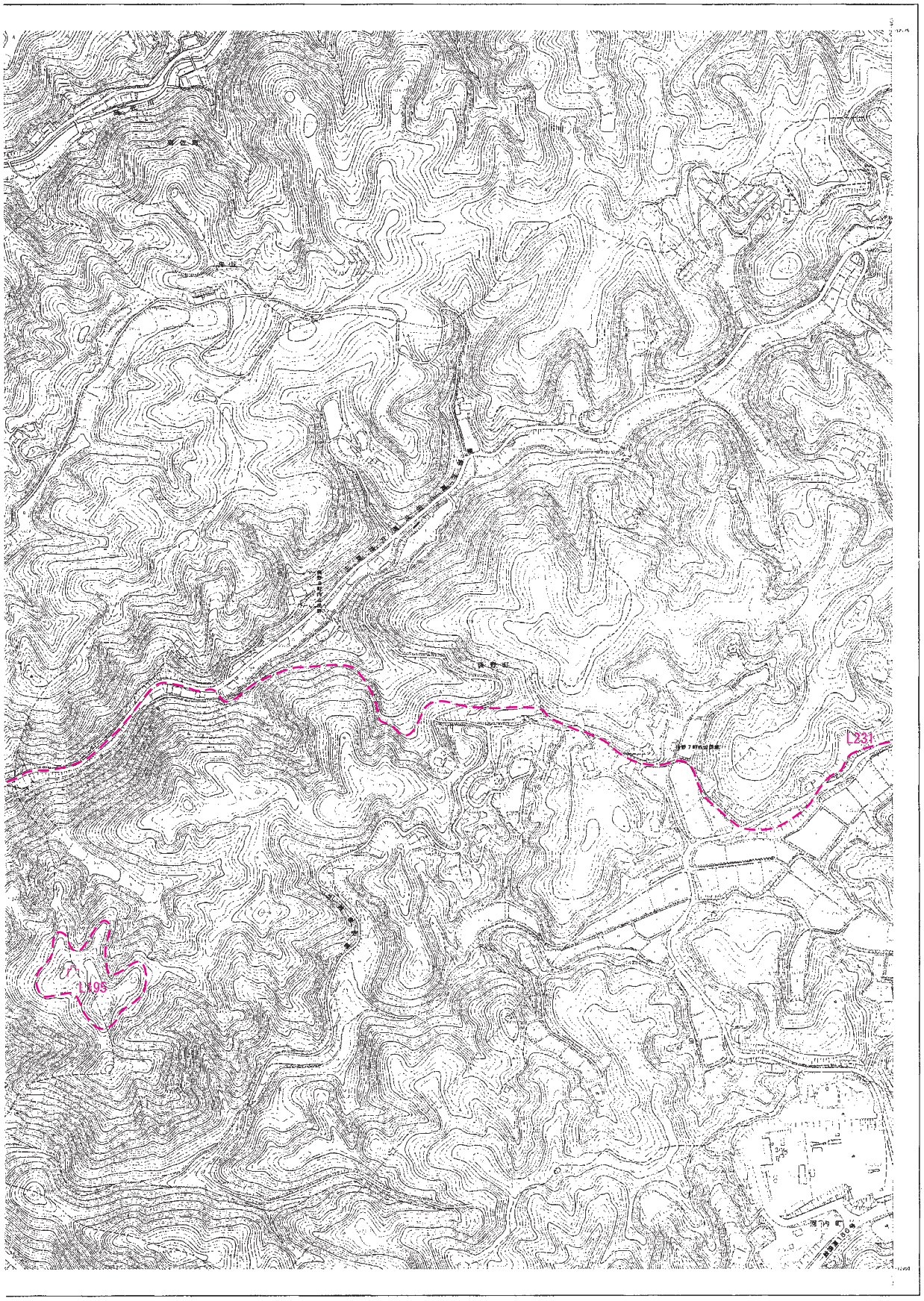
L25 才ヶ峠石畳道　L159 尾崎窯跡　L228 浜伊場遺跡　L229 菖蒲迫遺跡　L230 山陰道
L232 浜田三次往還



L29 社家地古墳群　L30 三子山城跡　L160 大元窯跡　L208 潰城跡　L230 山陰道　L231 浜田広島街道
国登1 浜田市立第一中学校屋内運動場（旧歩兵第二十一連隊雨覆練兵場）
国登2 島根県立浜田高等学校（旧歩兵二十一連隊雨覆練兵場）

F-4

F-5



G-5

F-6

0 500m

L195 正蓮寺山城跡　L231 浜田広島街道

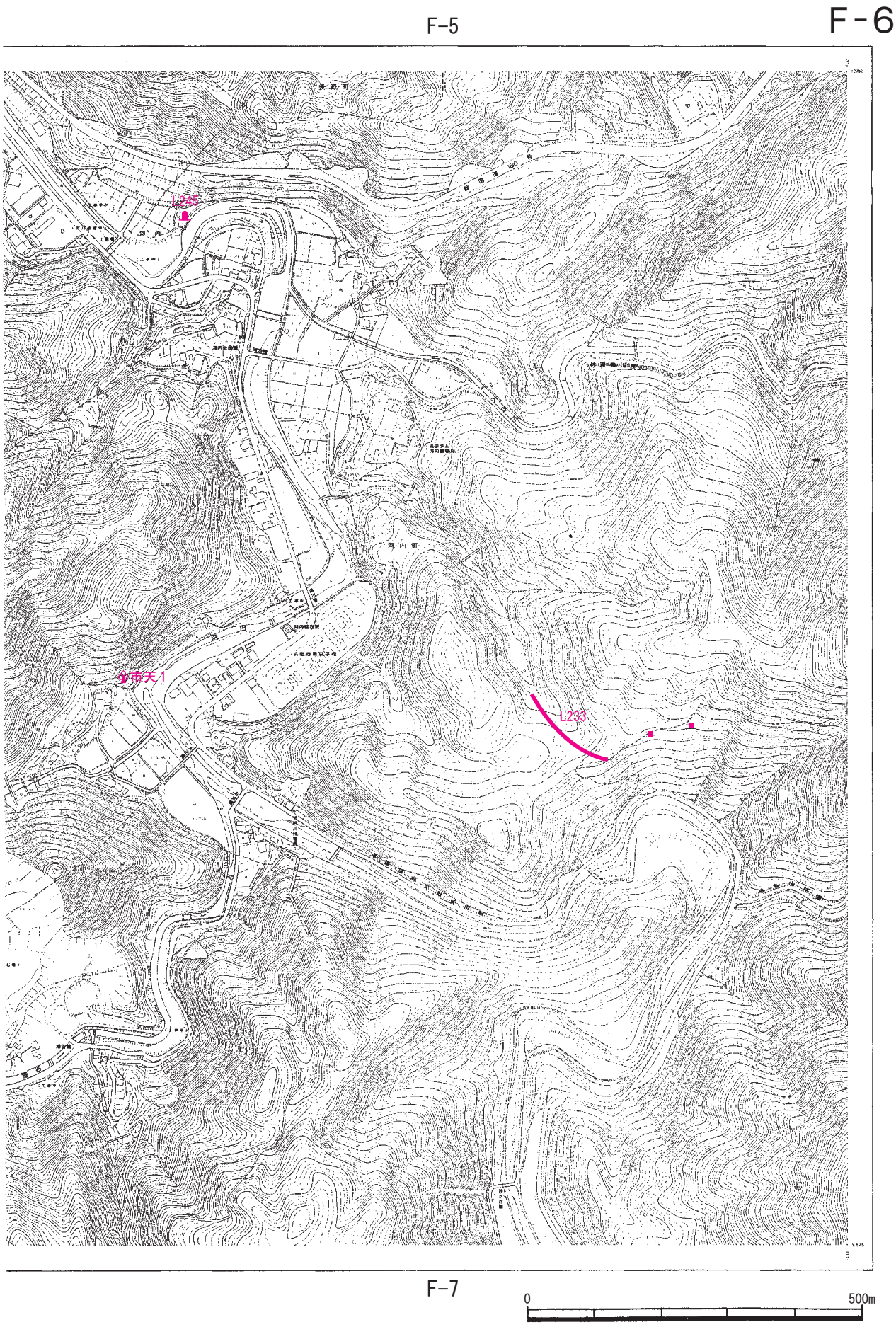
F-6

F-5

E-6

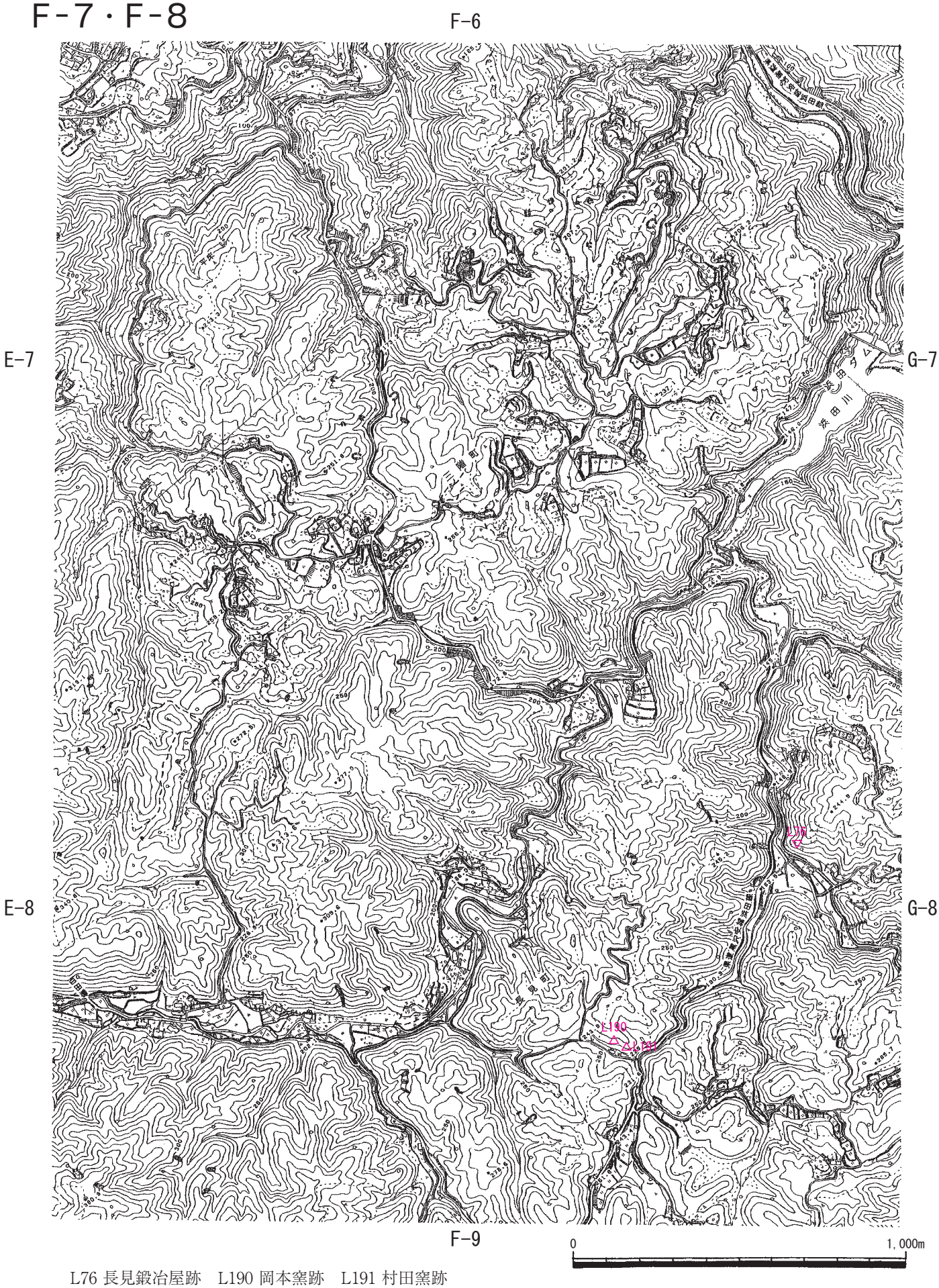
F-7

0 500m



L233 唐谷坂道　L245 岡本古墓
市天1 ビロードシダ及び群生地

F-7・F-8



L76 長見鍛冶屋跡　L190 岡本窯跡　L191 村田窯跡

F-8

F-9

E-9

G-9

F-10

E-10

E-11

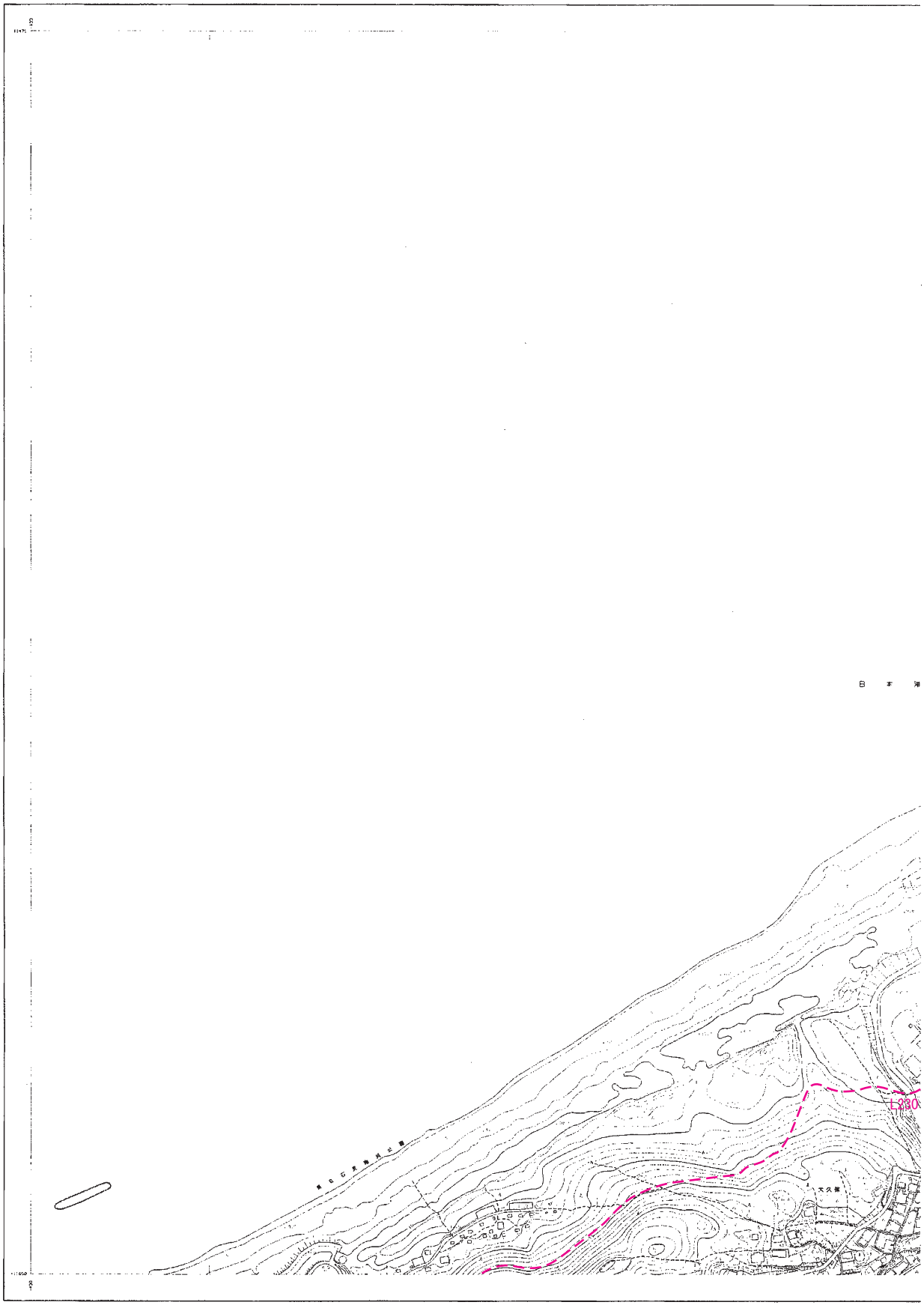
D-11

0

1,000m

L74 火柱鈩跡　L79 柳木谷鈩跡

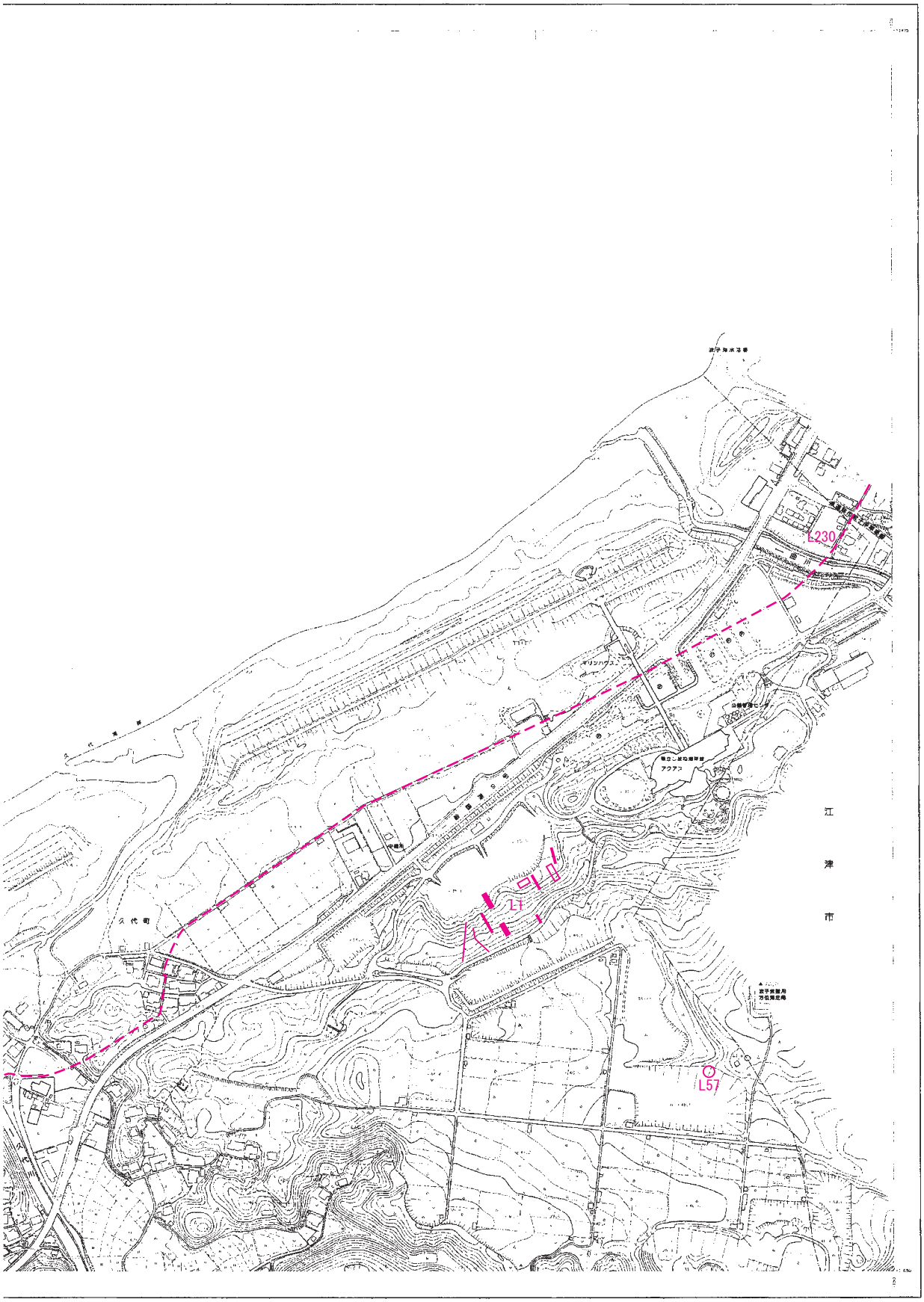
G-1



G-2

0 500m

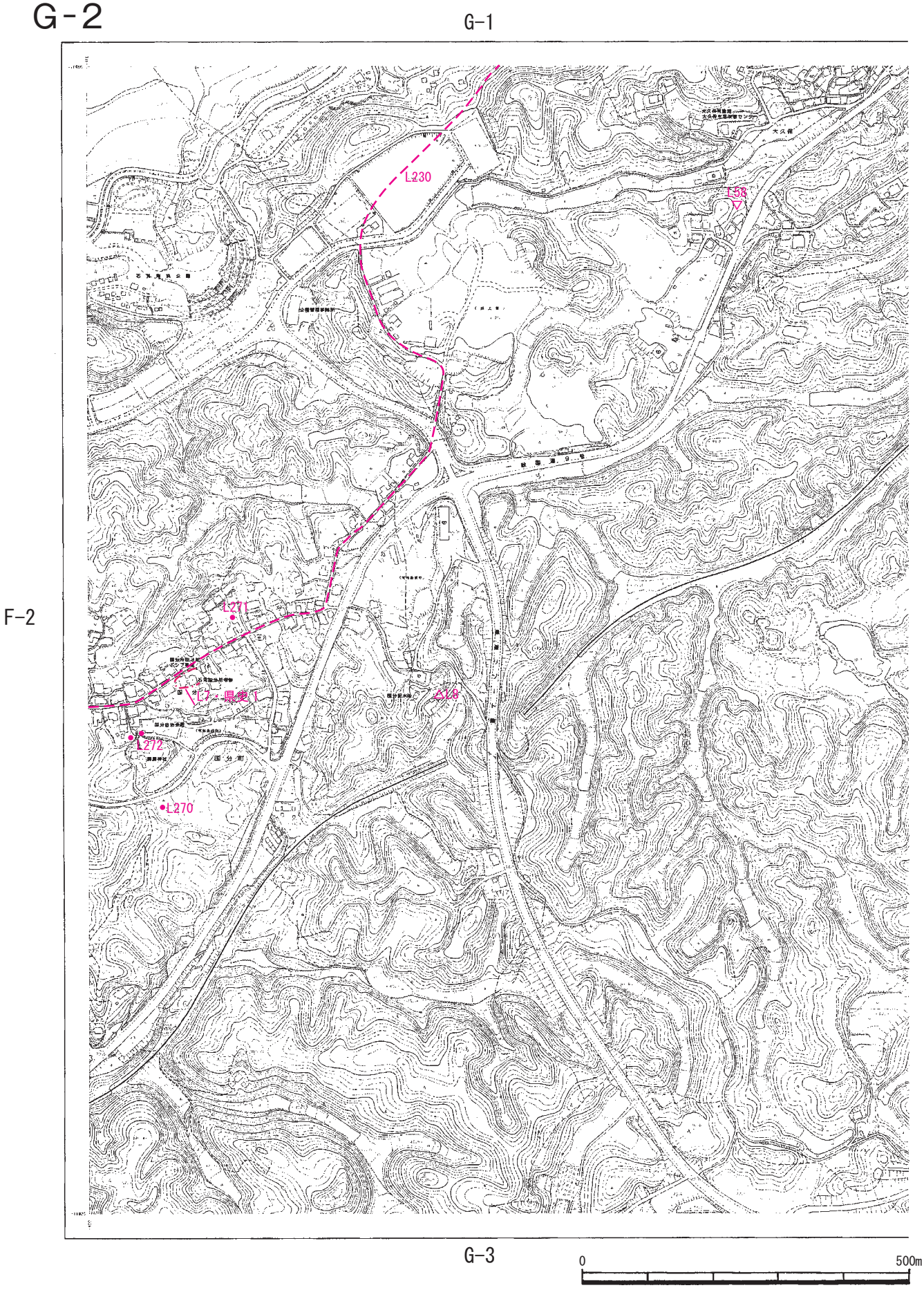
L230 山陰道



G-2

0 500m

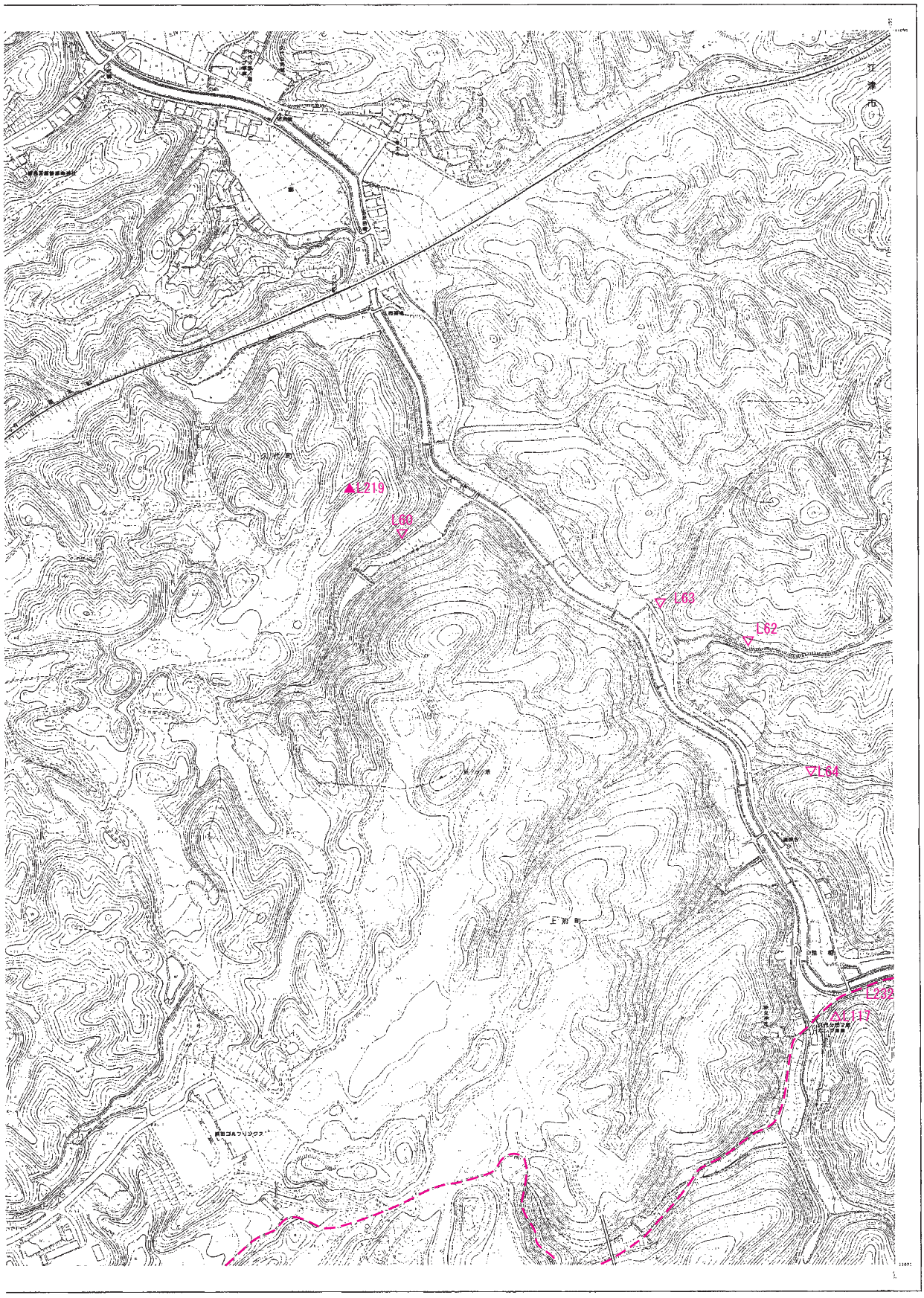
L1 大平浜遺跡　L57 越峠遺跡　L230 山陰道



L7 石見国分尼寺跡（県史 1）　L8 奈古田窯跡　L58 宇津割鈩跡　L230 山陰道
L 270 国分尼寺南遺跡　L 271 国分尼寺北遺跡　L 272 国分尼寺西遺跡

G-1

G-2



H-2

G-3

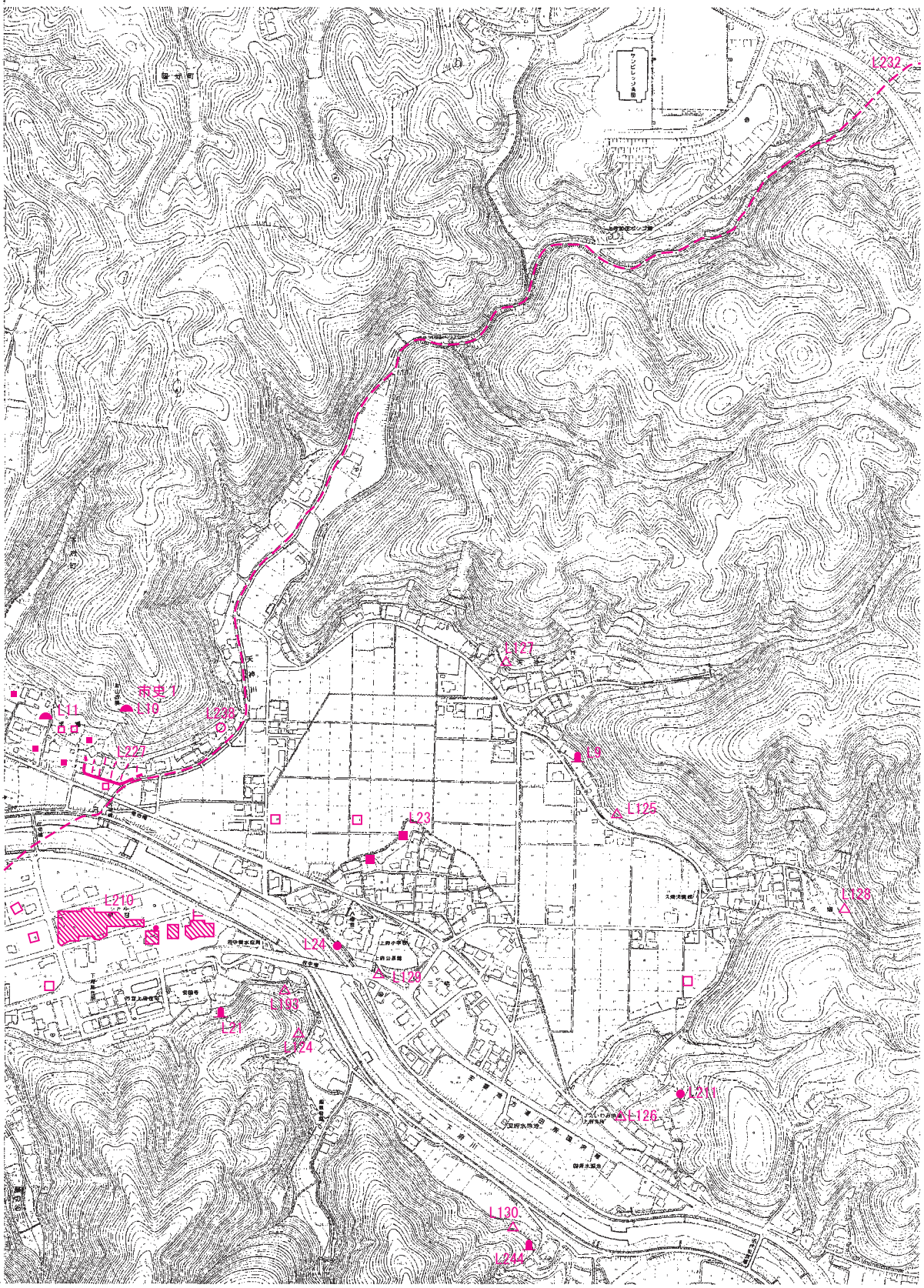
0 500m

L60 久代鈩群跡No.1　L62 荒相鈩群跡No.1　L63 荒相鈩群跡No.2　L64 西山鈩群跡
L117 中部屋窯跡　L219 西ヶ市窯跡　L232 浜田三次往還

G-3

G-2

F-3



G-4

0 500m

L9 久畑古墓　L10 片山古墳（市史 1）　L11 半場口古墳群　L21 伝益田氏三代の墓
L23 上府遺跡　L24 宮宅山遺跡　L124 かけ窯跡　L125 下手窯跡　L126 新屋窯跡　L127 岩黒窯跡
L128 あげよしや窯跡　L129 大村屋窯跡　L130 土田屋窯跡　L193 佐々木窯跡　L210 古市遺跡
L211 新延遺跡　L227 仕切遺跡　L232 浜田三次往還　L238 東遺跡　L244 住吉古墓

G-2

G-3

H-3

G-4

0 500m

L70 中曽根鍛冶屋跡　L224 大尾谷遺跡　L232 浜田三次往還

G-4

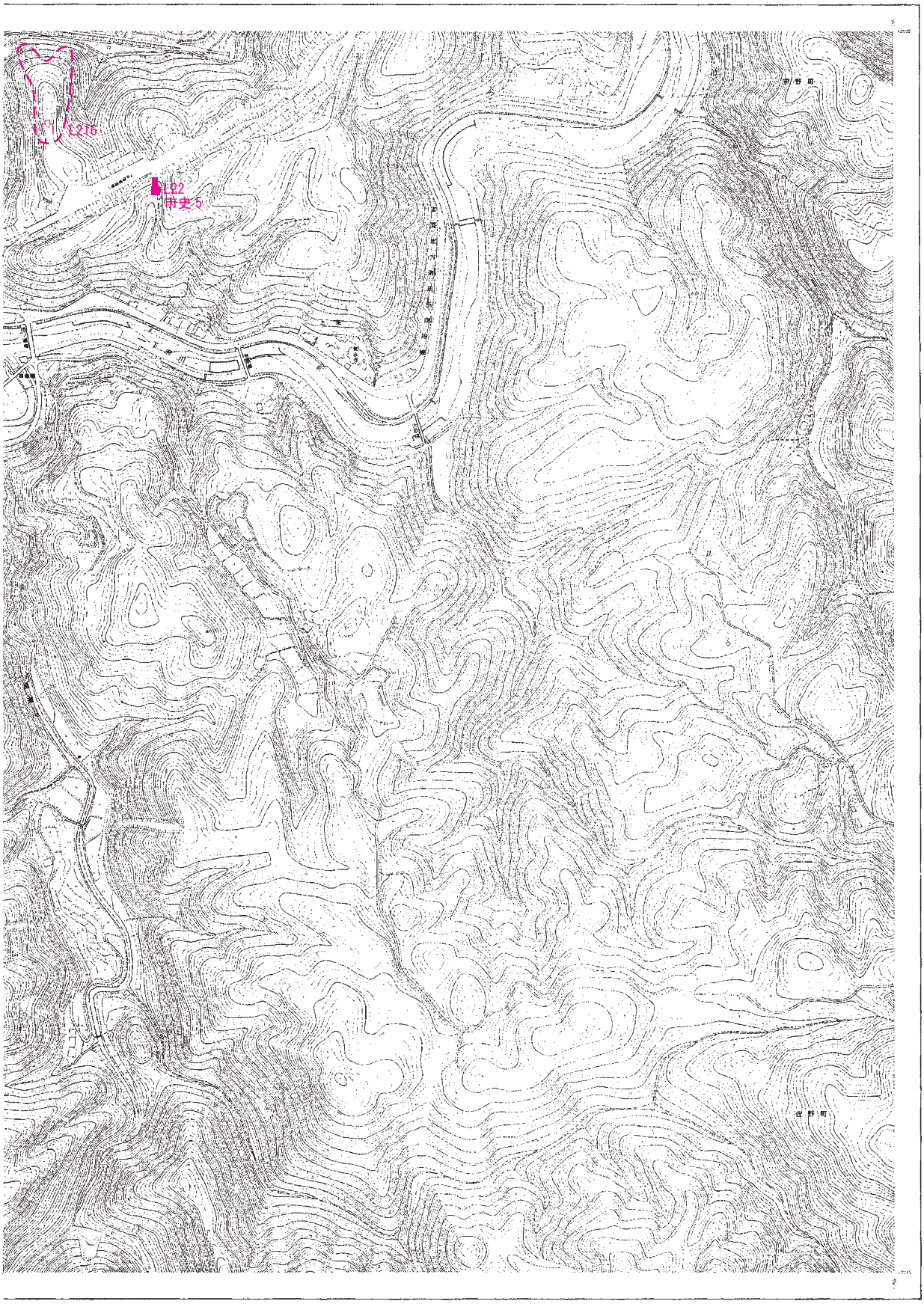
G-3

F-4

G-5

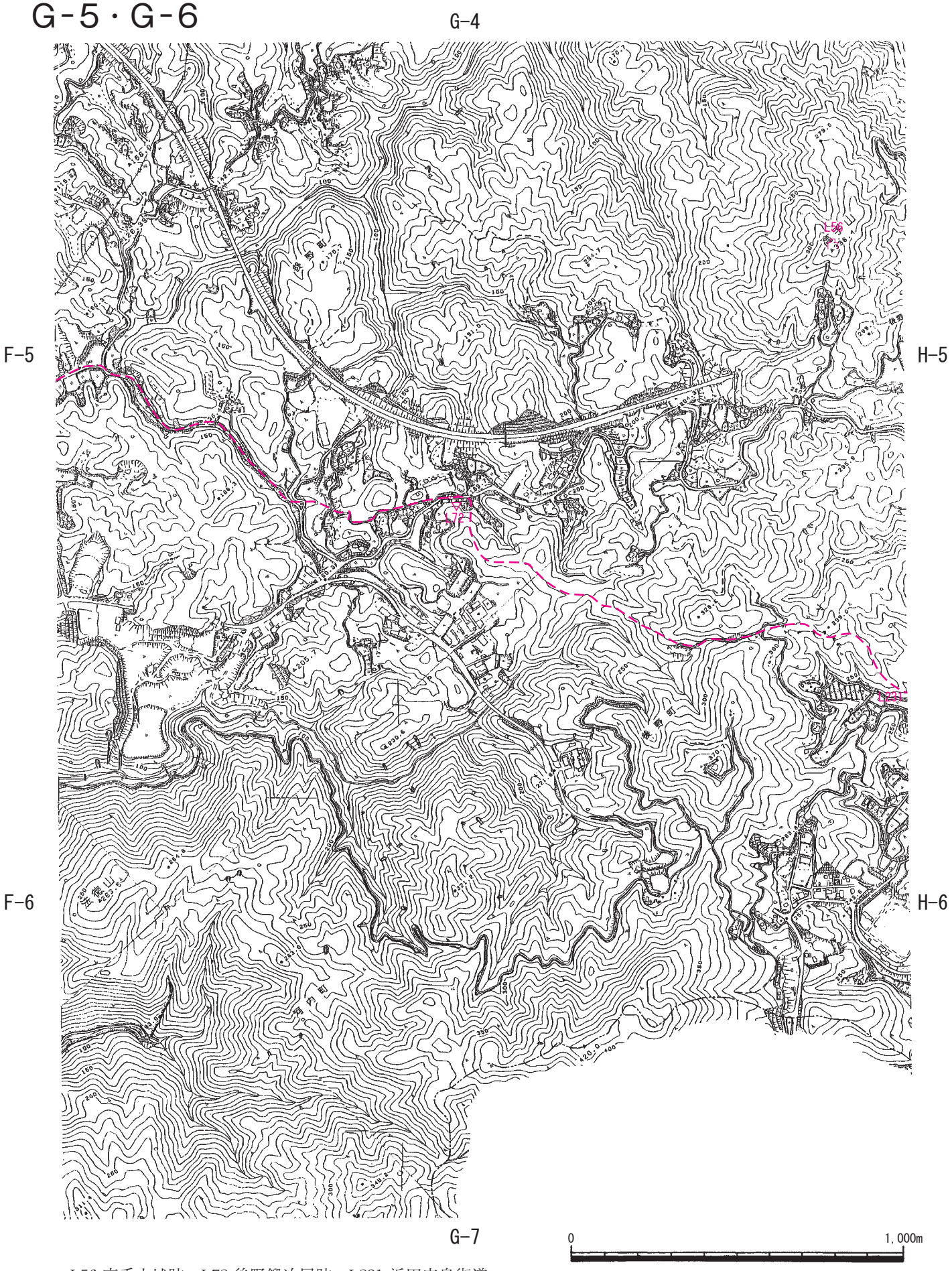
0 500m

L192 上府八反原窯跡　L225 水戸神社跡　L226 立女遺跡　L243 井塚古墓

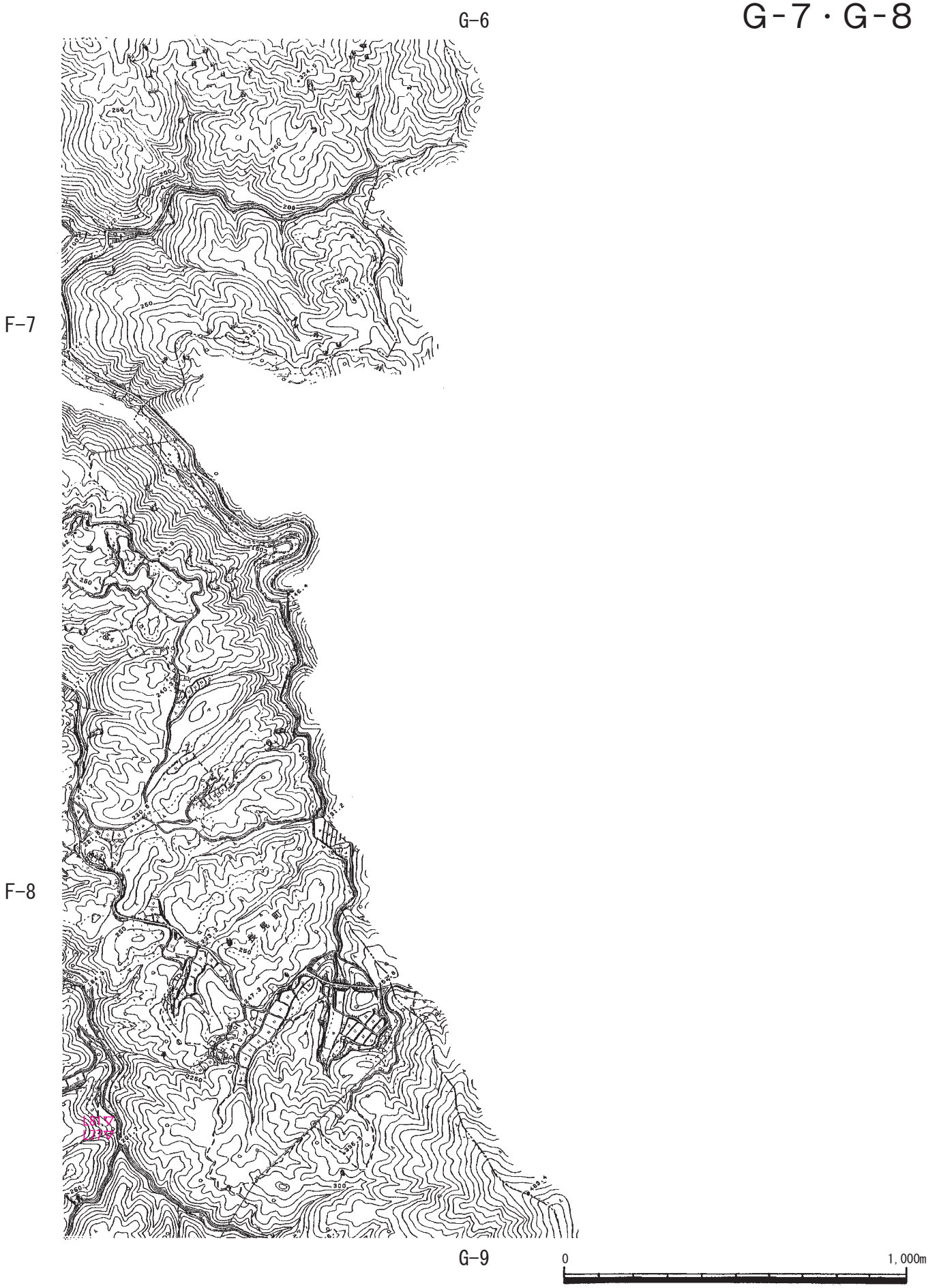


L22 上条遺跡（市史 5） L216 八反原城跡

G-5・G-6



L56 高手山城跡　L72 後野鍛冶屋跡　L231 浜田広島街道



L77 大平鍛冶屋跡　L81 大平鈩跡

G-9・G-10

G-8

F-9

F-10

0　1,000m

L75・236 大長見鈩跡　L217 雲城山城跡

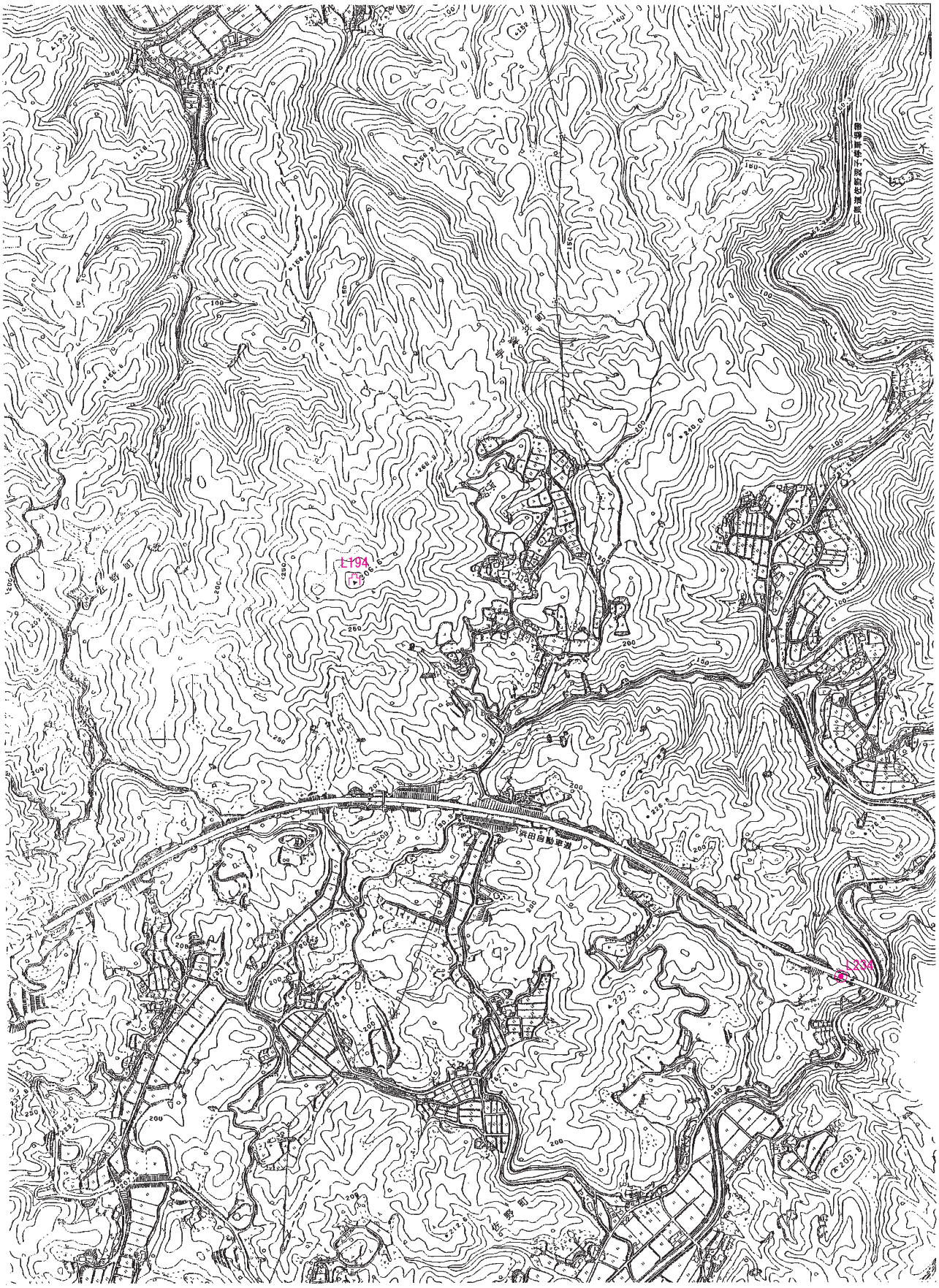
L40 龍ヶ城跡　L65 宇野谷鈩跡　L78 宇野鈩跡　L100 いでが迫窯跡　L101 岡本窯跡　L102 宇野窯跡
L103 小林窯跡　L104 益田屋窯跡　L105 たよしや窯跡　L106 和田窯跡　L107 扇元窯跡　L108 植野窯跡
L112 飯田窯跡　L113 東坊下窯跡　L114 とうまや窯跡　L115 竹の河内窯跡　L116 深野窯跡
L118 下土居窯跡　L119 下中屋窯跡　L120 いりしまや窯跡　L121 花屋窯跡　L212 大谷窯跡
L213 中堀田古墓　L223 長東坊師窯跡　L232 浜田三次往還　L239 寺ノワキ古墓　L240 梅ノ木古墓

H-4・H-5

H-3

G-4

I-4



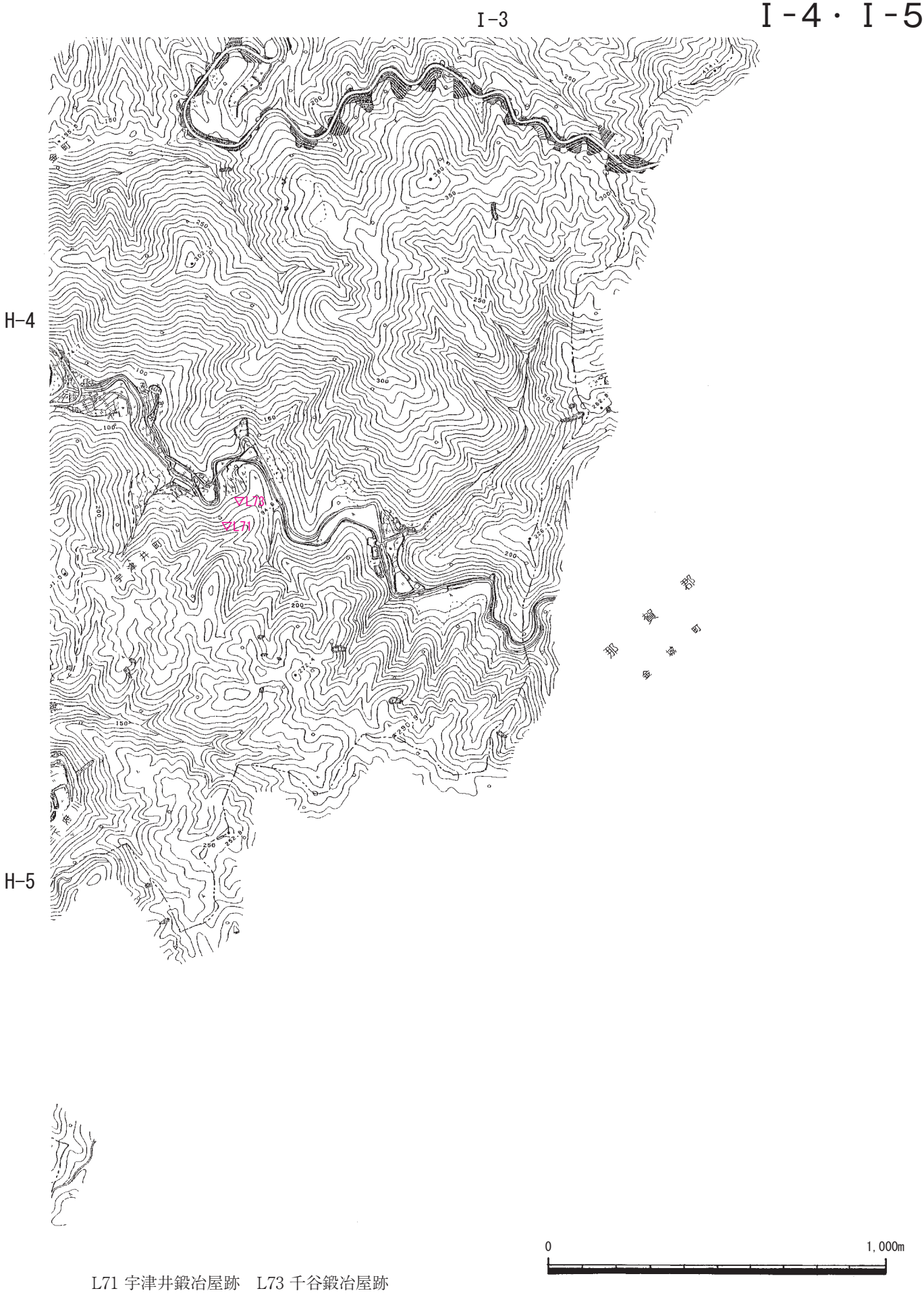
G-5

I-5

H-6

0　1,000m

L194 小山城跡　L234 中川原遺跡



L71 宇津井鍛冶屋跡　L73 千谷鍛冶屋跡

H-6

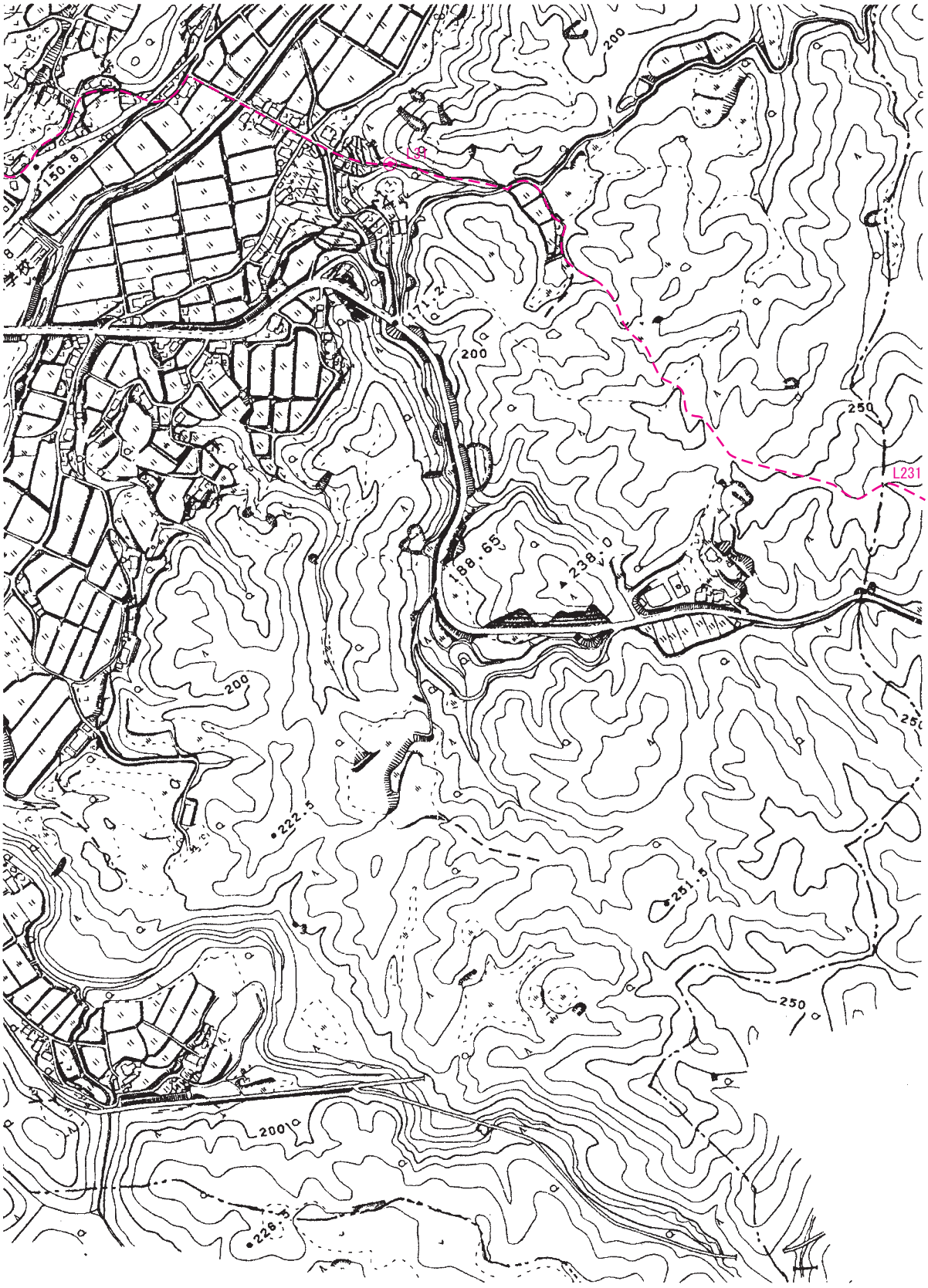
H-5

G-6

0 500m

L231 浜田広島街道

H-6

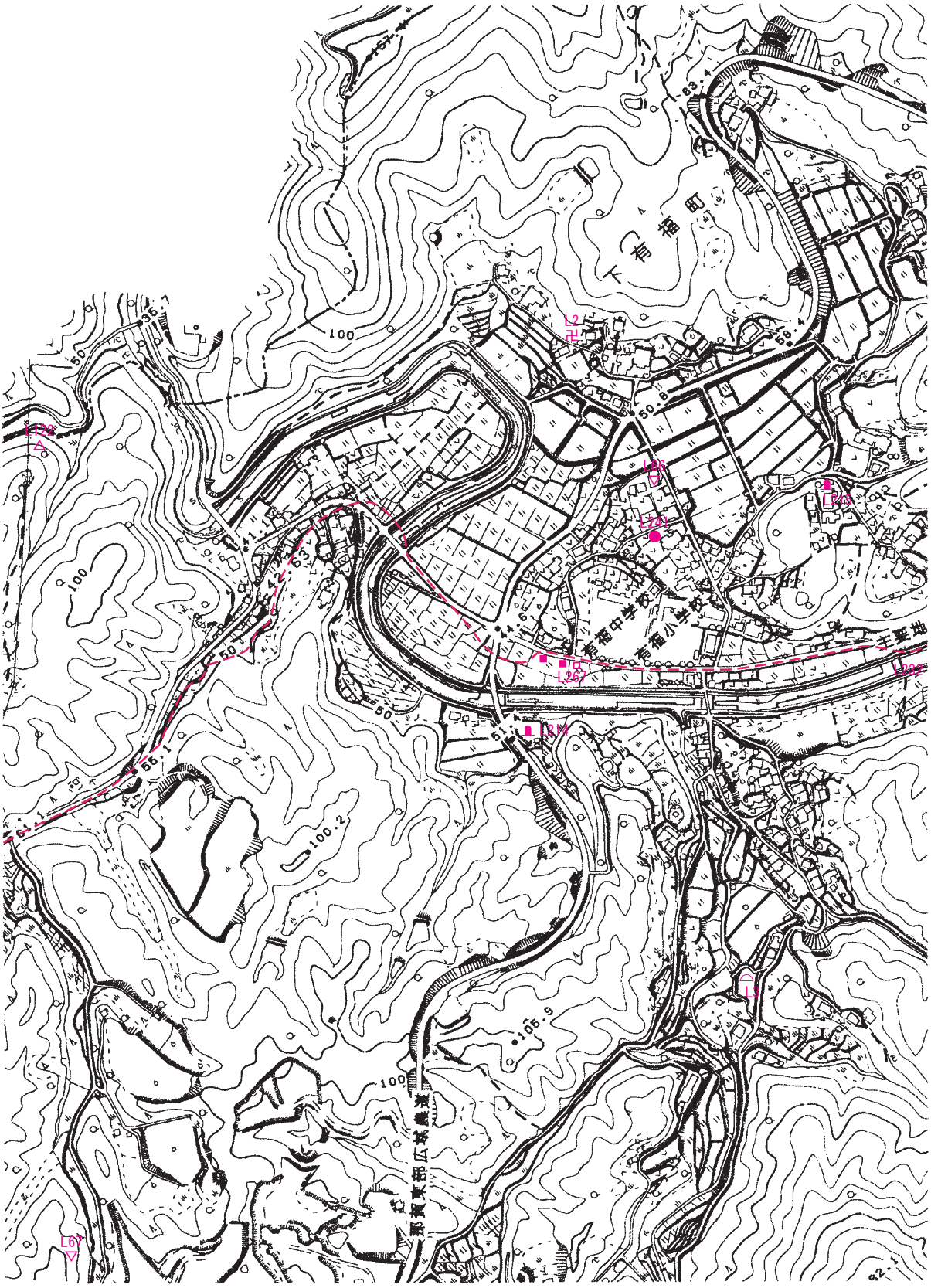


L31 浜田広島街道石畳　L231 浜田広島街道

I-2

I-1

H-2



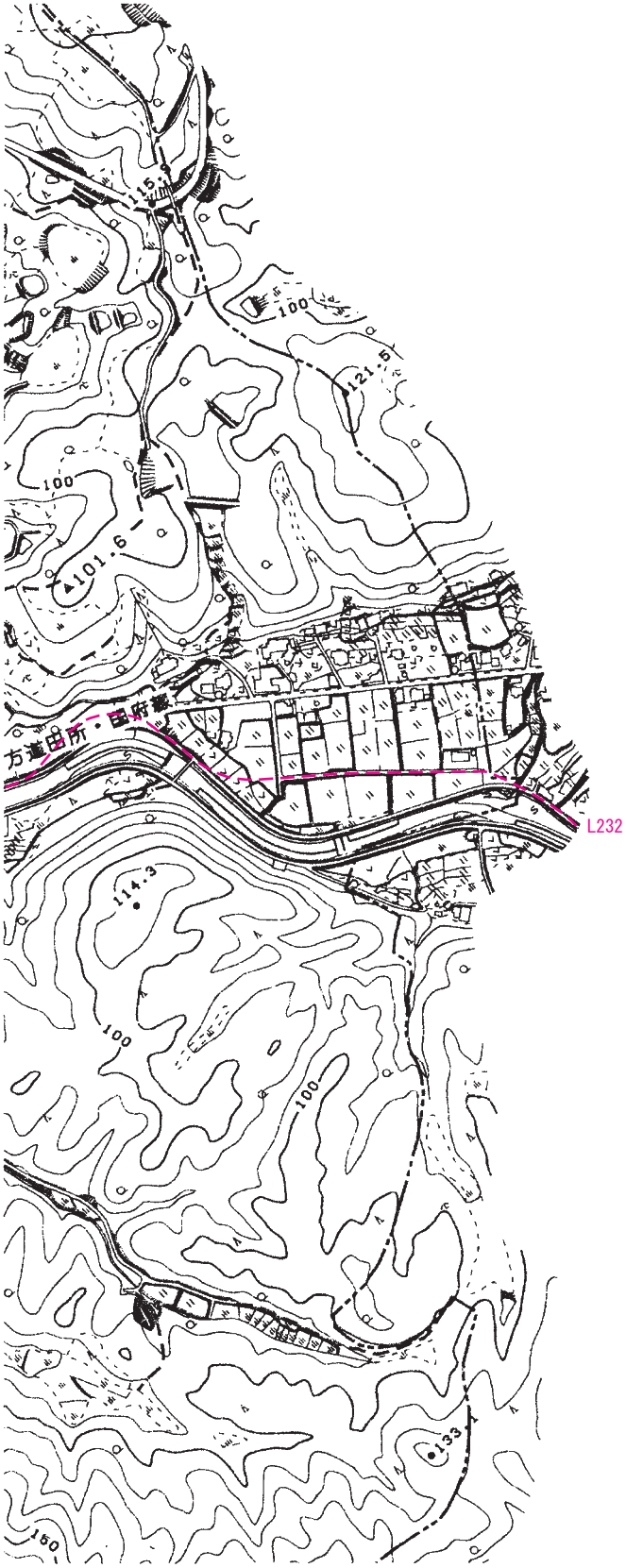
I-3

0 500m

L2 泰寧寺跡　L3 火の谷古墳　L66 有福鍛冶屋跡　L67 大津鈩跡
L122 山崎屋窯跡　L214 滝の下古墓　L215 山根古墓　L232 浜田三次往還
L241 原土居遺跡　L267 土居ノ前遺跡

I-1

I-2



I-3

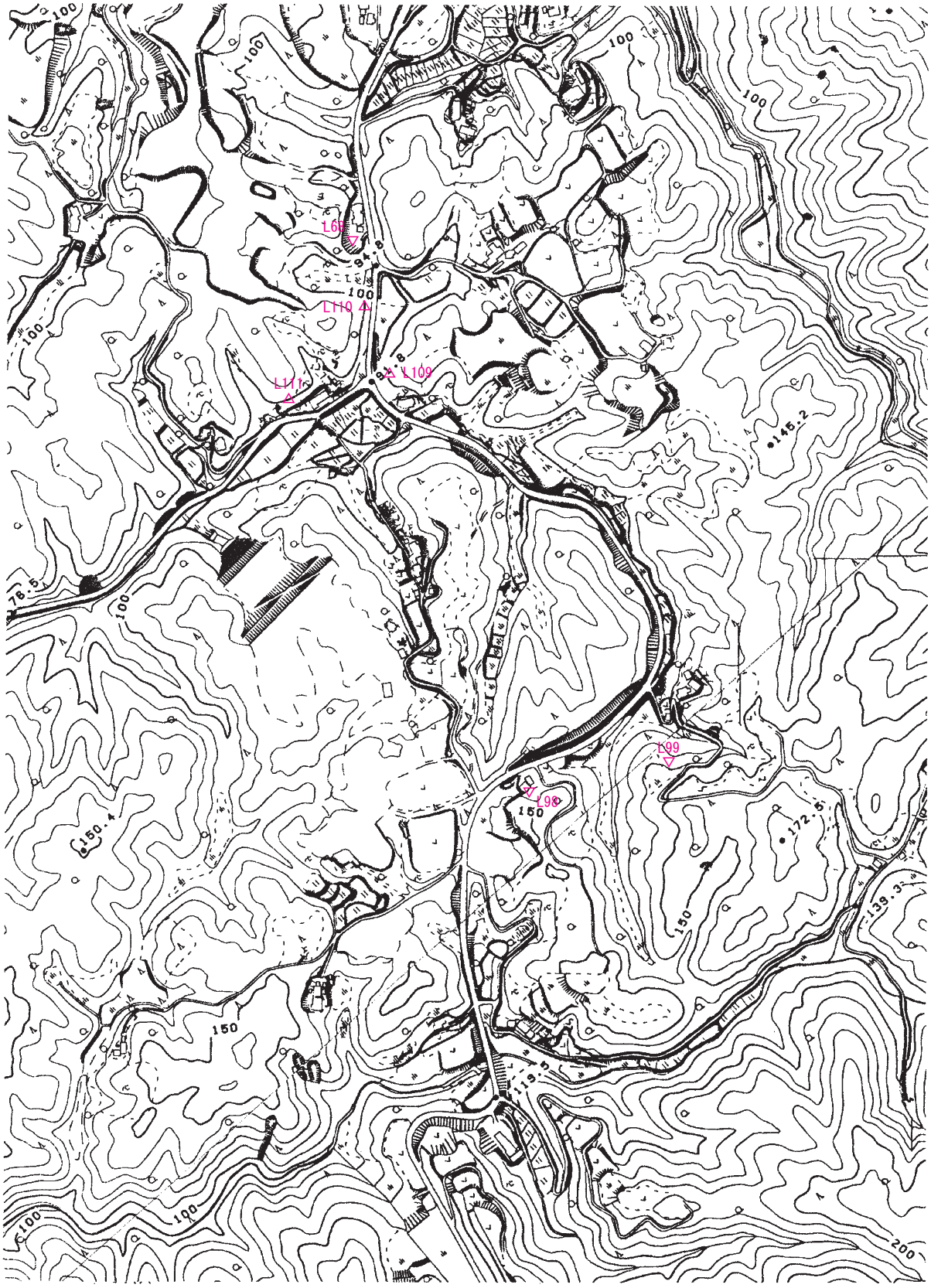
0 500m

L232 浜田三次往還

I-3

I-2

H-3



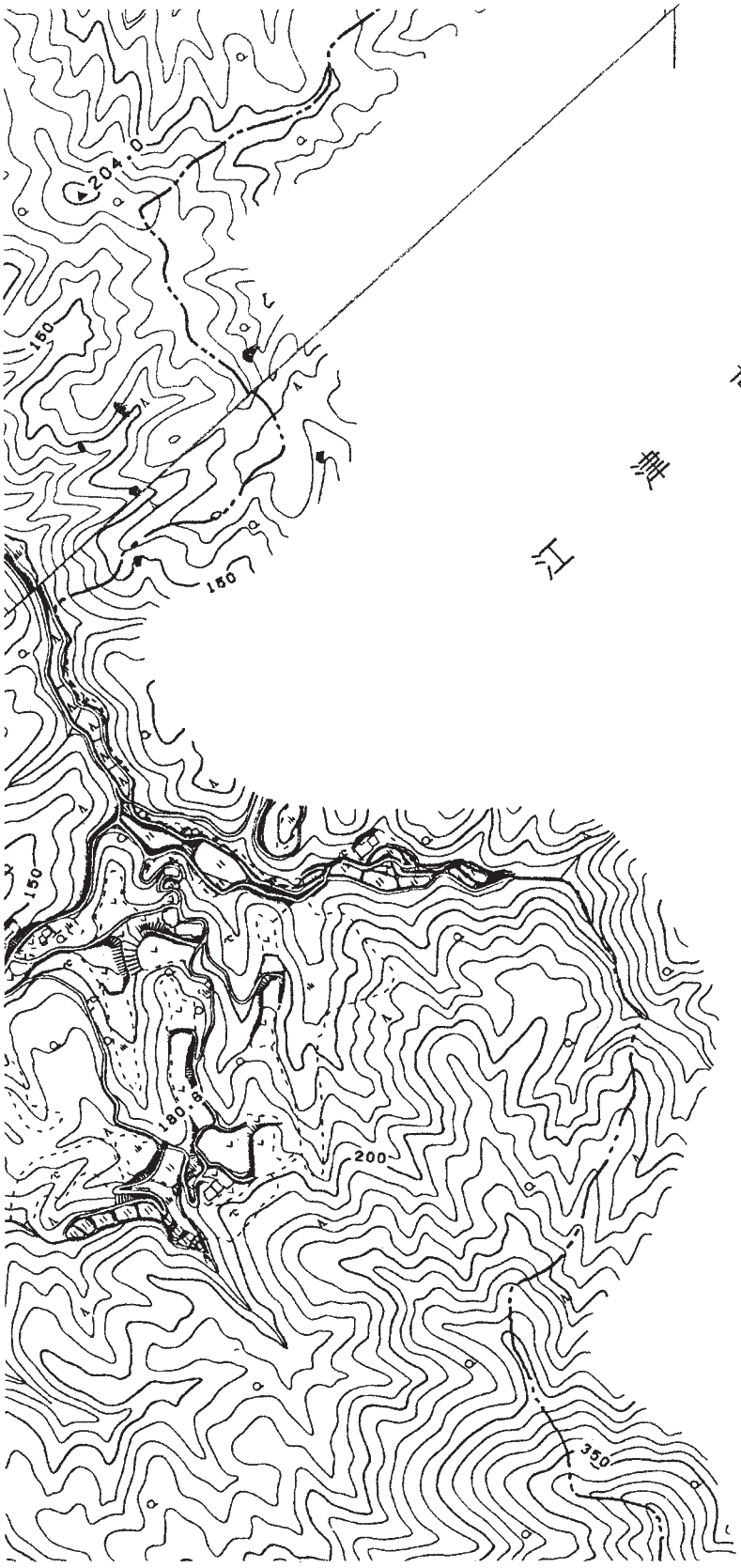
I-4

0 500m

L68 姉金鍛冶屋跡　L98 姉金鈩跡 №1　L99 姉金鈩跡 №2　L109 野海窯跡
L110 岡堂窯跡　L111 飯田窯跡

I-2

I-3



I-4

0 500m

浜田 L

番号	名称	種別	所在	概要	備考
1	大平浜遺跡	散布地	久代　大平浜	須恵器、土師器	
2	泰寧寺跡	寺院跡	下有福　古屋敷	棟札、地蔵尊像、宝篋印塔残欠	
3	火の谷古墳	古墳	下有福　火の谷	円墳、五輪塔、宝篋印塔	
4	浜田ろう学校敷地古墳	古墳	国分		消滅
5	石見国分寺瓦窯跡	窯跡	国分　古ヤセ	平窯、瓦	県指定
6	石見国分寺跡	寺院跡	国分　松林	礎石、瓦、塼、誕生仏	国指定、誕生仏市指定
7	石見国分尼寺跡	寺院跡	国分　比丘尼所	礎石、瓦、誕生仏	県指定
8	奈古田窯跡	窯跡	国分　奈古田	須恵器片	消滅
9	久畑古墓	古墓	上府　久畑	五輪塔、宝篋印塔	
10	片山古墳	古墳	下府　片山	方墳、横穴式石室	市指定
11	半場口古墳群	古墳	下府　半場口		
-1	半場口１号墳	古墳	下府　半場口	箱式石棺	
-2	半場口２号墳	古墳	下府　半場口	横穴式石室	
12	泰林寺跡	寺院跡	下府　泰林寺		
13	下府廃寺跡	寺院跡	下府　佐古	心礎、瓦、須恵器、土師器、陶磁器	一部国指定
14	伊甘神社脇遺跡	散布地	下府　御所	弥生土器、須恵器、陶磁器、瓦	
15	川向遺跡	散布地	下府　黒渕	環状石斧、弥生土器、木偶、須恵器、陶磁器	
16	多陀寺経塚跡	経塚	生湯	銅製経筒（焼失）	消滅
17	生湯五輪塔	古墓	生湯	積石塚形式、瓦	
18	中ノ古墳	古墳	下府　中	横穴式石室	
19	笹山城跡	城跡	下府　横路	山城	
20	伊甘経塚	経塚	上府　伊甘	五輪塔	
21	伝益田氏三代の墓	古墓	上府　伊甘	宝篋印塔	
22	上条遺跡	祭祀遺跡	上府　上條	銅鐸２個体分	市指定
23	上府遺跡	散布地	上府　三宅	弥生土器、須恵器、陶磁器	
24	宮宅山遺跡	散布地	上府　三宅	土師器、古銭、瓦	
25	才ヶ峠石畳道	その他	下府　才ヶ峠	道幅６尺	L 231 浜田広島街道
26	日和山方角石	その他	外ノ浦　日和山	天保５年建立	市指定
27	浜田城跡	城跡	殿町　古城山	平山城、瓦、須恵器	県指定、亀山城跡
28	夕日ヶ丘古墳	古墳	殿町　夕日ヶ丘		消滅
29	社家地古墳群	古墳	相生　社家地	横穴式石室、須恵器	
30	三子山城跡	城跡	相生	山城	三ツ子山城
31	浜田広島街道石畳道	その他	佐野	道幅７尺・たんご坂	L 232 浜田三次往還
32	小石見城跡	城跡	原井	山城	大陣平
33	道休畑遺跡	集落跡	内田　道休畑	弥生土器、土師器、竪穴住居	
34	後面古墳	古墳	内田　後面	土器、刀剣	墳丘消滅
35	上内田古墳	古墳	内田　上内田		消滅
36	要害山城跡	城跡	内田　要害山	山城	
37	羽田遺跡	散布地	内田　羽田	磨製石斧	
38	鈴居古墳	古墳	日脚　鈴居		消滅
39	日脚下浦古墳	古墳	日脚	石棺、土師器、須恵器	消滅
40	龍ケ城跡	城跡	宇野	山城	
41	日脚遺跡	古墳・窯跡他	日脚	古墳群、須恵器窯跡、縄文早期の土壙群、集石炉、奈良時代の掘立柱建物跡他	
42	塚原山古墳群	古墳	周布	円墳、横穴式石室	
43	鳶巣城跡	城跡	周布　要害	山城、本丸、空堀、須恵器	市指定、周布城跡
44	伝周布氏の墓	古墓	周布	宝篋印塔、五輪塔	
45	沃田寺古墳	古墳	治和　門田	刀剣、須恵器	消滅
46	青ノ城跡	城跡	西村　青口	山城	
47	坂辻遺跡	散布地	西村　坂辻	打製石斧	
48	木引地遺跡	散布地	治和　木引地	磨製石斧片	
49	周布古墳	古墳	治和　三宅	前方後円墳、埴輪	国指定
50	めんぐろ古墳	古墳	治和　三宅	仿製鏡、玉、馬具、大刀、鉾他	出土品県指定
51	小西ヶ丘古墳	古墳	治和　小西	円墳	
52	蔵地宅後古墳	古墳	津摩　奥迫	横穴式石室、須恵器	発掘調査・消滅
53	森ヶ曽根古墳	古墳	治和	横穴式石室、須恵器	発掘調査・消滅
54	鰐石遺跡	土壙群	治和　相田	弥生土器、土師器、須恵器、石器、陶磁器	出土品一部市指定
55	鰐石古墳群	古墳	治和　鰐石	４基	
-1	鰐石１号墳	古墳	治和　鰐石		破壊
-2	鰐石２号墳	古墳	治和　鰐石	円墳	
-3	鰐石３号墳	古墳	治和　鰐石		
-4	鰐石４号墳	古墳	治和　鰐石	磨製石斧片	
56	高手山城跡	城跡	後野		
57	越峠遺跡	散布地	久代　越峠	須恵器、土師器	
58	宇津割鈩跡	製鉄遺跡	久代 1027 ～ 1030 カナクソハナ		
59	60 と同一				
60	久代鈩群跡№ 1	製鉄遺跡	久代 157 ～ 159・ 1280・1281 ～ 1284　鈩		
61	60 と同一				
62	荒相鈩群跡№ 1	製鉄遺跡	久代 荒相 830 ～ 831 カナクソ		
63	荒相鈩群跡№ 2	製鉄遺跡	久代　荒相 564　カナクソ		
64	西山鈩群跡	製鉄遺跡	久代　荒相 573 ～ 578 956 ～ 961 カナクソ		

65	宇野谷鈩跡	製鉄遺跡	久代　荒相 185 カナクソ		
66	有福鍛冶屋跡	製鉄遺跡	下有福 375　鍛冶屋		
67	大津鈩跡	製鉄遺跡	大金　大津ロ 460 鈩谷		
68	姉金鍛冶屋跡	製鉄遺跡	大金　姉金イ 625 鍛冶屋		
69	長沢鈩跡	製鉄遺跡	長沢 756　鈩		
70	中曽根鍛冶屋跡	製鉄遺跡	宇野　炉　金炉		
71	宇津井鍛冶屋跡	製鉄遺跡	宇津井 423　鍛冶屋		
72	後野鍛冶屋跡	製鉄遺跡	後野 775　鍛冶屋		
73	千谷鍛冶屋跡	製鉄遺跡	宇津井 664　972 ～ 973　鈩原		
74	火柱鈩跡	製鉄遺跡	長見 935		
75	大長見鈩跡	製鉄遺跡	長見 1043　古鈩		
76	長見鍛冶屋跡	製鉄遺跡	長見 755　鍛冶屋		
77	大平鍛冶屋跡	製鉄遺跡	長見 555	古文書	
78	宇野鈩跡	製鉄遺跡	宇野 1022		
79	柳木谷鈩跡	製鉄遺跡	長見		
80	唐金山鈩跡	製鉄遺跡	長見		
81	大平鈩跡	製鉄遺跡	長見 554	古文書	
82	一の瀬鈩跡№ 1	製鉄遺跡	鍋石 504　鈩床		
83	一の瀬鈩跡№ 2	製鉄遺跡	鍋石	金屋子神社、古文書	
84	一の瀬鈩跡№ 3	製鉄遺跡	鍋石		
85	一の瀬鈩跡№ 4	製鉄遺跡	鍋石		
86	鍋石鍛冶屋跡	製鉄遺跡	鍋石 505　鍛冶屋		
87	樣田原鍛冶屋跡	製鉄遺跡	樣田原 355 金冶屋		
88	田橋鍛冶屋跡	製鉄遺跡	田橋 440　金冶屋		
89	横山鈩跡	製鉄遺跡	横山 297-1		
90	青野鍛冶屋跡	製鉄遺跡	西村 415　鍛冶屋		
91	青野鈩跡	製鉄遺跡	西村 414　鈩		
92	大谷鍛冶屋跡№ 1	製鉄遺跡	西村 1736　鍛冶屋		
93	大谷鍛冶屋跡№ 2	製鉄遺跡	西村 1737　鍛冶屋		
94	大谷鍛冶屋跡№ 3	製鉄遺跡	西村 1738　鍛冶屋		
95	大谷鍛冶屋跡№ 4	製鉄遺跡	西村 1739　鍛冶屋		
96	大谷鈩跡	製鉄遺跡	西村 480　鈩		
97	西村鈩跡	製鉄遺跡	西村 2011　鈩		
98	姉金鈩跡№ 1	製鉄遺跡	大金 姉金イ 449 鈩		
99	姉金鈩跡№ 2	製鉄遺跡	大金 姉金イ 460 鈩		
100	いでが迫窯跡	窯跡	宇野	丸物	
101	岡本窯跡	窯跡	宇野	丸物	
102	宇野窯跡	窯跡	宇野	丸物	
103	小林窯跡	窯跡	宇野	丸物	
104	益田屋窯跡	窯跡	宇野	丸物	
105	たよしや窯跡	窯跡	宇野	丸物	
106	和田窯跡	窯跡	宇野	丸物	
107	扇元窯跡	窯跡	宇野	丸物	
108	植野窯跡	窯跡	宇野　上条	丸物	
109	野海窯跡	窯跡	大金　姉金	丸物	
110	岡堂窯跡	窯跡	大金　姉金	丸物	
111	飯田窯跡	窯跡	大金　姉金	丸物	
112	飯田窯跡	窯跡	上府　荒相	丸物	
113	東坊下窯跡	窯跡	上府　荒相	丸物	
114	とうまや窯跡	窯跡	上府　荒相	丸物	
115	竹の河内窯跡	窯跡	上府　荒相	丸物	
116	深野窯跡	窯跡	上府　荒相	丸物、登り窯小口 16 間 1 基	
117	中部屋窯跡	窯跡	上府　荒相	丸物	
118	下土居窯跡	窯跡	上府　荒相	瓦窯	
119	下中屋窯跡	窯跡	上府　荒相	丸物	
120	いりしまや窯跡	窯跡	上府　荒相	瓦窯	
121	花屋窯跡	窯跡	上府　荒相	丸物	
122	山崎屋窯跡	窯跡	大金　大峠	丸物	
123	前中屋窯跡	窯跡	国分	瓦窯、昭和初期	
124	かけ窯跡	窯跡	上府	丸物	
125	下手窯跡	窯跡	上府	瓦	
126	新屋窯跡	窯跡	上府	丸物	
127	岩黒窯跡	窯跡	上府	丸物	
128	あげよしや窯跡	窯跡	上府	丸物	
129	大村屋窯跡	窯跡	上府	丸物	
130	土田屋窯跡	窯跡	上府	丸物	
131	中村窯跡	窯跡	上府	丸物	
132	西山窯跡	窯跡	長沢	すり鉢	
133	塩田窯跡	窯跡	長沢	丸物	
134	河野窯跡	窯跡	長沢	すり鉢	
135	川上窯跡	窯跡	長沢	すり鉢	
136	佐々木窯跡	窯跡	生湯	丸物	
137	高宗窯跡	窯跡	生湯		
138	亀谷窯跡	窯跡	生湯	瓦	
139	山口窯跡	窯跡	長沢	丸物、すり鉢、3 棟	
140	東山窯跡	窯跡	生湯	丸物、すり鉢	
141	142 と同一				
142	大吉屋窯跡	窯跡	長沢	4 棟、瓦	
143	吹ヶ迫窯跡	窯跡	長沢	丸物、瓦	
144	はぜ山窯跡	窯跡	長沢	丸物	

145	川神窯跡	窯跡	長沢	瓦、登り窯小口数 13 口 1 基	
146	川神窯跡	窯跡	長沢	丸物	
147	螺山窯跡	窯跡	長沢	丸物	
148	吉本窯跡	窯跡	長沢	丸物	
149	タタラ屋窯跡	窯跡	長沢	丸物、瓦	
150	原田窯跡	窯跡	長沢	瓦	
151	野海窯跡	窯跡	長沢	丸物	
152	尾崎窯跡	窯跡	長沢	丸物	
153	森田窯跡	窯跡	長沢	丸物	
154	平野窯跡	窯跡	長沢	丸物	
155	峠窯跡	窯跡	長沢	瓦	
156	山本窯跡	窯跡	長沢	瓦	
157	木坂窯跡	窯跡	長沢	瓦、戦後	
158	富士窯跡	窯跡	長沢	瓦、戦後	
159	尾崎窯跡	窯跡	長沢	瓦	
160	大元窯跡	窯跡	長沢	瓦	
161	大元窯跡	窯跡	長沢	瓦	
162	渡辺窯跡	窯跡	長浜	瓦	
163	皿山窯跡	窯跡	外ノ浦	丸物、茶器、雑器	
164	内藤窯跡	窯跡	外ノ浦	すり鉢	
165	矢島窯跡	窯跡	外ノ浦	すり鉢	
166	西山窯跡	窯跡	外ノ浦	すり鉢	
167	某窯跡	窯跡	港町	すり鉢	
168	三沢窯跡	窯跡	港町	丸物	
169	某窯跡	窯跡	港町	丸物、雑器	
170	淡島窯跡	窯跡	松原	丸物、雑器	
171	お庭焼跡	窯跡	殿町　紅葉谷	丸物、茶器、花器	
172	白川窯跡	窯跡	殿町		
173	富島窯跡	窯跡	浅井	瓦	伝 浜田城瓦窯
174	森脇窯跡	窯跡	浅井	瓦	
175	永見窯跡	窯跡	熱田	人形（初期長浜人形）	
176	ほうどう寺窯跡	窯跡	熱田	丸物	
177	森脇窯跡	窯跡	熱田	丸物、すり鉢	
178	森脇分家窯跡	窯跡	熱田	丸物、すり鉢	
179	室田窯跡	窯跡	熱田	丸物、すり鉢	発掘調査・消滅
180	村田窯跡	窯跡	熱田　福井	丸物、すり鉢	
181	今浦窯跡	窯跡	熱田	瓦	
182	小泉窯跡	窯跡	熱田	瓦	
183	柿谷窯跡	窯跡	日脚	明治初年頃は瓦窯、昭和初頭に丸物窯	
184	大田窯跡	窯跡	日脚	瓦窯	
185	平野窯跡	窯跡	内田	すり鉢	発掘調査・消滅
186	岸本窯跡	窯跡	内田	瓦	
187	内田窯跡	窯跡	内田	すり鉢	
188	佐々木窯跡	窯跡	長浜	すり鉢	
189	大田窯跡	窯跡	周布	瓦窯	
190	岡本窯跡	窯跡	長見　峠	丸物	
191	村田窯跡	窯跡	長見　峠	瓦	
192	上府八反原窯跡	窯跡	上府　上條	窯道具、瓦、丸物	佐々木窯跡・発掘調査・消滅
193	佐々木窯跡	窯跡	上府　上府橋	丸物、すり鉢	消滅
194	小山城跡	城跡	後野		
195	正蓮寺山城跡	城跡	後野		
196	古城跡	城跡	三階		
197	三重城跡	城跡	紺屋	郭、堀切	
198	生湯窯跡	窯跡	生湯	瓦、丸物	発掘調査・消滅
199	坂辻西遺跡	散布地	西村　大谷下	磨製石斧片	
200	青口遺跡	散布地	西村　大谷下	土師器	
201	原経塚	経塚	西村　原		
202	青口古墓	古墓	西村　大谷下	五輪塔	
203	三宅辻遺跡	散布地	治和　三宅辻	須恵器片	
204	浴田遺跡	散布地	治和	須恵器片	
205	羽根尾窯跡	窯跡	津摩	瓦、昭和初期	
206	高野山下遺跡	散布地	周布	須恵器片	
207	王子山古墓	古墓	内村	宝篋印塔 3 基	
208	潰城跡	城跡	黒川　潰	山城	
209	多陀寺遺跡	散布地	生湯	須恵器、土師器、瓦	
210	古市遺跡	集落跡	上府　古市	須恵器、土師器、陶磁器、木器	
211	新延遺跡	散布地	上府　新廷	須恵器	
212	大谷窯跡	窯跡	上府　荒相	丸物、瓦	
213	中掘田古墓	古墓	上府　荒相		発掘調査・消滅
214	滝ノ下古墓	古墓	下有福	宝篋印塔	
215	山根古墓	古墓	下有福	五輪塔、宝篋印塔	
216	八反原城跡	城跡	上府　三重谷	山城	
217	雲城山城跡	城跡	長見	山城	N64 と同じ
218	折居城跡	城跡	折居	山城	O52 と同じ
219	西ヶ市窯跡	窯跡	久代	瓦	
220	前場紙漉遺跡	散布地	国分	瓦、土師器、須恵器、陶磁器	
221	大平遺跡	散布地	下府	弥生土器、土師器、陶磁器	発掘調査・消滅
222	横路遺跡	集落跡	下府	土師器、陶磁器、須恵器、瓦	
223	長東坊師窯跡	窯跡	上府	陶器、瓦、古銭	発掘調査・消滅
224	大尾谷遺跡		上府		発掘調査・消滅
225	水戸神社跡	神社跡	上府	石祠、加工段、古道	発掘調査・消滅
226	立女遺跡	散布地	上府	土坑	発掘調査・消滅
227	仕切遺跡	集落跡	下府	須恵器、土師器、陶磁器	
228	浜伊場遺跡	散布地	長沢	土師器、須恵器、石鏃	発掘調査・消滅

229	菖蒲迫遺跡	散布地	高佐	磨製石斧、須恵器	
230	山陰道	街道跡		近世街道跡	
231	浜田広島街道	街道跡		近世街道跡	
232	浜田三次往還	街道跡		近世街道跡	
233	唐谷坂道	その他	河内	石畳道	一部発掘調査
234	中川原遺跡	その他	宇津井	土壙	発掘調査・消滅
235	動木窯跡	窯跡	港町　動木	江戸末～、窯跡３基	
236	大長見鈩跡	製鉄遺跡	長見		
237	千足遺跡	散布地	下府　上ノ浜	弥生土器、須恵器、土師器	
238	東遺跡	散布地	上府　東	須恵器	
239	寺ノワキ古墓	古墓	宇野　河南	石積基壇、宝篋印塔	
240	梅ノ木古墓	古墓	宇野　森原	石積基壇、宝篋印塔	
241	原土居遺跡	散布地	下有福	須恵器、土師器	
242	枕ヶ平遺跡	散布地	下府　清水	須恵器、土師器	
243	井塚古墓	古墓	上府　千代松	宝篋印塔２基	
244	住吉古墓	古墓	上府　千代松	宝篋印塔	
245	岡本古墓	古墓	河内	五輪塔、宝篋印塔	移転後
246	吉地古墓	古墓	吉地	五輪塔、宝篋印塔	
247	渡辺窯跡	窯跡	長浜	瓦、昭和	
248	寺本遺跡	集落跡	周布	須恵器、土師器、陶磁器	
249	市屋敷遺跡	集落跡	周布	土師器、陶磁器	
250	ツナメ遺跡	散布地	周布	弥生土器、須恵器、土師器、陶磁器	
251	片良ヶ平遺跡	集落跡	熱田		
252	神田平遺跡	古墳	熱田		
253	松ヶ谷遺跡	古墳	熱田		
254	川原遺跡	集落跡	穂出		
255	宮サコ遺跡	集落跡	吉地		
256	寺ヶ嶧遺跡	集落跡	西村		
257	堤ヶ嶧遺跡	祭祀遺跡	西村		
258	新井Ⅰ遺跡	祭祀遺跡	西村		
259	新井Ⅱ遺跡	古墳	西村		
260	平岩遺跡	祭祀遺跡	西村		
261	城ヶ浴遺跡	城跡	折居		
262	カモト遺跡	城跡	折居		
263	折居谷遺跡	古墳・城跡	折居		
264	力石遺跡	集落跡	西村		
265	日脚東遺跡	散布地	日脚		
266	多陀寺古墓群	古墓	生湯	五輪塔、宝篋印塔	
267	土居ノ前遺跡	散布地	有福	弥生土器、土師器、須恵器	
268	周布川河原遺跡	散布地	治和	仿製鏡、打製石斧、磨製石斧	
269	金周布遺跡	散布地	国分	須恵器	
270	国分尼寺南遺跡	散布地	国分	須恵器	
271	国分尼寺北遺跡	散布地	国分	須恵器	
272	国分尼寺西遺跡	散布地	国分	瓦、須恵器	
273	谷田遺跡	散布地	国分	須恵器	

浜田市内指定文化財一覧（地図番号は浜田自治区）

地図番号	遺跡番号	番号	区 分	指定年月日	名 称	所在地	所有者・保持者
【国指定文化財】							
		1	彫刻	大 9. 4.15	木造阿弥陀如来立像	松原町	心覚院
		2	工芸技術	昭 44. 4.15	石州半紙	三隅町古市場	石州半紙技術者会
		3	有形民俗文化財	昭 46.12.15	波佐の山村生産用具	金城町波佐	西中国山地民具を守る会
国史１	L6	4	史跡	大 10. 3. 3	石見国分寺跡	国分町 402-4（道）, 1524-1,1526,1527,1527 続 1,1528-1, 1528-2,1528-4,1530,1531,1534-1, 1534-2,1548-1	金蔵寺
国史２	L49	5	史跡	昭 11.12.16	周布古墳	治和町ロ 1009-1	個人
国史３	L13	6	史跡	昭 12. 6.15	下府廃寺塔跡	下府町 632-4	浜田市
国天１		7	天然記念物	昭 7. 3.25	石見畳ヶ浦	国分町 1187-1,1979-1,1982-1,1982-,1983,19 84,1985-1,1985-2,1986,1987,1988,1 989-1,1989-2,1989-3,1989-4,2207-1 ,2207-2,2208, 2209-1,2209-2,2209-3,2 209-4,2210-1,2210-2,2210-3,2210-4,2 210-5,2210-6,2210-7,2210-8,2210-9,22 10-10,2210-11, 2210-12,2210-13	国・市・民
		8	天然記念物	昭 10. 4.11	三隅大平桜	三隅町矢原	個人
【島根県指定文化財】							
		9	絵画	昭 47. 7.28	絵本墨画淡彩大麻山縁起	三隅町室谷	大麻山神社
		10	彫刻	昭 37. 6.12	木造雨宝童子立像	三隅町三隅	正法寺
		11	彫刻	昭 42. 5.30	木造天部像群	生湯町	多陀寺
		12	彫刻	昭 43. 6. 7	木造薬師如来坐像	三隅町三隅	正法寺
		13	書跡	昭 37. 6.12	紙本墨書大般若経	三隅町芦谷	龍雲寺
		14	古文書	平 12. 3.28	紙本著色石見国絵図	黒川町　浜田市浜田郷土資料館	浜田市
		15	考古資料	昭 35. 9.30	めんぐろ古墳出土品	治和町	個人
		16	有形民俗文化財	昭 47. 7.28	波佐の山村生活用具	金城町波佐	西中国山地民具を守る会
		17	無形民俗文化財	昭 37. 6.12	井野神楽	三隅町井野	井野神楽保持者会
		18	無形民俗文化財	昭 39. 5.26	有福神楽	下有福町	有福神楽保持者会
		19	無形民俗文化財	昭 40. 4. 1	黒沢囃子田	三隅町黒沢	黒沢囃子田保存会
県史１	L7	20	史跡	昭 33. 8. 1	石見国分尼寺跡	国分町 216,217,225-5,1898-1,1898-3	国分寺
県史２	L27	21	史跡	昭 37. 6.12	浜田城跡	殿町 123-1,123-6,123-10,131-1,131-4	浜田市
県史３	L5	22	史跡	昭 42. 5.30	石見国分寺瓦窯跡	国分町 408-1	浜田市
県天１		23	天然記念物	昭 41. 5.31	黄長石霞石玄武岩	長浜町 276-1	個人
						熱田町 1319-1	個人
						内田町 625 内 1	個人
		24	天然記念物	昭 47. 3.31	常盤山の杉	金城町波佐	八幡宮（波佐常盤山八幡宮）
		25	天然記念物	昭 47. 3.31	長安本郷の八幡宮並木杉	弥栄町長安本郷	八幡宮（長安八幡宮）
【浜田市指定文化財】							
		26	絵画	昭 44.11. 3	板絵著色瀬戸ヶ島捕鯨図	瀬戸ヶ島町	厳島神社
		27	絵画	昭 48. 5. 1	絹本著色石門源義頂相	清水町	洞泉寺
		28	絵画	昭 48. 5. 1	絹本著色仏涅槃図	周布町	浄琳寺
		29	絵画	昭 48. 5. 1	「無題」森脇 忠筆油絵麻布	黒川町	浜田高等学校同窓会
		30	絵画	昭 48. 5. 1	「無題」小林萬吾筆油絵麻布	野原町 浜田市世界こども美術館	浜田市
		31	絵画	昭 56. 3.28	伝空海筆十三佛画幅	三隅町芦谷	龍雲寺
		32	絵画	平 14. 2.22	紙本著色仏涅槃図	田町	龍泉寺
		33	絵画	平 14. 2.22	船絵馬	瀬戸ヶ島町	厳島神社
		34	彫刻	昭 51. 3.25	木造北白川宮能久親王殿下立像	黒川町 浜田市浜田郷土資料館	浜田市
		35	彫刻	平 7. 3.28	木造阿弥陀如来坐像	三隅町芦谷	龍雲寺
		36	彫刻	平 7. 3.28	木造阿弥陀如来立像	三隅町湊浦	極楽寺
		37	工芸品	昭 44.11. 3	脇差	久代町	石見安達美術館
		38	工芸品	昭 44.11. 3	太刀	久代町	石見安達美術館
		39	工芸品	昭 48. 5. 1	太刀	殿町	浜田護国神社
		40	工芸品	昭 51. 3.25	刀　4 口	久代町	石見安達美術館
		41	工芸品	昭 56. 3.28	古和三尊仏	三隅町上古和	個人
		42	工芸品	平 14. 2.22	和船模型	瀬戸ヶ島町	厳島神社
		43	工芸品	平 14. 2.22	錆朱塗横矧菱綴二枚胴具足廻鉢兜付	野原町 世界こども美術館	浜田市
		44	書跡	昭 48. 5. 1	紙本墨書大般若経	大辻町	宝福寺
		45	書跡	昭 56. 3.28	紺紙金泥金剛経	三隅町芦谷	龍雲寺
		46	典籍	昭 44.11. 3	紙本墨書藤井宗雄著書	治和町	個人
		47	古文書	昭 56. 3.28	送り場古文書	三隅町岡見	個人
		48	古文書	昭 56. 3.28	二宮神社古文書	三隅町三隅	二宮神社
		49	古文書	平 7. 3.28	諸国御客船帳	外ノ浦町	個人
		50	古文書	平 9. 7.11	石見国藩領絵図	高佐町	個人
		51	古文書	平 9. 7.11	浜田城下町鳥瞰絵図	高佐町	個人
		52	古文書	平 9. 7.11	浜田城下町方絵図	蛭子町	個人
		53	古文書	平 9. 7.11	自唐鐘浦至長浜浦海岸絵図	外ノ浦町	個人
		54	古文書	平 14. 2.22	諸国御客船帳	外ノ浦町	個人
		55	古文書	平 14. 2.22	紙本墨書神楽台本	周布町	個人
		56	考古資料	昭 58.12.26	金田１号墳出土品	金城町金田	浜田市
		57	考古資料	平 7. 3.28	鰐石遺跡出土品	浜田市浜田郷土資料館	浜田市
		58	考古資料	平 7. 3.28	銅造誕生釈迦仏立像	浜田市浜田郷土資料館	浜田市
		59	歴史資料	平 9. 7.11	石見国天保国絵図懸紙改切絵図	浜田市浜田郷土資料館	浜田市
		60	有形民族文化財	昭 48. 5. 1	獅子頭	片庭町	個人
		61	有形民族文化財	昭 48. 5. 1	獅子頭	日脚町	天上岡八幡宮

		62	有形民俗文化財	平 14. 2.22	神楽木彫面	下有福町	有福神楽保持者会
						上府町	石見神代神楽上府社中
						佐野町	石見神楽佐野神楽社中
						長浜町	石見神楽長浜社中
						日脚町	日脚神代神楽社中
						内村町	個人
						田橋町	石見神楽美川西神楽保存会
						鍋石町	鍋石神楽社中
市史 1	L10	63	史跡	昭 44.11. 3	片山古墳	下府町 1930	個人
市史 2	L43	64	史跡	昭 44.11. 3	鳶巣城跡	周布町ロ 527,527 内 1,537-1,537-2,538,538 内 1	個人
						周布町ロ 92 続 1,92-3, 528,529,531,532,533,536, 536 内 1,537 内 1,537-3,537-4, 537-5,537-6	個人
市史 3		65	史跡	昭 51. 3.25	東海篠先生之墓	真光町 63	観音寺
市史 4	L26	66	史跡	昭 51. 3.25	日和山方角石	外ノ浦町 1489-2	浜田市
	O74	67	史跡	昭 56. 3.28	正法寺奥の院	三隅町三隅	正法寺
		68	史跡	昭 56. 3.28	笠取りの墓	三隅町黒沢	個人
		69	史跡	昭 56. 3.28	大麻山神社道中石	三隅町東平原、三隅町室谷	個人
	O75	70	史跡	昭 56. 3.28	成田郷三角田記念碑	三隅町三隅	浜田市
	O20	71	史跡	昭 56. 3.28	寺尾用水隧道	三隅町井川	個人
	O77	72	史跡	昭 56. 3.28	廓英法師墓	三隅町三隅	個人
	N5−1	73	史跡	昭 58.12.26	金田 1 号噴	金城町金田	個人
	N71	74	史跡	昭 58.12.26	笠松峠の石畳路	金城町波佐	個人
	N8	75	史跡	昭 62.12.18	波佐一本松城跡及び関連施設	金城町波佐	個人
							大歳神社
市史 5	L22	76	史跡	平 14. 2.22	上条遺跡（城山銅鐸出土地）	上府町ィ 2214-5	個人
市天 1		77	天然記念物	昭 44.11. 3	ビロードシダ及び群生地	河内町	個人
							個人
市天 2		78	天然記念物	昭 44.11. 3	多陀寺のクスノキ	生湯町 1767	多陀寺
市天 3		79	天然記念物	昭 44.11. 3	多陀寺のヒノキ	生湯町 1767	多陀寺
市天 4		80	天然記念物	昭 48. 5. 1	多陀寺のシイ・タブ林	生湯町 1767	多陀寺
市天 5		81	天然記念物	昭 48. 5. 1	伊甘神社のイチョウ	下府町 935-2	伊甘神社
市天 6		82	天然記念物	昭 48. 5. 1	伊甘神社のムクノキ	下府町 935-2	伊甘神社
		83	天然記念物	平 5. 3.31	金城町の巨樹・銘木	金城町今福	個人
						金城町今福	個人
						金城町今福	個人
						金城町今福	個人
						金城町今福	個人
						金城町久佐	個人
						金城町久佐	個人
						金城町七条	新開町内会
						金城町七条	伊木八幡宮
						金城町七条	伊木八幡宮
						金城町上来原	個人
						金城町上来原	個人
						金城町上来原	個人
						金城町小国	光超寺
						金城町波佐	個人
						金城町波佐	個人
						金城町波佐	永昌寺
						金城町波佐	個人
						金城町長田	個人
						金城町長田	個人
						金城町長田	個人
						金城町波佐	個人
						金城町波佐	個人
						金城町波佐	個人
		84	天然記念物	平 7. 3.28	お葉付き銀杏	三隅町井野	個人
		85	天然記念物	平 17. 9.22	佐々木桜	三隅町三隅	個人
		86	天然記念物	平 17. 9.22	海老谷桜	三隅町向野田	個人
【登録文化財】							
国登 1		87		平 9. 5. 7	浜田市立第一中学校屋内運動場 （旧歩兵第二十一連隊雨覆練兵場）	黒川町 3745	浜田市
国登 2		88		平 9. 5. 7	島根県立浜田高等学校第二体育館 （旧歩兵第二十一連隊雨覆練兵場）	黒川町 3749	島根県

主要参考文献（重複文献は一部省略して記載）

全般

中尾典史 1933『周布村郷土史』

島根県那賀郡周布村尋常高等小学校 1937『周布村郷土誌』

浜田市役所 1950『濱田』

国府町文化財審議会 1963 『国府町の文化財』

川原和人 1970『浜田高校所蔵土器』『石西の須恵器』

浜田市 1973『浜田市誌』上巻・下巻

浜田市教育委員会　1977『浜田の文化財』

藤岡大拙他編 1980『日本城郭大系』第 14 巻　鳥取･島根･山口　新人物往来社

山陰中央新報社 1981『島根県大百科事典』上巻・下巻

島根県教育委員会 1986『島根県生産遺跡分布調査報告書』

島根県教育委員会 1987『島根県製鉄遺跡分布調査報告書』

吉田秀樹 1991『日本地名辞典』新人物往来社

平凡社 1995『日本歴史地名大系第三三巻　島根県の地名』

島根県教育委員会 1997『島根県中近世城館分布調査報告書　＜第 1 集＞石見の城館跡』

井上寛司 2001『中世の港町・浜田』浜田市教育委員会

島根県教育委員会 2002『島根県遺跡地図Ⅱ（石見編）』

浜田市教育委員会 2002 a 『浜田の文化財』

浜田市教育委員会 2002 b

『浜田市遺跡詳細分布調査－国府地区Ⅰ－』

浜田市教育委員会 2007『浜田市遺跡詳細分布調査－周布地区Ⅰ－』

浜田市教育委員会 2008 a

『史跡 周布古墳・蔵地宅後古墳・市史跡 金田 1 号墳』

L54 鰐石遺跡

前島己基 1973「浜田市鰐石遺跡」『季刊文化財』22 号 島根県文化財愛護協会

榊原博英 1996「鰐石遺跡について」『亀山』第 23 号 浜田市文化財愛護会

榊原博英 1999「島根県鰐石遺跡出土の大陸系磨製石器類について」『田中義昭先生退官記念文集　地域に根ざして』田中義昭先生退官記念事業会

榊原博英 2005「浜田市鰐石遺跡出土遺物－弥生前期土器を中心に－」『古代文化研究』第 13 号　島根県古代文化センター

榊原博英 2009「浜田市内の弥生遺跡紹介」

『ここまで掘った！石見の弥生ムラ』

島根県埋蔵文化財調査センター

L22 上条遺跡

直良信夫　1932 「石見上府村発見銅鐸の出土状態」『考古学雑誌 22 － 2』のち直良信夫 1991『近畿古代文化論考』木耳社に再録

東京国立博物館 1981

『東京国立博物館図版目録弥生遺物篇（金属器）』

島根県教育委員会・朝日新聞社 1997

『古代出雲文化展－神々の国悠久の遺産－』

島根県教育委員会　2001「上条遺跡」

『恵良遺跡　堂々炭窯跡　上条遺跡

水戸（三戸）神社跡（上条古墳）　立女遺跡

一般国道 9 号線江津道路建設予定地内

埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ』

L49 周布古墳

島根県教育委員会 1963『島根の文化財』第三集

島根県教育委員会 1985

内田律雄・曳野律夫・松本岩雄・渡辺貞幸 1991「島根県」『前方後円墳集成』中国四国編　山川出版社

大谷晃二 1993「周布古墳の測量調査はじまる」『石見考古学研修会誌』創刊号　石見考古学研修会

浜田高校歴史部・大谷晃二　1995「浜田市周布古墳測量調査報告〔上〕」『島根考古学会誌』第 12 集　島根考古学会

榊原博英 2004「周布古墳の墳丘調査（島根県浜田市）」『島根考古学会誌』第 20・21 集合併号　島根考古学会

本庄考古学研究室 2005「石見･隠岐の主要古墳一覧」『島根考古学会誌』第 22 集　島根考古学会

浜田市教育委員会 2008 a

L50 めんぐろ古墳

山本清 1957「濱田市めんぐろ古墳出土遺物について」『島根大学論集（人文科学）第 7 号』　のち、山本清 1971『山陰古墳文化の研究』山本清先生退官記念論集刊行会に再録

土生田純之 1980「突起をもつ横穴式石室の系譜」『考古学雑誌』66 － 3

島根県教育委員会 1985

川原和人 1985「浜田市めんぐろ古墳出土の須恵器について」『島根考古学会誌』第 2 集　島根考古学会

浜田高校歴史部・大谷晃二　1995

角田徳幸 1997「島根県の横穴式石室」『芸備 第 26 集』芸備友の会

島根県古代文化センター 2009（予）『めんぐろ古墳の研究』

L10 片山古墳

W・ガウランド　1899 『日本古墳文化論』

渡辺貞幸　1979・1980「ガウランド氏と山陰の古墳」『八雲立つ風土記の丘№ 37、39、40』

大谷晃二　1993 「片山古墳測量調査報告」『下府廃寺跡』1993 浜田市教育委員会

L13 下府廃寺跡

島根県教育委員会 1980 『石見国府推定地調査報告Ⅲ』

佐々木徳三郎　1981「下府廃寺塔跡の宝塔碑文について」『亀山』第 8 号　浜田市文化財愛護会

前島己基　1986「山陰における初期造寺活動の一側面」山本清先生喜寿記念論集『山陰考古学の諸問題』

同記念論集刊行会

浜田市教育委員会 1990 『下府廃寺跡発掘調査概報』

浜田市教育委員会 1992 『下府廃寺跡』

浜田市教育委員会 1993 『下府廃寺跡』

石見国府推定地

国府推定地については諸説あり、主なものを記す。

野津左馬之助　1925『島根縣史』第 5 巻　島根縣内務部

野津左馬之助 1934「石見國府阯」

『島根縣史跡名勝天然紀念物調査報告』第6輯
島根縣
斎藤茂吉 1935『柿本人麿補註篇』岩波書店
丸茂武重「山陰道の国府」『国学院雑誌』63 － 2・3 国学院大學
矢富熊一郎 1964『柿本人麻呂と鴨山』
益田郷土史矢富会
山本清　1968「第四節律令制度の時代」
『新修島根県史』通史編一　島根県
国府町文化財審議会 1963 『国府町の文化財』
大島幾太郎 1970『那賀郡史』旧那賀郡教育会
藤岡謙二郎 1969『国府』吉川弘文館
山本清 1972「第四章古代（二）」『仁摩町誌』仁摩町
島根県教育委員会 1978 『石見国府推定地調査報告Ⅰ』
島根県教育委員会 1979 『石見国府推定地調査報告Ⅱ』
島根県教育委員会 1980 『石見国府推定地調査報告Ⅲ』
石井悠 1980「石見国府跡を推理する
－石見国府跡発掘調査から－」
『季刊文化財』第38号　島根県文化財愛護協会
石井悠 1982 「謎の石見国府」
『えとのす第17号』 新日本教育図書
国立歴史民族博物館 1986『国立歴史民俗博物館研究報告第10集　共同研究「古代の国府の研究」』
石井悠 1986 「古代石見国の役所跡について」
山本清先生喜寿記念論集『山陰考古学の諸問題』
同記念論集刊行会
梨田精 1987「幻の石見国府跡と国分寺」
『亀山第14号』浜田市文化財愛護会
国立歴史民族博物館 1989『国立歴史民俗博物館研究報告　第20集　共同研究「古代の国府の研究」（続）』
児島俊平 1992「馬の骨を探る」『郷土石見』№31
石見郷土研究懇話会
桑原韶一　1995「伊甘郷の歴史的背景」
『伊甘土地区画整理事業に伴う古市遺跡発掘調査概報』浜田市教育委員会
石井悠 1996 「石見国」『国府－畿内・七道の様相－』日本考古学協会三重県実行委員会
宮本巌 1996「人麿・文献考」『郷土石見』№41号　石見郷土研究懇話会

L6 石見国分寺跡・L7 石見国分尼寺跡・L5 石見国分寺瓦窯跡

朝枝誓實 1919『金蔵寺由緒記』
野津左馬之助 1925『島根縣史』第5巻　島根縣内務部
野津左馬之助 1938「石見国分寺」『国分寺の研究』下　考古学研究会
国府町文化財審議会 1963 『国府町の文化財』
近藤正 1967「古代・中世における手工業の発達
（6）山陰」
『日本の考古学Ⅵ』歴史時代（上）　河出書房新社
山本清　1968 「第四節律令制度の時代」
『新修島根県史』通史編一　島根県
大川清　1972『日本の古代瓦窯』
桑原韶一 1986「金蔵寺境内（石見国分寺址）発掘にたずさわって」『郷土石見』№17 石見郷土研究懇話会
前島己基　1986「山陰における初期造寺活動の一側面」
内田律雄　1986「石見国分寺瓦について」
山本清先生喜寿記念論集『山陰考古学の諸問題』
同記念論集刊行会
内田律雄 1986 「石見国分寺瓦窯跡」『島根県生産遺跡分布調査報告書』島根県教育委員会
浜田市教育委員会　1987「石見国分寺跡発掘調査概報」
『季刊文化財』第58号　島根県文化財愛護協会
浜田市教育委員会　1989『石見国分寺跡第Ⅰ期調査概報』
原裕司　1990「石見国分寺と誕生仏」
『亀山第17号』浜田市文化財愛護会
島根県立博物館 1990『島根の文化財 - 仏像彫刻篇』
内田律雄・江川幸子　1997「石見」
『新修　国分寺の研究』第7巻　補遺　吉川弘文館
浜田市教育委員会 2006『史跡 石見国分寺跡・県史跡 石見国分尼寺跡』
関和彦 2008「古代邇摩の世界と国分寺霹靂神社」『郷土石見』№79　石見郷土研究懇話会

中世周布氏

山根俊久 1978「朝鮮貿易の先駆」『石見の郷土史話』下巻　石見郷土研究懇話会
井上寛司 1982「貞応二年石見国惣田数注文の基礎的研究」『山陰史談』18　山陰歴史研究会
浜田高校歴史部 1983 『歴像　復刊第7号　特集 石見の山城について（その2）』
廣田八穂 1985『西石見の豪族と山城』
松村　建 1988「中世後期の村落と土豪」『山陰史談』23　山陰歴史研究会
関 周一 1990「十五世紀における山陰地域と朝鮮の交流―石見国周布氏の朝鮮通交を事例として―」『史鏡』第20号　歴史人類学会
和田秀作 1993「陶史のクーデターと石見国人周布氏の動向－「周布家文書」の紹介－」『山口県地方史研究』第70号
関 周一 1994「中世山陰地域と朝鮮の交流」『山陰地域における日朝交流の歴史的展開』報光社
岸田裕之 1995「「人沙汰」補考―長州藩編纂事業と現代修史小考―」『山口県史研究』三
益田市立雪舟の郷記念館 1998『中世益田氏関係文書特別展～陶隆房のクーデターと益田藤兼』
藤川誠 1999「石見国周布氏の朝鮮通交と偽使問題」『史学研究』226号　広島史学研究会
井上寛司 2001『中世の港町・浜田―港湾都市浜田の成立と日本海水運に果たした役割―』浜田市教育委員会
関 周一 2002「第四章　山陰地域と朝鮮の交流」『中世日朝海域史の研究』吉川弘文館
関 周一 2005「中世における日本海漂流民」『歴史と地理』第582号　山川出版社
藤川誠 2003『「周布氏の朝鮮通交」再考～中世日朝交流史の実像と石見国』はまだ市民大学講座資料
井上寛司 2006『安富家文書の語るもの』浜田市教育委員会
浜田市教育委員会 2007『浜田市遺跡詳細分布調査―周布地区Ⅰ―』
久留島典子 2008「新出周布文書の紹介と考察」『大規模武家文書群による中・近世史料学の総合的研究―萩藩家老益田家文書を素材に―』

L43 鳶巣城跡

藤岡大拙他編 1980

寺井毅 1991「石見福屋氏の桜尾城・松山城・波佐一本松城跡の畝状竪堀群についての考察」『島根考古学会誌』第 8 集　島根考古学会

島根県教育委員会 1997

浜田市教育委員会 2007

L27 浜田城・浜田城庭園跡関係

濱田会 1892「濱田城地目録」『濱田会誌　第貳號』(1892)・『濱田会誌　第三號』

藤井宗雄 1899『濱田鑑』安達共栄堂

大島幾太郎 1935『濱田町史』一誠社

田村紘一 1975『城　石見浜田城』関西城郭研究会

藤岡大拙他編 1980『日本城郭体系　第 14 巻　鳥取・島根・山口』新人物往来社

内藤正中編 1983『山陰の城下町』山陰中央新報社

矢守一彦 1988『城下町のかたち』筑摩書房

谷口昭 1992「転封考　資料編」『名城法学　第四一巻第三号』名城大学法学会

三浦正幸 1992「浜田城」『復元体系　日本の城　6　中国』ぎょうせい

島根県教育委員会 1997「1 15　浜田城跡」

『島根県中近世城館分布調査報告書＜第 1 集＞石見の城館跡』

岩崎健 1998「浜田城」『Nice To Meet You　VOL.153』ladics ますだ

浜田市教育委員会 1999『松平周防守家の成立と浜田』浜田市世界こども美術館

浜田市教育委員会 1993「浜田城跡発掘調査概報」

『亀山』第 20 号　浜田市文化財愛護会

三浦正幸 1999『城の鑑賞基礎知識』至文道

藤田亨 2001「浜田城址公園について」

『文化財愛護会　平成 13 年 4 月例会　発表資料』

原裕司 2001「浜田城調査について－中間報告として－」『シンポジウム　浜田城を語る』浜田市文化財愛護会・山陰中央新報社

浜田市教育委員会 2002

中井均 2004「浜田城」『歴史群像シリーズ　よみがえる日本の城　6　』学習研究社

浜田市教育委員会 2005『浜田城』パンフレット

白峰旬 2006「天保 7 年の石見国浜田城引き渡しについて」『別府大学大学院紀要　第 8 号』別府大学大学院文学研究科

浜田市教育委員会 2007『浜田城跡（庭園跡の調査　1)』

浜田市教育委員会 2007『東宮殿下浜田御旅館　御便殿』パンフレット

浜田市教育委員会 2007『浜田城跡（庭園跡の調査　2)』

石見焼関係（L198,L235,L223,L192,L185,L179 など）

浜田市 1953『浜田の窯業』浜田市商工水産課

平田正典 1979『石見粗陶器史考』石見地方史研究会

熱田貴保 1993「石見地方における近世の窯業生産」『八雲立つ風土記の丘№ 122 ・123』島根県立八雲立つ風土記の丘

原　裕司 1993「生湯窯跡」『八雲立つ風土記の丘№ 122・123』島根県立八雲立つ風土記の丘

三沢治雄 1998「動木窯の物原を探る」史跡探訪会

東森　晋 1999「石見焼窯跡の発掘調査」『平成 11 年度島根県埋蔵文化財調査センター講演会資料』

島根県教育委員会 2001『石見焼関連遺跡調査報告 1（飯田 A 遺跡・長東坊師窯跡）一般国道 9 号線江津道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書』

島根県教育委員会 2001『石見焼関連遺跡調査報告 2 上府八反原窯跡（佐々木窯跡）一般国道 9 号線江津道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ』

浜田市教育委員会 2005『平野窯跡』

浜田市教育委員会 2006『室田窯跡』

各遺跡関係

L41 日脚遺跡・L45 沃田寺山古墳

島根県教育委員会　1985

周布川河原出土銅鏡

川原和人 1986「周布川河原出土銅鏡」『弥生時代の青銅器とその共伴関係』埋蔵文化財研究会

L38 鈴居古墳

肥後敏雄 1995「鈴居古墳について」『ひのあし』第 27 号　ひのあし会

L53 森ヶ曽根古墳

浜田市教育委員会 1986『周布小建設予定地内埋蔵文化財（森ヶ曽根古墳）発掘調査報告書』

定森秀夫　1989「日本出土の“高霊タイプ”系陶質土器 (1)－日本列島における朝鮮半島系遺物の研究－」『京都文化博物館研究紀要　朱雀』第 2 集

白井克也 2003「日本における高霊地域加耶土器の出土傾向」『熊本古墳研究創刊号』熊本古墳研究会

1998 年 10 月 16 日付毎日新聞「浜田の須恵器　朝鮮の工人、島根で製造？　韓国学者が渡来説否定」

L52 蔵地宅後古墳

内田律雄 1984「出雲刈山 4 号墳と搬入須恵器」『ふぃーるど・のーと』№ 6　本庄考古学研究室

島根県教育委員会　1985・浜田高校歴史部・大谷晃二 1995

浜田市教育委員会 2008 a・浜田市教育委員会 2008 b『蔵地宅後古墳』

L42 塚原山古墳群

浜田市教育委員会　1977

L204 浴田遺跡

柳浦俊一 1993「島根・鳥取県出土子持壷集成」『島根考古学会誌』第 10 集　島根考古学会

L39 日脚下浦遺跡

川原和人 1978「石見における古式須恵器」『松江考古』第 2 集　松江考古学談話会・島根県教育委員会　1985

L248 寺本遺跡・L249 市屋敷遺跡・L250 ツナメ遺跡

浜田市教育委員会 2007

L33 道休畑遺跡
東森晋 2004「道休畑遺跡の竪穴住居跡」『八雲立つ風土記の丘』№178 島根県立八雲立つ風土記の丘
島根県教育庁埋蔵文化財センター 2008『石見路の言伝』

L222 横路遺跡（土器土地区・原井ヶ市地区）
浜田市教育委員会 1997 『横路遺跡（土器土地区）』
浜田市教育委員会 1998 『横路遺跡（原井ヶ市地区）』
榊原博英　1998「島根県古市遺跡･横路遺跡と出土陶磁」『貿易陶磁研究』№18　日本貿易陶磁研究会
浜田市教育委員会 2002 b

L19 笹山城跡
島根県教育委員会 1980『石見国府推定地調査報告Ⅲ』

L15 川向遺跡
浜田市　1973・浜田市教育委員会 2000 『川向遺跡』
浜田市教育委員会 2002 b

L14 伊甘神社脇遺跡
島根県教育委員会 1979 ・浜田市教育委員会 2000

L209 多陀寺遺跡・L211 新延遺跡・L238 東遺跡・L221 大平遺跡・L220 前場紙漉遺跡・L229 菖蒲迫遺跡・L242 枚ヶ平遺跡・L237 千足遺跡・L227 仕切遺跡・L11 半場口古墳群
浜田市教育委員会 2002 b

L210 古市遺跡
浜田市教育委員会 1992 『古市遺跡発掘調査概報』
原裕司 1992「浜田市・古市遺跡の遺物」
『松江考古』第 8 号　松江考古学談話会
浜田市教育委員会 1995
『伊甘土地区画整理事業に伴う古市遺跡発掘調査概報』
榊原博英　1998
榊原博英　2001
「浜田・古市遺跡における中世前半の土器について」
『松江考古』第 9 号　松江考古学談話会

L24 宮宅山遺跡
島根県教育委員会 1980 『石見国府推定地調査報告Ⅲ』
浜田市教育委員会 2002 b

L23 上府遺跡
島根県教育委員会 1980 『石見国府推定地調査報告Ⅲ』
石井悠 1992
「浜田市・石見国府跡推定地出土の中国製陶磁器」
『松江考古』第 8 号　松江考古学談話会

L216 八反原城跡
桑原彰 1995「中世の宇野村をさぐる－小字名は歴史を語る－」『亀山』第 22 号　浜田市文化財愛護会
浜田市教育委員会 2002 b

L8 奈古田窯跡
川原和人 1980 「石見の須恵器窯跡」
『さんいん古代史の周辺（下）』山陰中央新報社
浜田市教育委員会 2006

L1 大平浜遺跡・L57 越坪遺跡
江津市教育委員会・浜田市教育委員会　1988
『大平山遺跡群調査報告書』
江津市教育委員会・浜田市教育委員会　1990
『大平山遺跡群発掘調査報告書』

L228 浜伊場遺跡・L234 中川原遺跡
日本道路公団広島建設局・島根県教育委員会　1985
「浜伊場遺跡」『中国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』

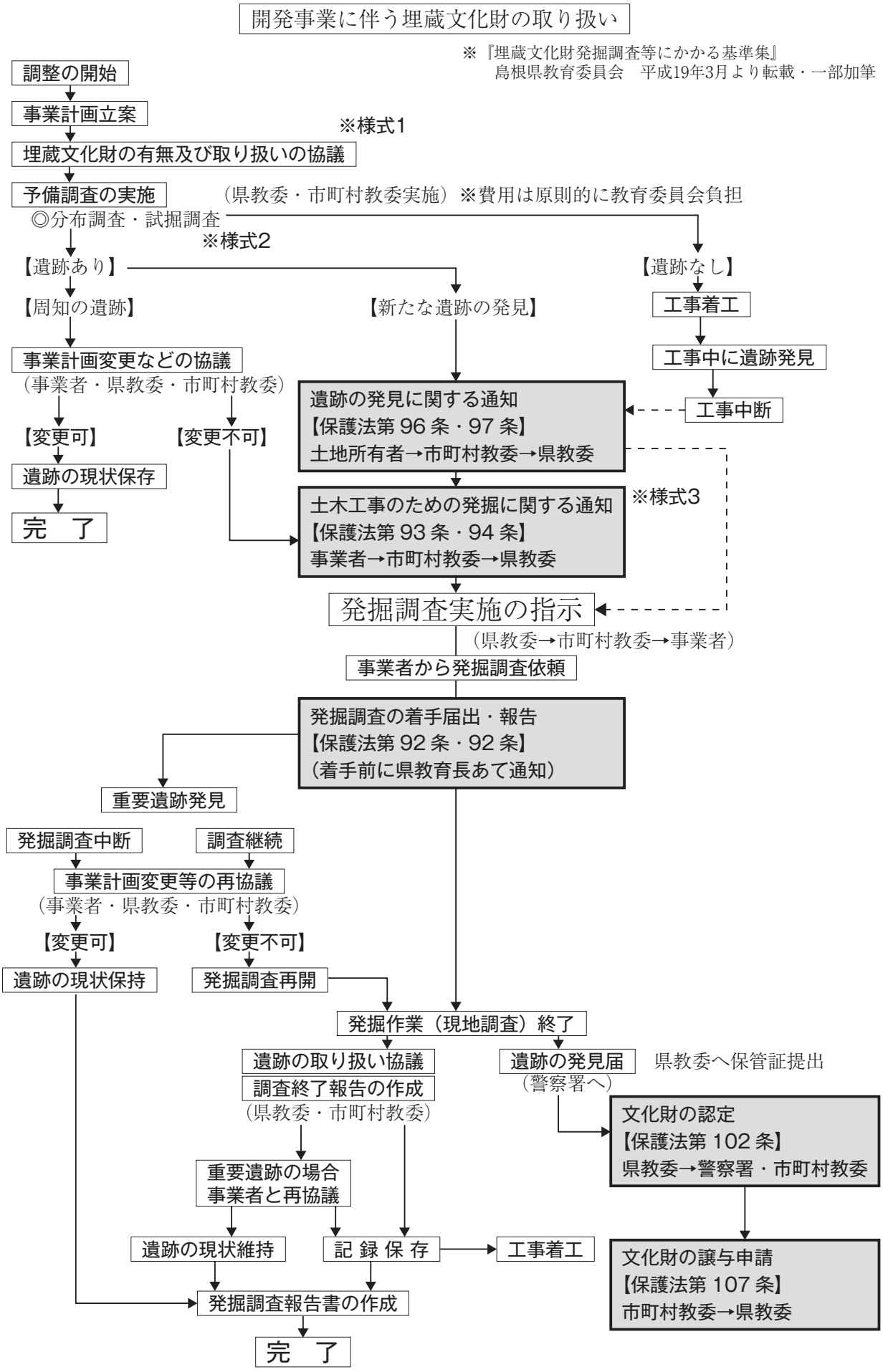
近世街道関係（L230,L231,L232）
島根県教育委員会 1997『歴史の道調査報告書　山陰道Ⅲ』島根県歴史の道調査報告書第五集
島根県教育委員会 1999『歴史の道調査報告書　浜田広島街道・浜田三次往還』島根県歴史の道調査報告書第九集
樹林舎 2006『定本　島根県の歴史街道』
樹林舎 2006『島根県歴史街道地図』

L233 唐谷坂道
浜田市教育委員会 2008『唐谷坂道』

その他
森山一止 2003「史料から見た「ヒナシ」について」『たたら研究』第 43 号　たたら研究会

浜田市教育委員会 2005『浜田市立原井小学校校舎建物調査報告書』

第3章　埋蔵文化財の事務手続きフロー



※様式１

第　　号
平成　年　月　日

浜田市教育委員会教育長　様

住所
氏名　　㊞
（担当者）

文化財等の有無及び取扱いについて（協議）

このたび下記のとおり開発工事を計画していますので、文化財等の有無及び取扱いについて協議します。
また、計画地立ち入りと予備調査（現地確認等）の協力に同意します。

１　開発事業名

２　開発計画場所

３　施行面積（㎡）

４　開発予定時期

５　その他（回答希望時期など）

添付書類
◎位置図（1/25,000）・計画図（工事図面、地籍図など）

※様式２

平成　年　月　日

浜田市教育委員会教育長　様

土地所有者
住所

氏名　　㊞

発掘調査承諾書

浜田市が実施する埋蔵文化財調査について、下記のとおり承諾します。

記

１，調査場所
浜田市　　番地

２，調査期間　平成　年　月　日～平成　年　月　日

３，その他　埋蔵文化財に関する権利を放棄し、浜田市教育委員会に一任する。

※様式３

第2号様式

第　　号

年　　月　　日

島根県教育委員会教育長　様

住　所

氏名等　　印

埋蔵文化財発掘の〔届出・通知〕について

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等のための発掘を実施したいので、文化財保護法（昭和25年法律第214号）〔第93条第１項・第94条第１項〕、第184条第１項及び文化財保護法施行令（昭和50年政令第267号）第５条の規定により、下記の事項について、関係書類を添付し、別記のとおり〔届出・通知〕します。

記

１．土木工事等をしようとする土地の所在及び地番
２．土木工事等をしようとする土地の面積
３．土木工事等をしようとする土地の所有者の氏名又は名称及び住所
４．土木工事等をしようとする土地に係る遺跡の種類、員数及び名称並びに現状
５．当該土木工事等の目的、計画及び方法の概要
６．当該土木工事等の主体となる者（当該土木工事等が請負契約等によりなされるときは、契約の両当事者）の氏名及び住所（法人その他の団体の場合は、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
７．当該土木工事等の施工担当責任者の氏名及び住所
８．当該土木工事等の着手の予定時期
９．当該土木工事等の終了の予定時期
１０．その他参考となるべき事項

【添付書類】

土木工事等をしようとする土地及びその付近の地図並びに当該土木工事等の概要を示す書類及び図面

別　記

93条第１項・ 94条第１項　（○で囲むこと）

県文書番号	第　　号・　　年　　月　　日

１．所　在　地			
２．面　　積	㎡		
３．土地所有者	住　所：		
	氏名等：		
４．遺跡の種類	散布地　集落跡　貝塚　官衙跡　城館跡　社寺跡　古墳 横穴墓　その他の墓　生産遺跡　その他の遺跡（　　）		
遺跡の名称	（県遺跡番号　　）	員　数	
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他（　　）		
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 その他（　　）		
５．工事の目的	道路　鉄道　空港 河川 港湾　ダム 学校建設　集合住宅　個人住宅 工場　店舗　個人住宅兼工場又は店舗　その他建物（　　） 宅地造成　土地区画整理　公園造成　ゴルフ場　観光開発 ガス・電気・水道等　農業基盤整備事業（農道等を含む） その他の農業関係事業　土砂採取　その他開発(　　)		
工事の概要			
６．工事主体者	住　所：		
	氏名等：		
７．施行責任者	住　所：		
	氏名等：		
８．着手予定時期	年　月　日	９．終了予定時期	年　月　日
10．参考事項			

指　導　事　項	発掘調査　工事立会　慎重工事　その他（　　）

［注意事項］　①太線内は届出・通知者が記入。②指導事項欄は県教育委員会で記入。
③遺跡の種類・現状・時代及び工事の目的欄は該当項目を○で囲み、該当項目のない場合は（　）内に記入。

第４章　仕切遺跡の確認調査

第１節　調査の概要（第１図）

仕切遺跡は浜田市下府町の下府川右岸の丘陵裾に位置する。北側の山には市指定史跡 片山古墳、川をはさんだ対岸には古市遺跡、西側には下府廃寺跡が存在する。以前より畑で土器が採取されていたが、その後の造成工事により地形は大きく変わっている。平成 12 年度に確認調査が行われ、古代から中世の遺物・建物跡や溝跡が確認されていた（浜田市教育委員会 2002）。調査は平成 19 年 11 月 27 日～ 12 月 26 日に実施し、南側にある市道に併行して調査区を 11 設定した。調査区番号は平成 12 年度より続けており、今回の調査区合計面積は 66.5㎡である。なお、検出した溝・柱穴などは確認のため２～ 3㎝掘下げたのみである。

Ｔ 42　（第２図・1m × 5m・5㎡・現地表高 9.296 ～ 9.262m）

現地表下約 10 ～ 60.25㎝で土師器細片を多く含む黒褐色土を確認した。造成土・ビニールを含む撹乱土は南側（川側）に厚く堆積しており、以前は川側へ傾斜していたことがわかる。現地表下約 30 ～ 70㎝で黒色土と土師器細片が混じる暗赤褐色土面があり、土師器を含む柱穴跡や火を炊いた土坑が検出された。この面は盛土と考えられ、断割りの状況では約 15㎝程盛土があるようである。検出した遺構は大半が直径 20 ～ 40㎝程の柱穴跡だが、焼土と炭が縁に残り、明らかに火を焚いた土坑が２ヶ所あった。

出土遺物（第２図・1）

主に中世土師器の細片が、第３層を中心に出土している。（1）はＴ 42 の柱穴３の上層から出土した白磁四耳壷Ⅲ類の口縁部である。口縁を折り曲げており、白色釉がかかる。

Ｔ 43　（第２図・2m × 5m・10㎡・現地表高 9.3m）

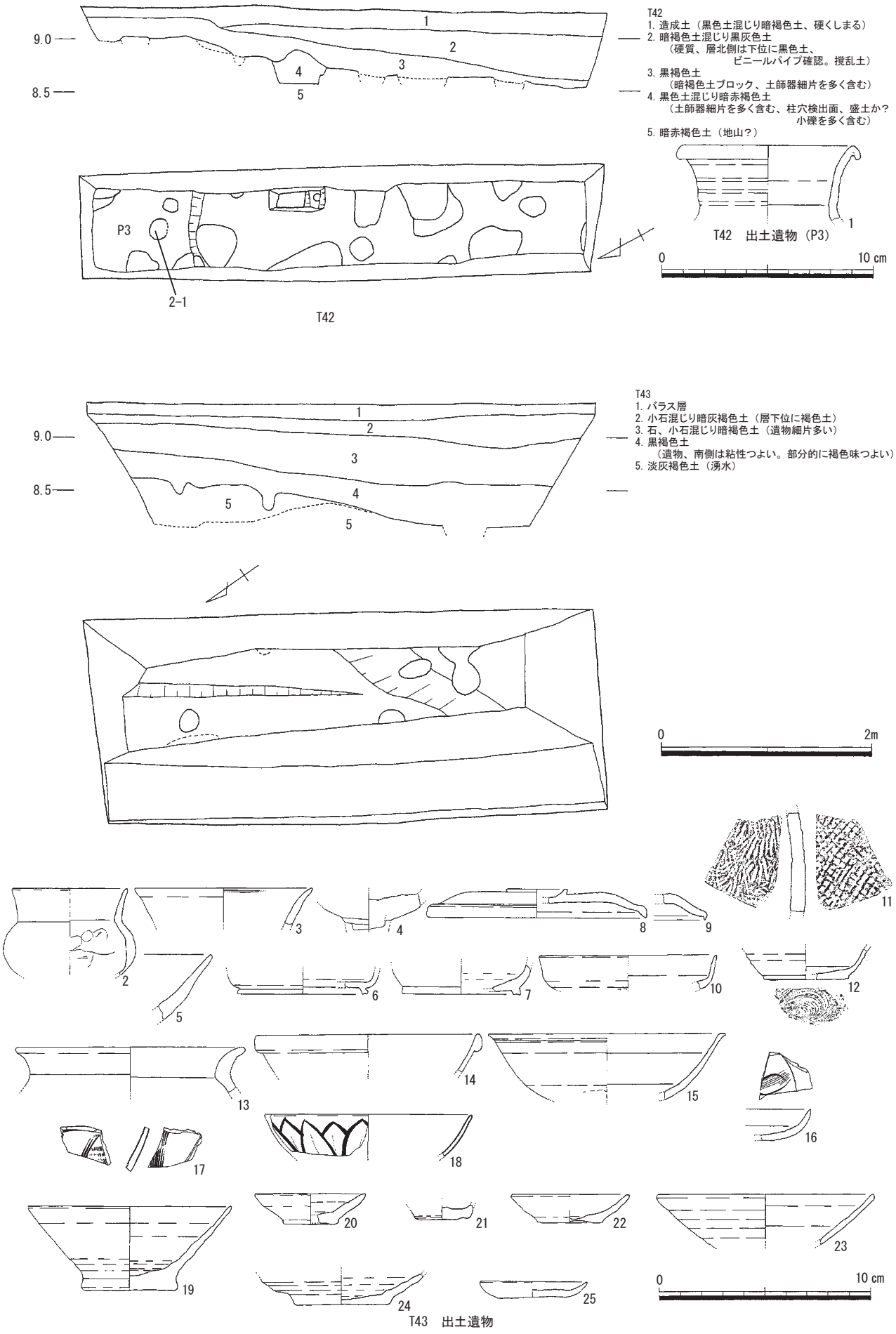
現地表下約 20 ～ 35㎝で土師器細片を多く含む暗褐色土を確認した。現地表下約 0.7 ～ 1.15m で淡灰褐色土面（第５層）があり、柱穴跡が検出された。この面は川側へ傾斜しており、上層の黒褐色土からは弥生土器や古墳時代の土師器・中世土師器などが見つかるが細片が多い。

出土遺物（第２図・2 ～ 25）

弥生時代～中世まで幅広い時代の遺物が、第３・４層を中心に混在して出土している。（2）～（5）は古墳時代の土師器で暗赤褐色から暗灰褐色を呈する。小型壷（2・3）と高杯（4・5）がある。（6）～（12）は須恵器で淡灰色から暗灰色を呈する。高台のつく杯（6・7）、蓋（8・9）、甕片（11）、底部が回転糸切りの杯（12）がある。（13）は土師器甕の口縁部である。（14 ～ 18）は中世前期の貿易陶磁器である（大宰府市教育委員会 2000）。（14）が玉縁口縁の白磁椀Ⅳ類、（15）が口縁端部を屈折する白磁椀Ｖ－４類、（16）が白磁皿Ⅷ－ 1c 類である。（17）は同安窯系青磁椀の体部で内外面に櫛描文が残る。（18）は外面に浅い中心の稜をなす鎬蓮弁文がある龍泉窯系青磁椀Ⅱ－Ｂ類である。

（19）～（25）は中世土師器である。（19）は杯で底径 6.9㎝・口径 15.5㎝・器高 6.4㎝である。暗赤褐色粒を多く含み暗灰褐色を呈する。底部の厚さは 1.1㎝と厚く、体部が直線的に開き器高が高い。（20）は皿で底径 4.1㎝・口径 8.4㎝・器高 2.4㎝である。白色粒と暗赤褐色粒を多く含み暗灰褐色を呈する。底部の厚さは 1㎝である。（21）も同様だが体部がややきつく立ち上がる。（22）の皿は底径 4.9㎝・口径 8.8㎝・器高 2.1㎝である。暗赤褐色粒を多く含み淡黄褐色を呈する。底部は薄い。（24）は杯底部で底径 7㎝である。白色粒と淡赤褐色粒を多く含み赤みを帯びた淡黄褐色を呈する。底部は薄く体部にはロクロナデが施される。（25）の皿は底径 5.2㎝・口径 8.1㎝・器高 1.25㎝である。

第１図　仕切遺跡調査区位置図（●は既調査で遺跡を確認）



第２図　T42・T43 実測図

底径が大きく体部が短いため器高が低い。

T 44（2m × 5m・10㎡・現地表高 9.3m）

現地表下約 10 ～ 20㎝で礫を含む浅黄色土面が確認できたが遺構は検出されなかった。川側には桶を埋めた遺構が見つかり、井戸跡の可能性がある。桶は上から大石を置いて塞いでいたため大きく歪んでいるが、直径 30 ～ 80㎝で縦板を竹紐で外から輪状に綴じていた。掘形は桶より 30 ～ 80㎝程大きく、暗灰色粘質土で埋めていた。桶の周辺と掘形から近世陶磁器が見つかった。井戸は造成前に倉があった位置にあたり、古い井戸を埋めた上に倉を建てたと考えられる。

T 45（1m × 5m・5㎡・現地表高 9.3m）

現地表下約 20 ～ 25㎝で礫を含む浅黄色土面があり、柱穴跡を 5 確認した。柱穴跡から中世土師器が見つかった。

T 46（第 3 図・1.5m × 5m・7.5㎡・現地表高 8.9 ～ 9.1m）

現地表下約 0.5 ～ 1m で礫を含む暗褐色土があり、遺物が出土する。特に小礫が多い 6 層下位に多く認められた。

出土遺物（第 3 図・26 ～ 32）

弥生時代～中世まで幅広い時代の遺物が、6 層を中心に出土している。（26･27）は須恵器である。（27）は杯で底径 8.85㎝・口径 11.1㎝・器高 5.2㎝である。（28・29）は土師器の甕で全体が被熱しており表面の剥離がめだつ。（30）はやや高い高台がつく土師器杯で底径は 8㎝である。灰白色を呈する。（31）は口縁端部を屈折する白磁椀Ⅴ－ 4 類である。（32）は肥前系の陶胎染付椀で外面に一部青色の模様が残る。

T 47（第 3 図・1m × 5m・現地表高 9m）

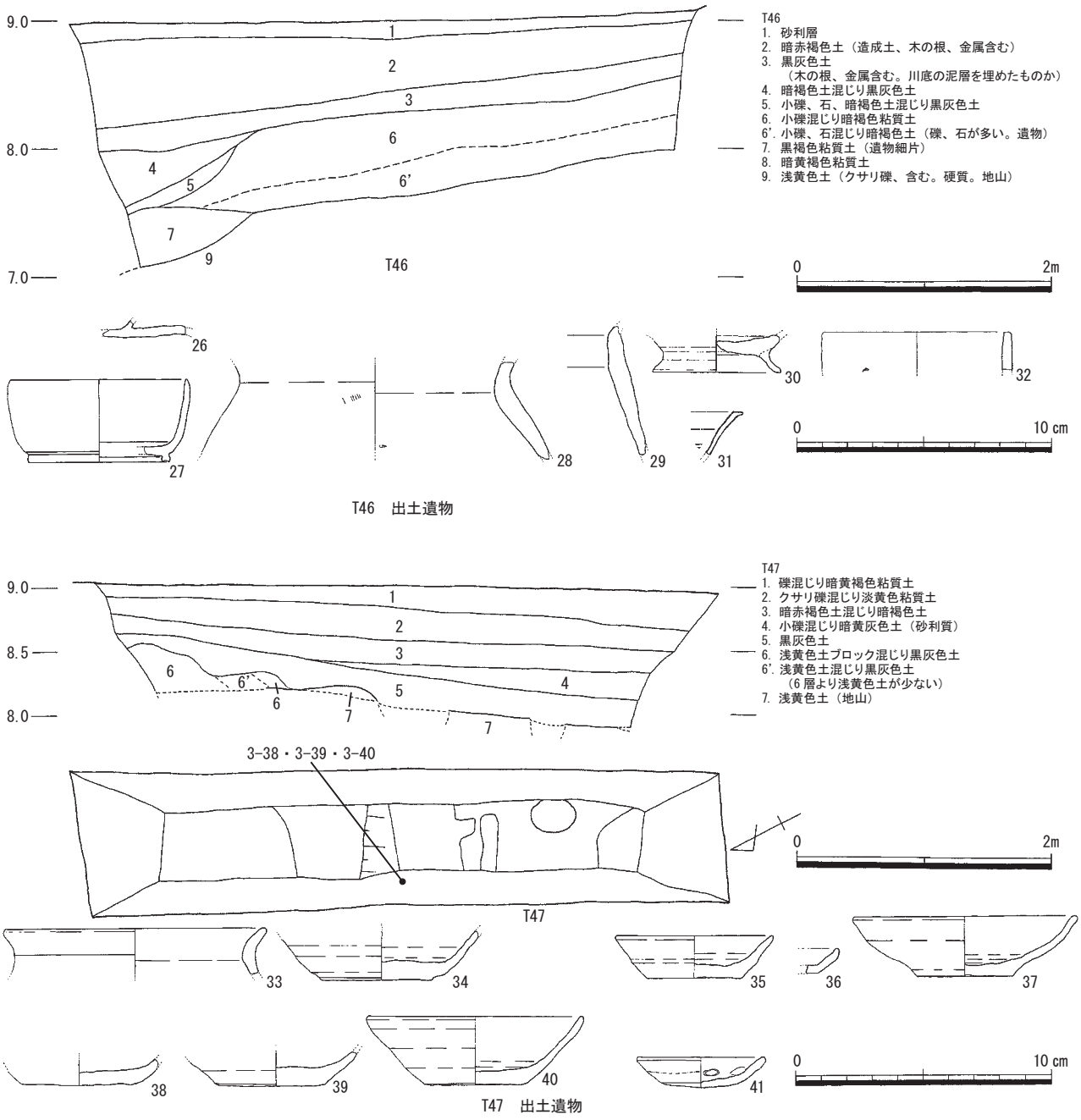
現地表下約 40 ～ 85㎝で土師器細片を多く含む黒灰色土を確認した。現地表下約 0.8 ～ 1.1m で浅黄色土面があり、土坑・溝・柱穴跡が検出された。溝からは中世土師器片が多く見つかった。土器は第 5 層中でも、調査区北西壁の黒灰色土下位から土器集中部上のまとまり（第 3 図・33 ～ 37）と下のまとまり（第 3 図・38 ～ 40）に分かれる。

出土遺物（第 3 図・33 ～ 42）

中世土師器を中心に主に第 5 層から出土している。(33)は土師器甕の口縁部である。(34)～(41)は中世土師器である。（34）は杯底部で淡黄褐色を呈する。底径は 6.8㎝である。（35）は皿で底径 6㎝・口径 10㎝・器高 2.65㎝である。黒色粒と暗赤褐色粒を多く含み淡灰褐色を呈する。やや厚手である。（36）は皿の破片で口縁端部を上方向へつまみあげている。（37）の杯は底径 6.1㎝・口径 13.8㎝・器高 3.8㎝である。暗赤褐色粒を多く含み淡黄褐色を呈する。底径がやや小さく体部はやや丸みをもつ。（38）の杯底径は 7.3㎝、（39）は 6.9㎝である。（40）の杯は底径 6.4㎝･口径 13.5㎝･器高 4.3㎝である。暗赤褐色粒を多く含み淡黄褐色を呈する。（41）は肥前系陶器の小皿で全体が歪んでいる。底径 4.0㎝･口径 8.2㎝･器高 1.9㎝である。陶器質の胎土でガラス質の暗緑色釉がかかる。底部は回転糸切りで内面に目跡が 2 ヶ所以上残る。

T 48（1.5m × 6m・9㎡・現地表高 9m）

現地表下約 40 ～ 80㎝で旧地表面と見られる黒灰色土を確認した。現地表下約 60 ～ 90㎝で浅黄色土面があり、土坑・溝・柱穴跡が検出されたが黒色土が混じるため盛土の可能性もある。穴の埋土は黒色と暗褐色のものがあり、黒色の穴を中心に中世土師器が出土した。遺物は細片が多い。



第３図　T46・T47 実測図

	弥生土器	古墳～古代土師器	須恵器（蓋杯）	須恵器（甕・壺類）	中世土師器	中世須恵器	白磁	青磁	陶器（中国）	瓦質土器	近世～現代				その他	合　計
					赤						肥前系		石見焼	その他		
											陶器	磁器	陶器			
T42	2	0	6	3	1366	1	1	0	0	0	1	4	2	0	13	1399
T43	109	141	54	23	740	0	4	4	0	0	0	0	16	5	5	1101
T44	1	0	0	1	39	0	0	1	1	4	3	7	5	11	1	74
T45	0	0	0	1	113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114
T46	54	60	24	6	269	0	1	1	0	0	0	6	3	9	17	450
T47	1	0	1	1	1153	0	0	0	0	0	1	1	0	7	9	1174
T48	2	3	6	3	284	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	300
T49	3	0	0	0	4	0	0	1	0	0	2	2	1	2	0	15
T50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
T51	2	0	0	0	38	0	0	5	0	1	0	0	0	1	0	47
T52	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
合計	174	204	91	38	4048	1	6	12	1	5	7	20	27	36	46	4716

表１　遺物破片点数表

T 49　（3m × 1.5m・4.5㎡・現地表高 9.05m）

現地表下約 85㎝の調査区東側に緑灰色土面があり、西側へ地表下約 1.75m まで急傾斜している。傾斜面よりやや離れて 10 ～ 25㎝大の自然石が列状に置かれ、周辺から近世陶磁器が出土した。なお、石列と緑灰色土の上にはビニールを含む暗灰色泥層がある。平成 12 年頃には畑であったため、その後の造成により削平されて土が盛られた可能性がある。

T 50　（1.5m × 2m・3㎡・現地表高 8.9m）

現地表下約1.6mで旧赤道のコンクリート道路を確認した。造成以前は、道より川側が約2m下がった水田で、平成 12 年度確認調査でも川側ではごく少量の遺物しか確認されていない。

T 51　（1.5m × 3m・4.5㎡・現地表高 9.25m）

現地表下約 20 ～ 50㎝で礫を含む浅黄色土面があり、柱穴跡を 7 検出した。穴の埋土は黒色で中世土師器が出土した。遺構検出面は調査区中央に段がつき山側がやや高くなる。

T 52　（1.5m × 2m・3㎡・現地表高 9.1 m）

現地表下約 90㎝で旧地表面と見られる黒褐色土があり、中世土師器が出土した。現地表下約 1.1m で暗赤褐色土面が確認できたが遺構は確認されなかった。

第 3 節　総　括

調査の結果、遺構・遺物が確認された調査区（T42・T43・T45・T47・T48・T51）・遺物が多く出土する調査区（T46・T52）があり、遺跡の範囲をほぼ確定することができた。鎌倉時代頃の柱穴跡・溝跡などが確認されたが、T43・T46・T 49 では川側へ落込む傾斜面が見られる。この傾斜面は平面で直線にならず、柱穴跡と川の間には自然に近い谷や湿地帯があったと考えられる。西側はＴ 51 の谷地形（湿地？）を挟んで平成 12 年度調査区（T28･T29･T30）と中世の遺跡が拡がっている。下府川沿いの水田（湿地帯）より一段高い場所に一部造成しながら生活していたと考えられ、遺物はコンテナ 4 箱分あり、主な破片数は弥生土器（3.7%）･土師器（4.3%）･須恵器（2.7%）･中世土師器（85.8%）・貿易陶磁器（0.4%）となる。中世の土師器細片が特に多く、貿易陶磁器は少ない。耕作や造成のためか、全体的に破片のものが多い。

中世土師器は対岸の古市遺跡の変遷（浜田市教育委員会 1995・榊原 2001）にあてはめると古市Ⅰ期（第 2 図・19、第 3 図・30）、古市Ⅱ期（34 ～ 38）、古市Ⅲ期（39 ～ 40）にあたるが、平成 12 年度調査（浜田市教育委員会 2002）のＴ 39 ではさらに後出する薄手の土師器も多く出土している。貿易陶磁器は小量（0.4%）見られるが、対岸の古市遺跡（10%）に比べ非常に少ない。

浜田市東部の国府地区は古代～中世にかけて石見国の中心地にあたり、下府平野では大規模な集落跡である古市遺跡・横路遺跡が確認されている。古市遺跡は中世石見府中の一拠点と考えられるが、仕切遺跡はその拠点の対岸に位置する小規模な集落跡と考えられる。

参考文献

浜田市教育委員会 1995『伊甘土地区画整理事業に伴う古市遺跡発掘調査概報』
大宰府市教育委員会 2000『大宰府条坊跡ＸＶ－陶磁器分類編－』
榊原博英　2001「浜田・古市遺跡における中世前半の土器について」『松江考古』第 9 号　松江考古学談話会
浜田市教育委員会 2002『浜田市遺跡詳細分布調査－国府地区Ⅰ－』

調査前

T42

T43

T43 遺構検出状況

T44

T44 近世井戸

T45

T45 遺構検出状況

T46

T47

T47 遺構検出状況

T48

T48 遺構検出状況

T48 溝上側　遺物出土状況

T49

T50

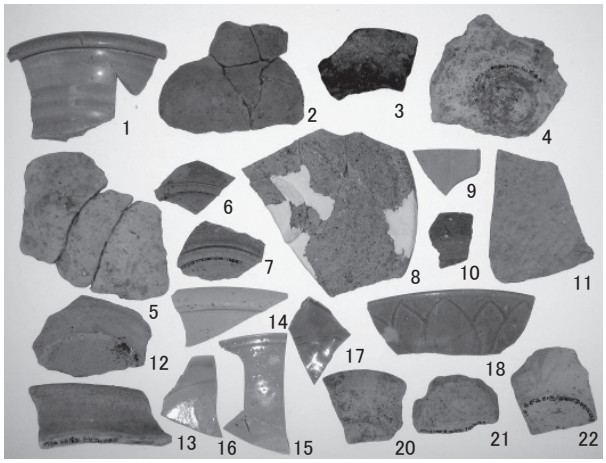
T50 旧赤道

T51

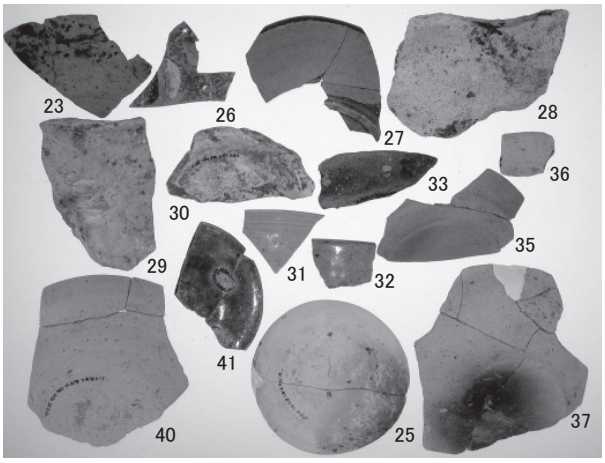
T52

調査終了状況

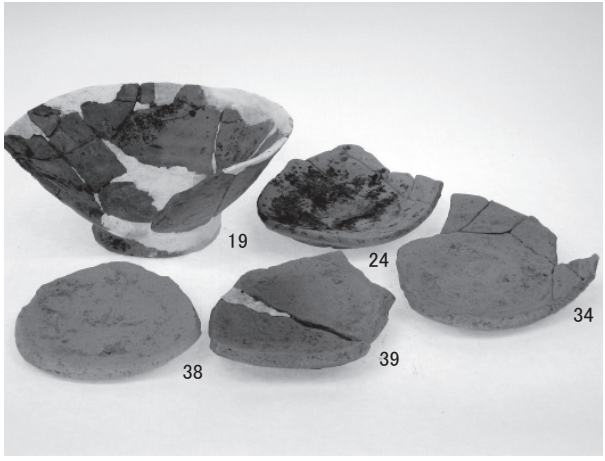
作業状況



出土遺物(1)



出土遺物(2)



出土遺物(3)

報　告　書　抄　録

ふりがな	しまねけんはまだしいせきちずいち（はまだじちく）・しきりいせき
書名	島根県浜田市遺跡地図Ⅰ（浜田自治区）・仕切遺跡
副書名	平成19年度市内遺跡発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	榊原　博英
編集機関	島根県浜田市教育委員会
所在地	〒697-8501　島根県浜田市殿町1番地　TEL.0855-22-2612㈹
発行年月日	2009年3月

ふりがな 所有遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しきりいせき 仕切遺跡	島根県浜田市 下府町	32202	L227	34°50′40″	132°07′18″	20071127～ 20071226	66.5㎡	確認調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
仕切遺跡	集落跡	弥生・古墳・古代・中世・近世	柱穴・溝	中世土師器・貿易陶磁器 須恵器・弥生土器	

要約	仕切遺跡は浜田市東部の国府地区に位置し、北側に片山古墳（市史跡）、下府廃寺跡（塔心礎 国史跡）が所在する。平成12年度にも確認調査を実施しており、中世の集落跡が確認されていた。調査の結果、弥生時代～近世までの遺物が出土した。遺跡の中心は中世前期（鎌倉時代頃）の集落跡で、柱穴・溝などが見つかった。遺跡の位置する平野一帯は中世石見府中の範囲に含まれたと考えられている。仕切遺跡南の対岸には古市遺跡、西側には横路遺跡がある。古代から中世の集落跡が多いが、仕切遺跡は対岸の古市遺跡に比べ貿易陶磁器の量が少なく集落規模も小さいと見られる。

島根県浜田市遺跡地図Ⅰ（浜田自治区）・仕切遺跡

平成19年度市内遺跡発掘調査報告書

発行　島根県浜田市教育委員会　2009年3月

島根県浜田市殿町1番地

印刷　　有限会社　原 印刷